Panasonic®

取扱説明書

インターネットファクシミリ

品番 UF-6010

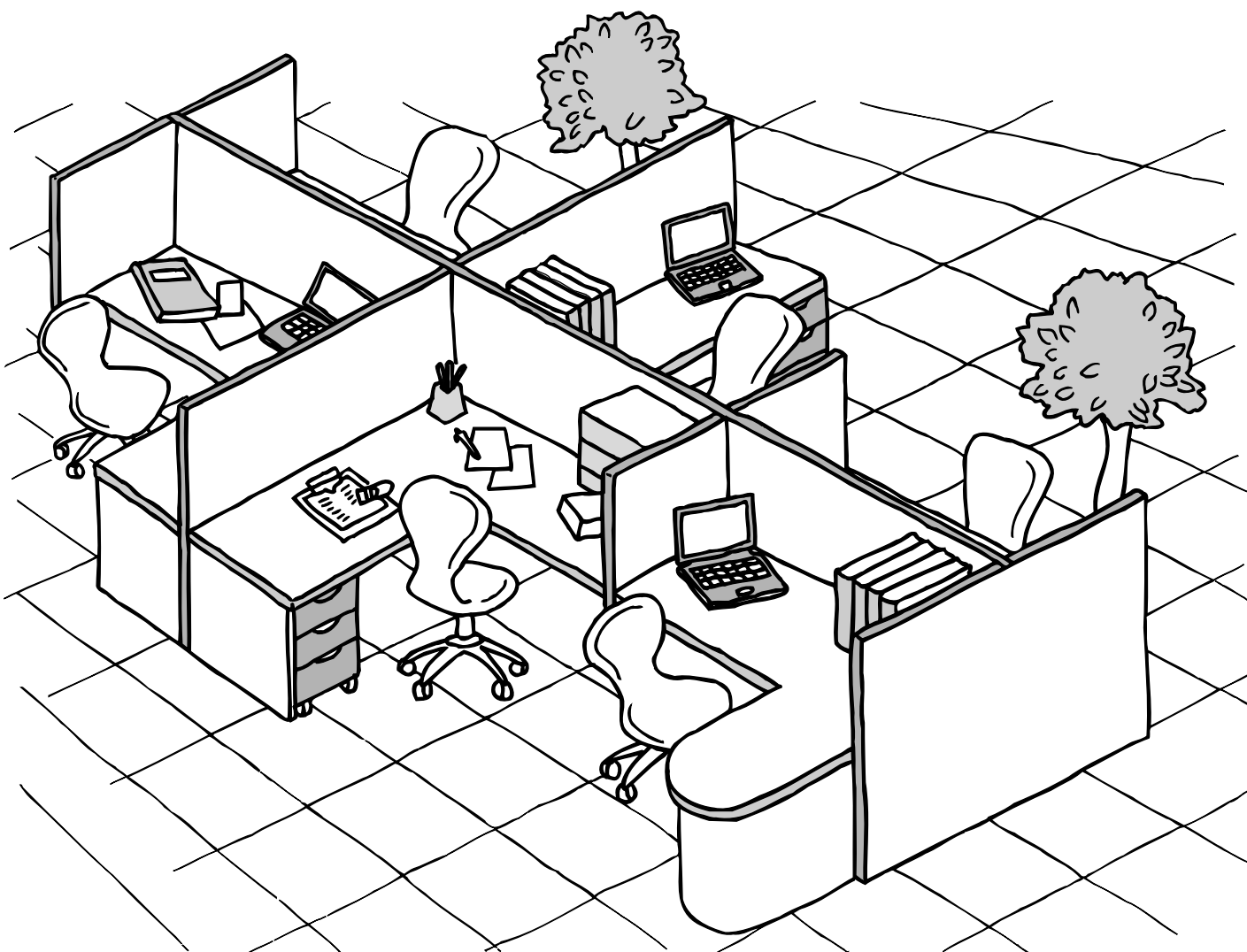
お使いになる前に

基本編

応用編

登録編

リスト・レポート

お必読要みなく時だにさい

このたびはインターネットファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（10～13ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効果的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

インターネット ＦＡＸ 通信の相互接続試験をクリア

W-NET FAX とは TTC 標準 JT-T37 に適合したインターネットファクシミリの呼称です。相互接続試験（HATS 推進会議実施）を正しく処理された製品に使用します。

本取扱説明書は、従来の一般加入回線等での通信に加え、LAN システムを使用したインターネット通信が可能なインターネットファクスについての取扱説明書です。

※ネットワークとの接続および使用に際しては、本製品以外にソフトウェアおよび LAN 伝送路用品が必要です。

UF-6010 を使う

送信する

受信する

その他の機能

文字を入力する

消耗品の交換

トラブル

お使いになる前に

基本編

応用編

登録編

リスト・レポート

必要なときにお読みください

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■済スタンプヘッドは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

●電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機（オプションを含む）を分解・改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

●修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■煙が出ている、変なにおいや音がするときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●煙が出なくなるのを確認してサービス実施会社へご連絡ください。

⚠警告

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

禁止

ガソリンなどが発火し火災の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■湿気の多い場所ではアース線を取り付けて使用する

アース線接続

万一、漏電した場合に、火災、感電の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

禁止

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらない

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

⚠注意

■床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

禁止

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

禁止

火災、感電の原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■動作中の紙づまりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

● 紙づまりは確実に取り除いてください。

■電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温部分にさわるとやけどの原因になることがあります。

●紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

●万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機の通風孔をふさがない

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■取扱説明書で指示がない部分は操作しない

高温部分や突起のある部品にさわると、やけどやけがをする原因になることがあります。

●内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■プロセスカートリッジは火中に投げ入れない

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因になることがあります。

取扱上のお願い

設置上のお願い

■ **次の様な場所への設置は避けてください。**

- 高・低温、低・多湿な場所
- 温度変化の激しい場所
- 冷・暖房機の近く（直接風のあたる所）
- 加湿機の近く
- テレビ、ラジオなど電子機器の近く
- 直射日光のあたる場所
- ほこり、アンモニアガスが発生する場所
- シンナー、ガソリンなどの近く
- 換気の悪い場所
- 床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所

■ **本機の背面は壁から 10cm 以上離してください。**

換気についてのお願い

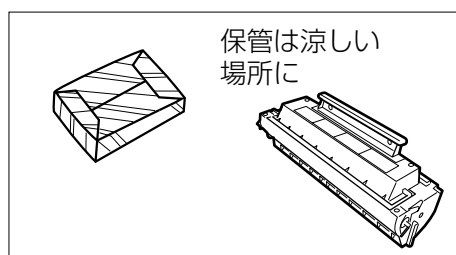
本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

操作時のお願い

■ **動作中に電源プラグを抜いたり、本体カバー等を開けたり、用紙カセットを引き出したりしないでください。（紙づまりの原因となります）**

■ **誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。**

- 相手先のファクス番号、ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
- 大切な情報を送る場合には、「手動送信」により相手を確認したうえで通信されることをお勧めします。
  1. まず受話器を上げて（または受話器がない場合は、モニターボタンを押して）、発信音（ツー音）を確認してから、ファクス番号をダイヤルしてください。
  2. 相手先からファクス応答信号（ピーヒョロロ音）が聞こえたらスタートボタンを押してください。

用紙・プロセスカートリッジに関するお願い

■ **用紙、プロセスカートリッジなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。**

● 用紙は 60 ～ 90g/m^2 の上質紙･再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
● プロセスカートリッジは当社指定品をご使用ください。

■ **法律で禁じられていること**

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。
●法律でコピーを禁止されているもの
1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
2. 未使用の郵便切手、官製はがき
3. 政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類
●注意を要するもの
1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■ **プロセスカートリッジに関するお願い**

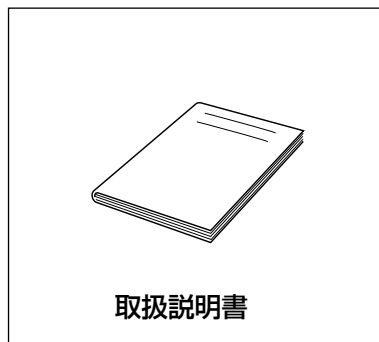
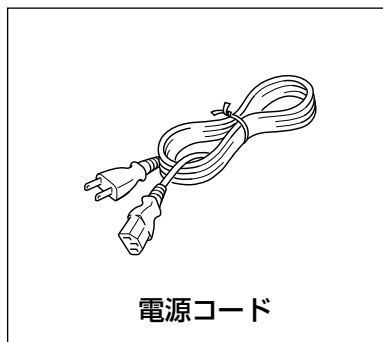
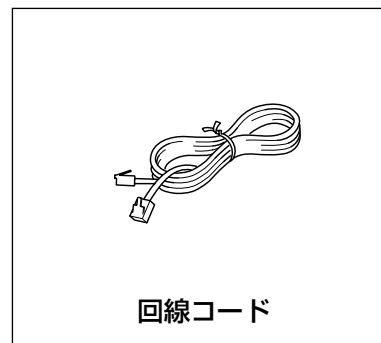
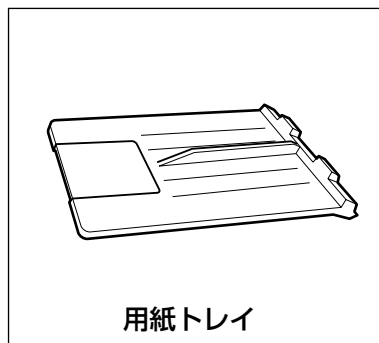
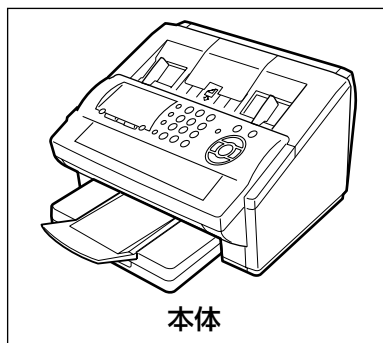
●プロセスカートリッジは直接日光を避ける
コピー画像に異常が出ることがあります。

●プロセスカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない
プロセスカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。

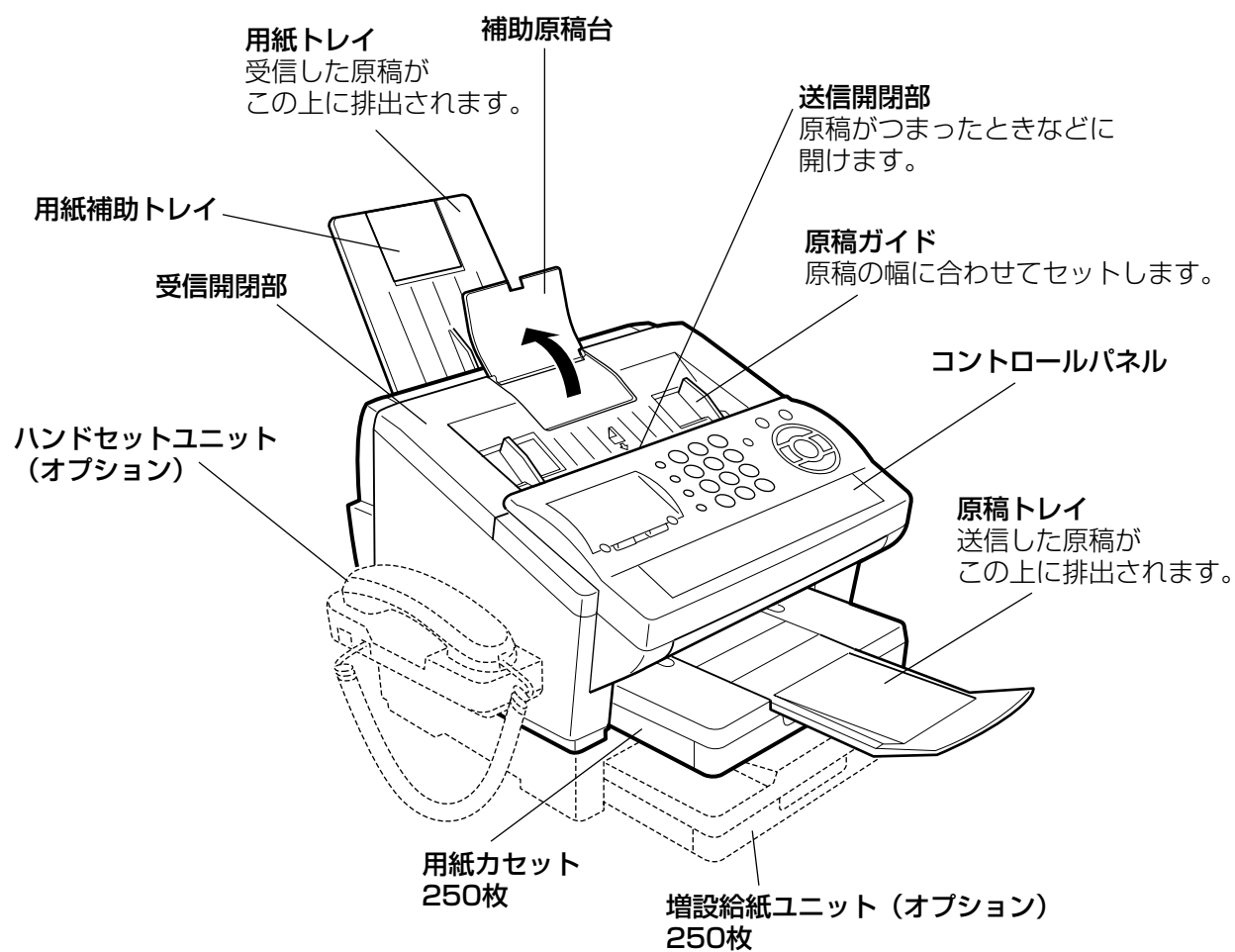
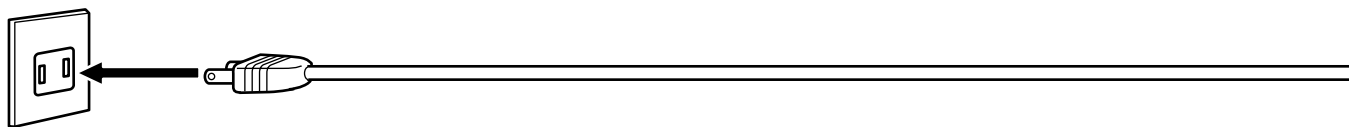
●使用済みのプロセスカートリッジは捨てない
回収にご協力ください。

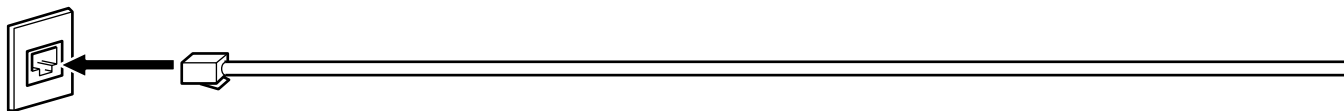
●プロセスカートリッジは上を向けて保存する（箱に上向きの表示があります。）
コピー画像に異常が出ることがあります。

各部の名前と働き

梱包をほどきましたら、以下のものが一式そろっていることをご確認ください。

その他
- 用紙 1 包み（A4 サイズ）
- 保証書 1 枚

外観図

用紙トレイ
受信した原稿が
この上に排出されます。
補助原稿台
送信開閉部
原稿がつまったときなどに
開けます。
用紙補助トレイ
原稿ガイド
原稿の幅に合わせてセットします。
受信開閉部
コントロールパネル
ハンドセットユニット
（オプション）
原稿トレイ
送信した原稿が
この上に排出されます。
用紙カセット
250枚
増設給紙ユニット（オプション）
250枚

LAN ケーブル、回線コード、電源コードの接続

■ 電源コード

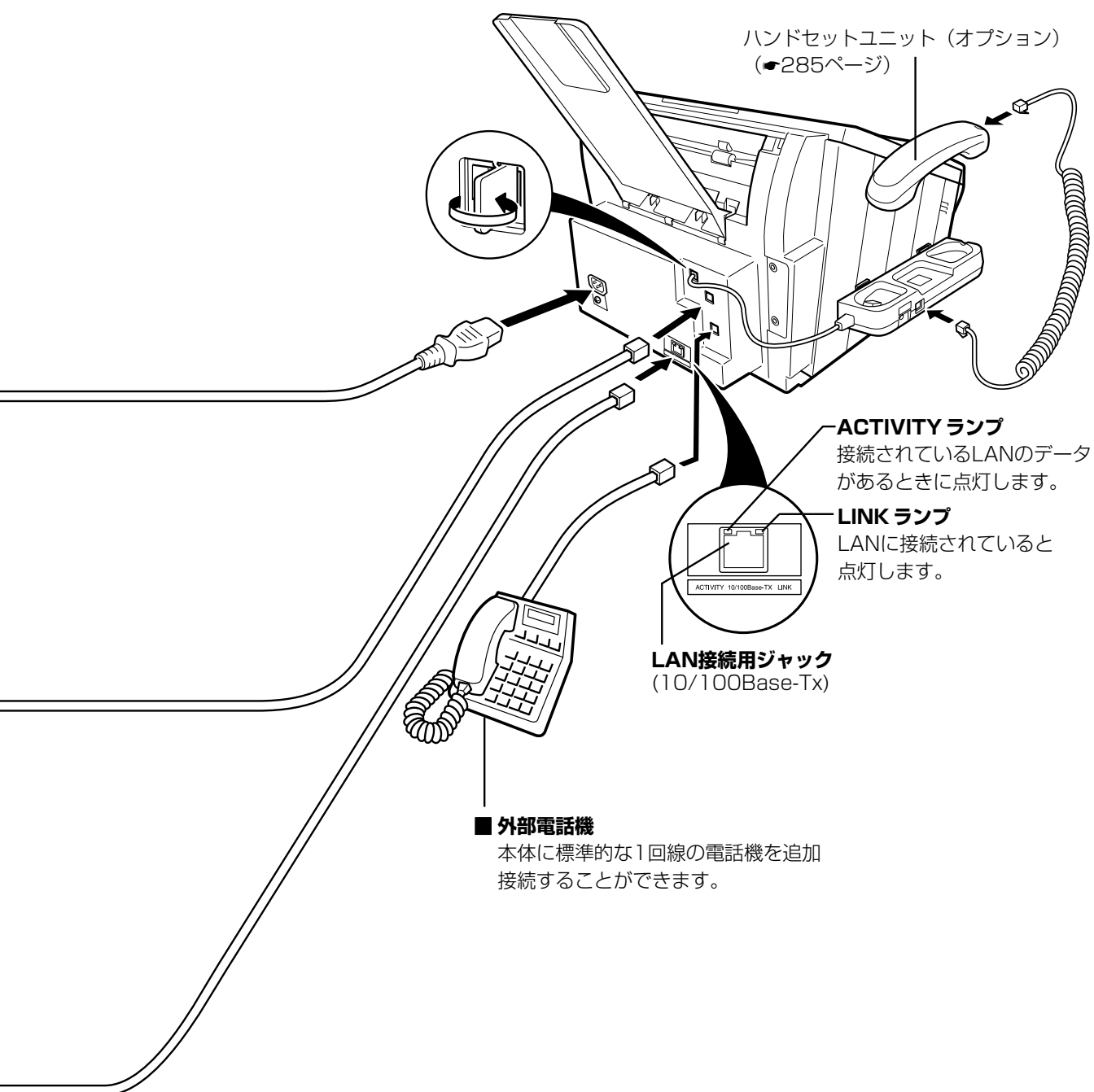
■ 回線コード

■ LAN ケーブル

10Base - T/100Base - TXイーサネットハブ

LANケーブルは付属されていません。
[EIA 568A CAT.5]に準拠のケーブルをご用意願います。

お知らせ

1. 本機の電力消費はわずかですので、常に電源を ＯＮ（コードを差し込んだ状態）にしておくことをお勧めします。電源 ＯＦＦ の状態が長引けば時計部のデータが失われる可能性があります。

LAN ケーブル、回線コード、電源コードの接続

コントロールパネル

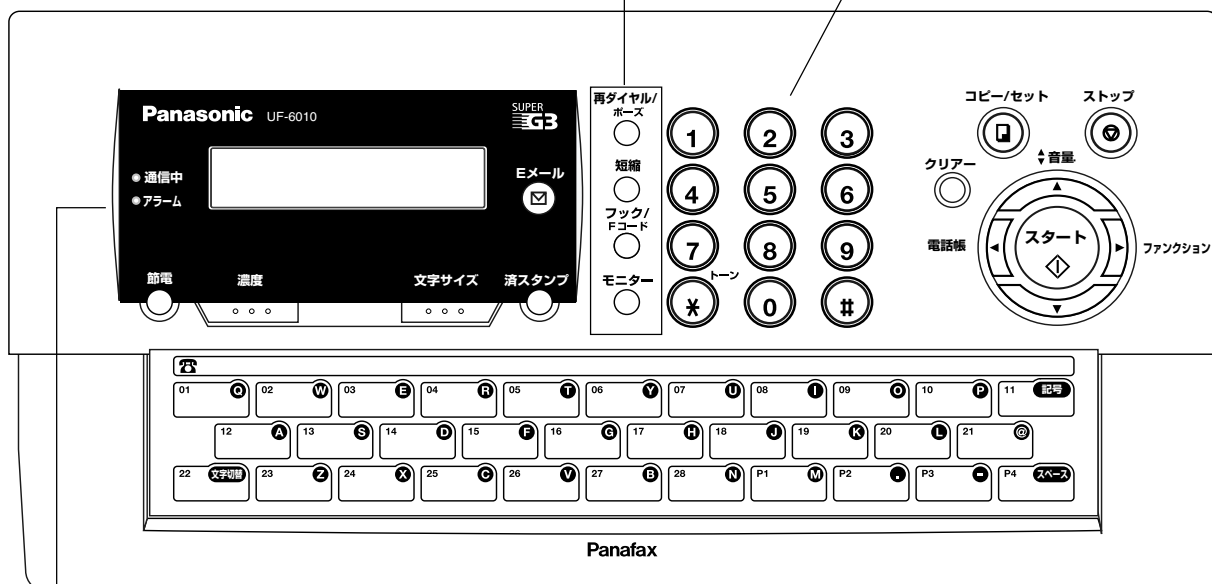
再ダイヤル/ポーズ
- 直前の宛先に再ダイヤルします。
もしくは、電話番号を登録中またはダイヤル中にポーズを入れます。

短縮
- 短縮ダイヤルによる通信を開始します。
（☛36、54、232ページ）

フック/Fコード
- 通話中に一瞬回線を切断したい時に押します。
構内交換機に接続されている場合、転送や保留をする時にお使いください。
また、Ｆコード（サブアドレス）を入力する時に押します。

モニター
- オンフックダイヤルをするときに使用します。
（☛61ページ）

テンキーボタン
- 手動での番号入力に使用します。
入力された電話番号およびその他の数値情報は記録されます。

トーンボタン
- ダイヤル方式がパルスモードに設定されている場合に、一時的にプッシュホン信号へと切り替えます。IPアドレスのピリオド入力にも使用でき、便利です。

節電
- 本機を低電力モードに切り替えます（242ページ参照）。

濃度
- 文書の濃度を、ふつう・濃く・薄くの3段階に調節します。
（☛30ページ）

文字サイズ
- 文書の文字サイズふつう、小さい、細密の3段階に切り替えます。
また、ハーフトーン（小さい、細密）への切り替えも行います。
（☛30ページ）

済スタンプ
- 済スタンプ（オン、オフ）を選択します。「オン」の場合、点灯します。

通信中
- 送信・受信中または電話中に点滅します。

アラーム
- 故障のときに点灯します。

Eメール
- Eメール（インターネットファクス通信）用です。
メールアドレスと電話番号入力を切り替えるとき押します。

コントロールパネル

- 送信やコピー、登録などを途中で止めるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。

- コピー機能を利用するとき、また、各種の設定を行うときに押します（☛85ページ）。

- すでに設定されている内容をリセットします。
  また、入力した文字や数字を訂正するときにも使用します。

- コピーや送受信を開始するときに押します。

矢印ボタンは以下の用途があります。
- 本機の様々な機能を選択し、お使いいただけます。
- 宛先の名前の検索（☛37、55ページ）。
- 画面や呼出音量の調節。
- 文字や番号などの入力の際にカーソルを移動させる。
- 電話帳検索ダイヤル用に登録済みの宛先を検索をする。
- 複数宛先送信用に入力された各宛先を確認する。
- 回線に接続されている本機の現在の通信モード（ページ番号、ID、宛先の電話番号、ファイル番号）を確認する。

ワンタッチボタン（01～28）
- ワンタッチダイヤルに使用します（☛35、53、230ページ）。

プログラムボタン（P1－P4）
- 一連のダイヤル操作やグループダイヤルボタン操作を登録します。（☛104ページ）

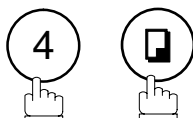
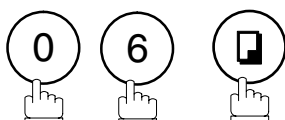
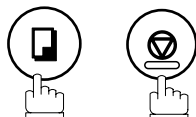
文字ボタン
- ワンタッチボタンおよびプログラムボタンは文字や記号を入力するためのボタンとして使います。
  自局発信元名称や数字ID、局名を記録できます。

記号 - 自局のLOGOや数字ID、局名、メールアドレスを入力するときに使います。
▼または▲を使って文字を選択できます。

スペース - 発信元名称や数字ID、局名、メールアドレスを入力する際に、スペースの入力に使用します。

文字切替 - 文字入力時に、文字入力モードを切り替えるときに押します。

電話回線の設定

電話回線には、プッシュホン式とダイヤル式があります。お使いの回線に合わせて、電話回線の種類を設定してください。

音量設定のしかた

モニター音量の設定

1

```
＊ ダイヤル シテクダサイ ＊
█
```

スピーカーから、モニター音が聞こえます。

2

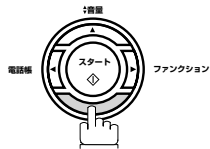
```
モニター オンリョウ
ショウ   [█████████]   ダイ
```

モニター音量を大きくするとき

または

```
モニター オンリョウ
ショウ   [         ]   ダイ
```

モニター音量を小さくするとき

3

音量設定のしかた

呼出音量の設定

1 待機状態を確認する

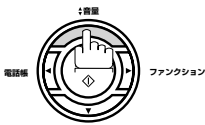
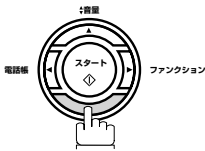
```
2005-03-15 15:00
                00%
```

2 呼出音が鳴ります。テスト用の呼出音を確認しながら、お好みの大きさに調整します。

```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ
 (((( ☎ ))))
```

呼出音を大きくするとき

または

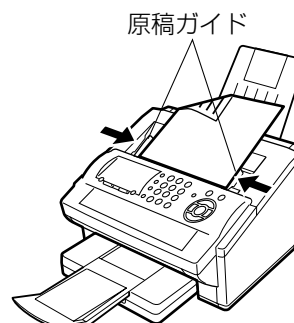
```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ
      ☎
```

呼出音を小さくするとき

3 **ストップ**

基本編

基本送信手順

1 図のように原稿をセットする

- 原稿のセットのしかた（☛29 ページ）

2 文字サイズ、濃度を選ぶ

- 濃度（☛30 ページ）
- 文字サイズ（☛30 ページ）

3 必要に応じて各種機能を設定する

- 各種機能について（☛88 ページ）

4 ダイヤルをする

- 直接メールアドレスを入力して送る（☛34 ページ）
- 直接ダイヤル（電話番号）で送る（☛52 ページ）
- ワンタッチボタンで送る（☛35、53 ページ）
- 短縮ダイヤルで送る（☛36、54 ページ）
- 電話帳機能で送る（☛37、55 ページ）

5

押す

- 原稿読取が開始されます。
- 宛先へ送信を開始します。

原稿について

セット可能な原稿

原稿のサイズ

最大サイズ

257 mm
(［注］を参照)

2000 mm

方向

最小サイズ

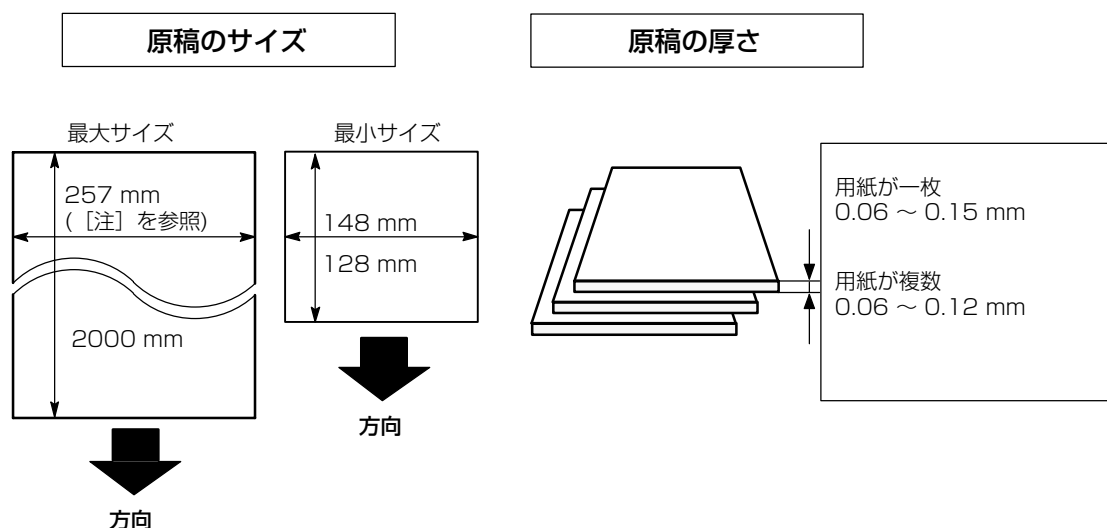
148 mm

128 mm

方向

原稿の厚さ

用紙が一枚
0.06 ～ 0.15 mm

用紙が複数
0.06 ～ 0.12 mm

注： 本機のセット可能な最大原稿幅は、257mm です。ただし有効読取幅は、252mm です。
また、最小サイズは 148mm（幅） x 128mm（長さ）です。

お知らせ

1. 複数枚の原稿をセットする際には、以下のような範囲に限られます。

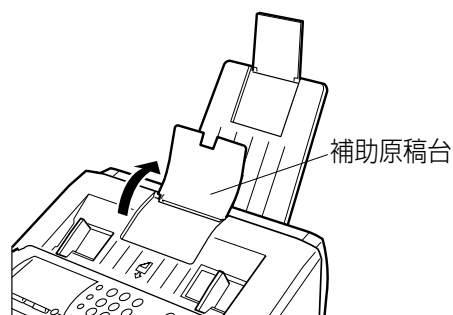
原稿のサイズ	原稿の厚さ	原稿枚数
A4(210 mm × 297 mm)	0.06 mm ～ 0.10 mm	*30 枚以下
	0.10 mm ～ 0.12 mm	20 枚以下
B4(257 mm × 364 mm)	0.06 mm ～ 0.12 mm	20 枚以下

·同一サイズ、同質の原稿
·原稿の紙質は上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）

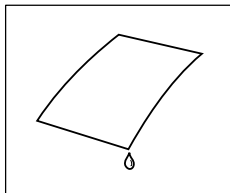
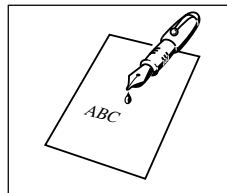
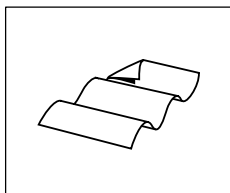
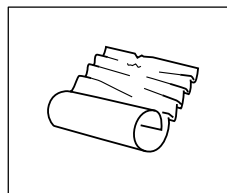
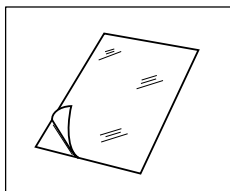
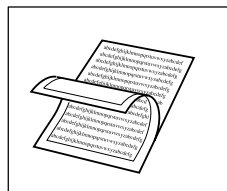
*原稿の大きさと厚みが上記仕様を満たしていても、用紙の種類によっては、30 枚セットできない場合がありますので、ご注意ください。

2. 364 mm を超える原稿をセットする場合は、手で支えながら送信してください。

3. A4 サイズより長い原稿をセットする場合は、補助原稿台を下図のように延ばしてください。

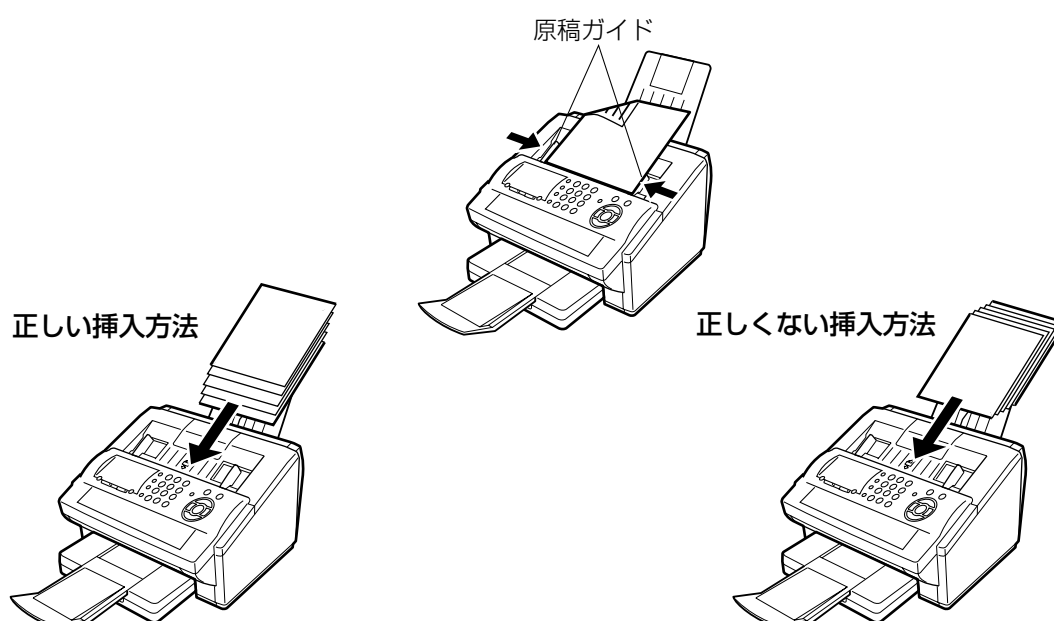
基本編

原稿について

セットできない原稿

次の原稿はセットしないでください。

湿気を帯びているもの

インクが乾いていないまたはインクの塊が残っているもの

薄すぎるもの
（0.05mm 未満の原稿）

しわになったり、曲がったりまたは折れたりしたもの

表または裏がコーティングされているもの

化学処理されたもの
(例：感圧紙、カーボンコート用紙等) または布製ないしは金属製

これらの原稿は、あらかじめ別の用紙にコピーしておいたものを送信してください。

原稿のセットのしかた

1. 原稿がホッチキスやクリップ留めされていないこと、また破れていたり、油がついていたり、コーティングされていたりしないことを確認してください。
2. 読み取る面を下向きにし、ADF（自動原稿送り装置）の奥に突き当たるまで差し込んでください。
   複数枚の原稿をセットする場合は、下記に示すように原稿を少しずつずらして ADF に挿入してください。
3. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください。

ADF に原稿をセットすると、ディスプレイのメッセージが日付 (待機画面) から次のメッセージに変わります。基本送信設定を変更するか、ダイヤル操作をしてください。

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ     00%
```

基本送信設定

送信前、原稿をセットするとき送信設定を一時的に変更することができます。

設定は次のとおりです。

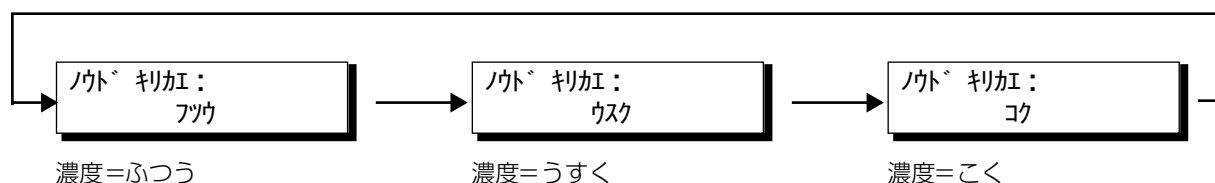
- 濃度
- 文字サイズ
- 済スタンプ
- 通信結果レポート

原稿を送信後、自動的にもとの設定に戻ります。

濃度

文字がうすい原稿を送るときは「コク」に変更してください。文字がこい原稿を送るときは「ウスク」に変更してください。

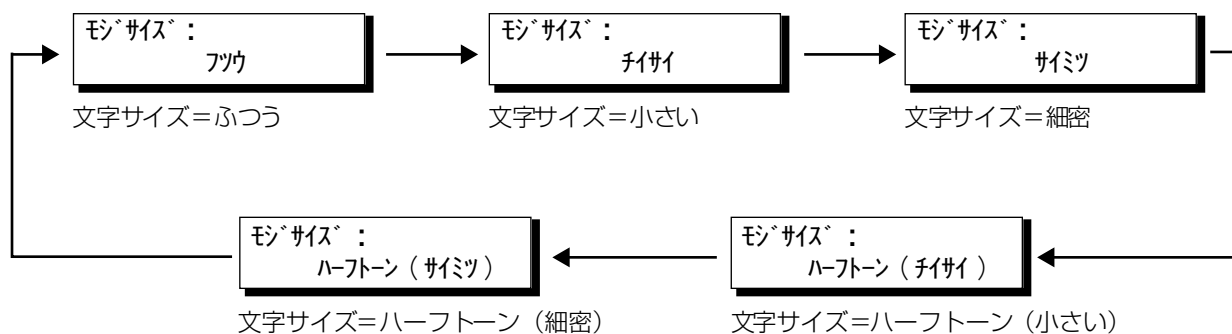
濃度 を押すごとに切り替わります。

濃度＝ふつう　濃度＝うすく　濃度＝こく

文字サイズ

細かい文字の原稿を送る時は「チイサイ」もしくは「サイミツ」、写真やカラー原稿を送るときは「ハーフトーン」に変更してください。

文字サイズ を押すごとに切り替わります。

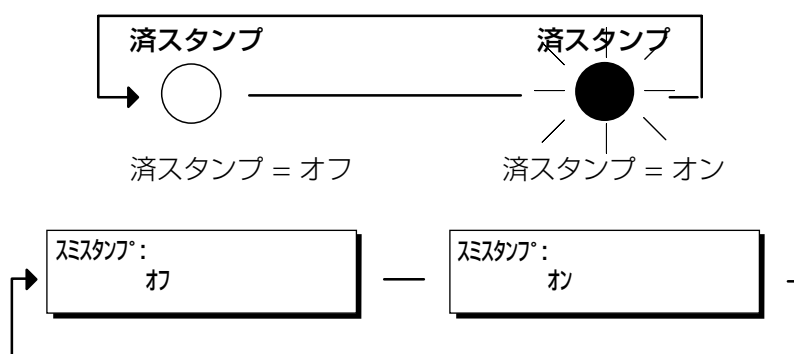
文字サイズ＝ふつう　文字サイズ＝小さい　文字サイズ＝細密

文字サイズ＝ハーフトーン（小さい）　文字サイズ＝ハーフトーン（細密）

お知らせ

1. 良くお使いになる濃度や文字サイズの設定を登録しておけば、原稿をセットするたびに設定をする手間がはぶけます。(☛241 ページ)

済スタンプ

済スタンプを使えば、送信済の各ページに小さな㋶マークが付くので、正常に送信されたことが確認できます。

済スタンプ 押すごとに切り替わります。

お知らせ

1. お買い上げ時の設定はシステム登録の「004 済スタンプ」および「028 メモリー済スタンプ」(☛241、242 ページ) は「オン」および「アリ」になっています。ダイレクト送信、メモリー送信または、ポーリング送信をする原稿に「済」マークを付けたくないときは、それぞれの設定を「オフ」および「ナシ」に設定してください。

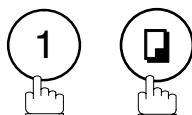
通信結果レポート

通信ごとの結果を確認できます。

通信結果レポート = **オフ**に設定した場合　　: 通信結果レポートはプリントしません。
通信結果レポート = **オン**に設定した場合　　: 通信毎に自動的に通信結果レポートをプリントします。
通信結果レポート = **ミツウシン**に設定した場合 : 通信が未通信のときのみ通信結果レポートをプリントします。

1

```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ　　　(1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

コピー/セット

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ = ﾐﾂｳｼﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾐﾂｳｼﾝ
```

3

" オフ " の場合 (プリントしない)

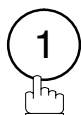
```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ = ｵﾌ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾐﾂｳｼﾝ
```

または

" オン " の場合 (常にプリント)

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ = ｵﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾐﾂｳｼﾝ
```

または

3

" ミツウシン " の場合
(通信が失敗したときのみプリント)

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ = ﾐﾂｳｼﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾐﾂｳｼﾝ
```

4

コピー/セット

お知らせ

1. 通信結果レポートの設定を変更するにはシステム登録の「012 通信結果レポート」(☛241 ページ) を変更します。

LAN を使って送信する

概要

LAN 経由で 1 宛先または複数宛先のメールアドレスに原稿を送信することができます、次のメールアドレスが指定できます。

- 直接メールアドレス指定
- ワンタッチボタン指定
- 短縮ダイヤル指定
- 電話帳機能指定
- 複数宛先指定

メールアドレスをワンタッチボタン、プログラムボタンまたは短縮ダイヤルに登録すると自動的にメモリー送信モードを選択します。

原稿はメモリーに保存され、メールメッセージを送信します。

LAN 経由での原稿送信には、ダイレクト送信、手動送信、および再ダイヤル機能は使えません。

インターネットに接続するためには

インターネット機能をご利用になるには、本機をネットワークへ正しく設定する必要があります。登録編のインターネットに接続するための事前準備を行ってください。(☛182 ページ)

直接メールアドレスを入力して送る

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

E メールモードを選択する

```
▮
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3a ワンタッチボタンとテンキーボタンを使ってメールアドレスを入力する (60 文字まで)

例： abc@panasonic.com

宛先を間違えたときは、[クリアー] を押して再指定してください。

```
abc@panasonic.com▮
```

3b メールアドレスのユーザー部分を入力し、[コピー/セット] を押す

ユーザー (インターネット) パラメーターに登録してあるデフォルトドメインが付加され送信されます。(☛お知らせ 2)
(例：メールアドレスに "panasonic.com" を追加します)

```
abc
```

```
 1 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

3c デフォルトドメインと異なるドメインに送信する場合、メールアドレスの最初の部分を入力し、[21 @] を押して、[▼] または [▲] ボタンを使い、ドメインを選択し、[スタート] を押します。(☛44 ページ)

```
abc@mgcs.com▮
```

4

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.001
        ﾏｲｽｳ=001   01%
```

```
*ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ*
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005  25%
```

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:abc@panasonic.com
```

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. システム登録の「160 デフォルトドメイン」が「アリ」でかつ、自局情報 (インターネット) パラメーターにデフォルトドメインが登録されているときにご利用できます。
(☛208、245 ページ)
3. ダイヤルの前にセレクトモード（F 8－6）で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(☛246 ページ)

ワンタッチボタンで送る

あらかじめワンタッチボタンにメールアドレスを登録しておいてください。(☛230ページ)

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

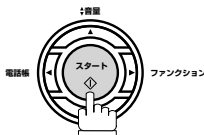
ワンタッチボタン（01-28）を押す

例：

```
&lt;01&gt;( 宛先名 )
abc@panasonic.com
```

電話番号がワンタッチボタンに登録されている場合、ディスプレイには次のように表示されます。

```
&lt;01&gt;( 宛先名 )
5551234
```

3

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.001
           ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 宛先名 )
```

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛47ページ)
3. ダイヤルの前にセレクトモード（F 8－6）で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(☛246ページ)

短縮ダイヤルで送る

あらかじめ短縮ダイヤルにメールアドレスを登録しておいてください。(☛232 ページ)

短縮ダイヤルは 001 ～ 100 までの任意の 100 ヵ所をお使いになれます。

1

送る面を裏向きにセットする

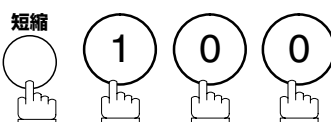
```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

短縮 を押して、3 桁の短縮番号 (001-100) を押す

例：

0

```
[100]( 宛先名 )
xyz@panasonic.com
```

電話番号が短縮ダイヤルに登録されている場合、ディスプレイには次のように表示されます。

```
[100]( 宛先名 )
5553456
```

3

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.001
        ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 宛先名 )
```

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛47 ページ)
3. ダイヤルの前にセレクトモード（F 8 – 6）で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(☛246 ページ)

電話帳機能で送る

ワンタッチボタン、短縮ダイヤルに登録 (☛230、232ページ) してある宛先を電話帳機能で検索してダイヤルできます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2a

宛先名を検索する場合

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ          < ｶﾅ
▮
```

または

2b

メールアドレスを検索する場合

```
▮
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃ ｸﾀﾞｻｲ
```

3a 文字ボタンを使って宛先名の全部または一部を入力する (☛237ページ)

例：PANASONICを検索するには P A N A

間違った場合、クリアーを押して文字を消し、正しい文字を再入力してください。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ          <A>
PANA▮
```

または

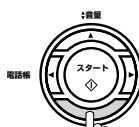
3b 文字ボタンを使ってメールアドレスの全部または一部を入力する

例：xyz@panasonic.com　を検索するには x を入力します。

```
x▮
xyz@panasonic.com
```

4

または

送信する宛先名、電話番号 / メールアドレスが表示されるまで繰り返してください。

```
<01>PANASONIC
NEW_YORK@panasonic.c
```

または

```
x▮
xyz@panasonic.com
```

基本編

5

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.001
        ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:PANASONIC
```

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛47ページ)
3. ダイヤルの前にセレクトモード（F 8－6）で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(☛246ページ)

一度にたくさんの相手に送る（同報送信）

原稿をメモリーに蓄積し、複数の宛先に送信できます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2 次の方法でメールアドレスを組み合わせて入力する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

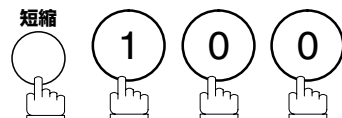
  各宛先選択後［セット］を押します。
- 直接メールアドレス入力

  各宛先入力後［セット］を押します。（最大70件）

  （☛34～38ページ）

例：

```
<01>( 宛先名 )
abc@panasonic.com
```

例：

```
[100]( 宛先名 )
xyz@panasonic.com
```

入力した宛先数を確認する場合、［セット］を押します。

```
 2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

基本編

3

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.001
        ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 宛先名 )
```

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛47ページ)
3. メールアドレスと電話番号を組み合わせることができます。
4. 一般的に LAN による複数宛先への送信は、SMTP サーバーに 1 回の送信で完了します。しかし、システム登録の「173 送達確認要求：オン」になっているか、「172 ダイレクト IFAX 送信：アリ」モードのときは、各宛先への個別送信となります。
5. ダイヤルの前にセレクトモード（F 8 – 6）で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(☛246ページ)

メモリー送信予約 (マルチタスク)

お使いのファクスがメモリーからの送信、受信もしくはプリントを行なっている場合、次の手順で送信の予約ができます。

1 送信または受信中で、通信中ランプが点滅するかまたはプリント中のときは、次のように表示する

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 宛先名 )
```

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 相手先 ID)
```

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

3 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます。）

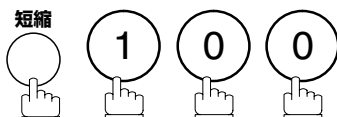
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  各宛先選択後 セット を押します。

- 直接メールアドレス入力

  各宛先入力後 セット を押します。（最大 70 件）

  （☛34 ～ 38 ページ）

例：

```
<01>( 宛先名 )
abc@panasonic.com
```

```
[100]( 宛先名 )
xyz@panasonic.com
```

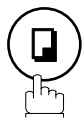
- 入力した宛先数を確認する場合、セット を押します。

```
 2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

4

コピー/セット

5

```
* チクセキ シテイマス *   NO.001
          マイスウ =001   01%
```

```
* チクセキ カンリョウ *
 ゲンコウ マイスウ=005   25%
```

原稿をメモリーに蓄積します。
読取り終了後、メモリーに予約された通信が開始されます。

お知らせ

1. メモリ送信予約のキャンセルについては、121 ページを参照ください。

自動再ダイヤル

LAN 接続が正常に行なわれなかったり、相手サーバーが通信不可能などで通信ができなかったときは、3 分ごとに最大 2 回まで再ダイヤルします。

その間、右のようなメッセージが表示されます。ファイル番号は、メモリー送信ファイルの場合ディスプレイの右端上部に表示されます。

```
ﾀﾞｲﾔﾙﾏﾁ          NO.001
( ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ )
```

手動再ダイヤル

再ダイヤル ボタンを押して、手動で再ダイヤルをすることもできます。

1

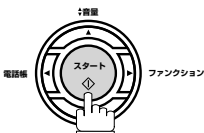
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ     00%
```

2

再ダイヤル/ポーズ

```
abc@panasonic.com▮
```

3

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.002
         ﾏｲｽｳ=001   01%
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

お知らせ

1. " ダイヤルマチ " が表示されているとき、再ダイヤル を押すことで再送信できます。

セレクトドメイン

セレクトドメイン機能を使うことで、メールアドレスの入力が簡単になります。

- ふだん使うドメイン名を最大10件まで、インターネットパラメーターのセレクトドメインリストに登録することができます。(☛208 ページ)

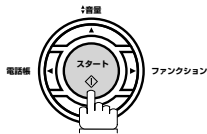
例： セレクトドメインリストで事前登録した "panasonic.com" ドメインを使って、パナソニック販売部宛 "sales@panasonic.com" に E メールを送信する場合、以下の手順で行ないます。

6 セット を押す

1 アテサキ セット サレテイマス
アテサキ ツイカ マタハ スタート

- 続けて、次の宛先を入力できます。

または

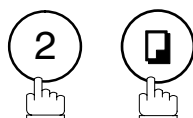
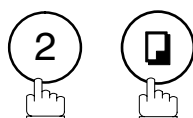
7

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

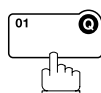
お知らせ

1. 必要なドメイン名が見つからない場合、クリアー を押して、セレクトドメインを終了してください。

送達確認要求（MDN）

送達確認要求（MDN）を受信側に受信確認のメールを要求することができます。受信側が送達確認機能を備えている場合、送信元に受信確認メールを自動的に送信することができます。

受信確認メールが戻ってきた場合、お使いのファクスの通信管理レポートには「OK」が表示されます。

5 宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  各宛先選択後［セット］を押します。
- 直接メールアドレス入力
  各宛先入力後［セット］を押します。（最大 70 件）
  （☛34 ～ 38 ページ）

<01>(宛先名)
panasonic.usa@panas

例：

6

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

お知らせ

1. 別々の宛先に送達確認を行う場合、宛先に対応する LAN にその度に接続し、送達確認を要求します。
2. 送達確認要求のデフォルト設定を変更するには、システム登録の「173 送達確認要求」を変更します。(☛245 ページ)

エラーメール

インターネット通信モードでは、正常に送れなかった場合にメールサーバーからエラーメールが返送されてきます。メールサーバーからの情報と 1 枚目の画情報の一部がプリントされます。

エラーメールのプリント例

```
Received: from localhost (localhost) by ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with
internal id OAA24381; Sun, dd Mmm yyyy  14:52:57 +0900
Date: Sun, dd Mmm yyyy  14:52:57 +0900
From: Mail Delivery Subsystem <MAILER-DAEMON@ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: Returned mail: User unknown
Message-Id: <200011120552.OAA24381@ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
To: <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>

The original message was received at Sun, dd Mmm yyyy  14:52:54 +0900
from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21.22.51]

   ----- The following addresses had delivery problems -----
<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>  (unrecoverable error)

   ----- Transcript of session follows -----
.... while talking to nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp.:
>>> RCPT To:<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
<<< 550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown
550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown

   ----- Original message follows -----
Return-Path: fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp
Received: from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp (Internet FAX) (nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21
.22.51]) by ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with SMTP id OAA24380 for <error@nwr39
.rdmg.mgcs.mei.co.jp>; Sun, dd Mmm yyyy  14:52:54 +0900
Message-Id: <200011120552.OAA24380@ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Mime-Version: 1.0
Content-Type: image/tiff
Content-Transfer-Encoding: base64
Content-Disposition: attachment; filename="image.tif"
Content-Description: image.tif
X-Mailer: Internet FAX, MGCS
Date: Sun, dd Mmm yyyy  14:49:00 +0900
From: "DP-2000" <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: IMAGE from Internet FAX
To: error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp
```

5

2005-03-15　14:49　FROM UF-6010　P.01/01

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　dd Mmm yyyy

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause

メーリングリストを使う

複数の相手のメールアドレスを指定するかわりに、あらかじめメールサーバーに登録されたメーリングリストを利用すると、１回の操作で、簡単に複数宛先送信ができます。

メーリングリストのご利用については、システム管理者とよくご相談のうえご使用ください。

電話回線で送信する

概要

メモリーまたはダイレクト送信、手動送信のいずれかを選択できます。

以下の場合メモリー送信を使います。

- 原稿を複数の宛先に送信する
- 原稿をすぐに持ち帰る
- マルチタスクで操作をする

次の場合ダイレクト送信を使います。

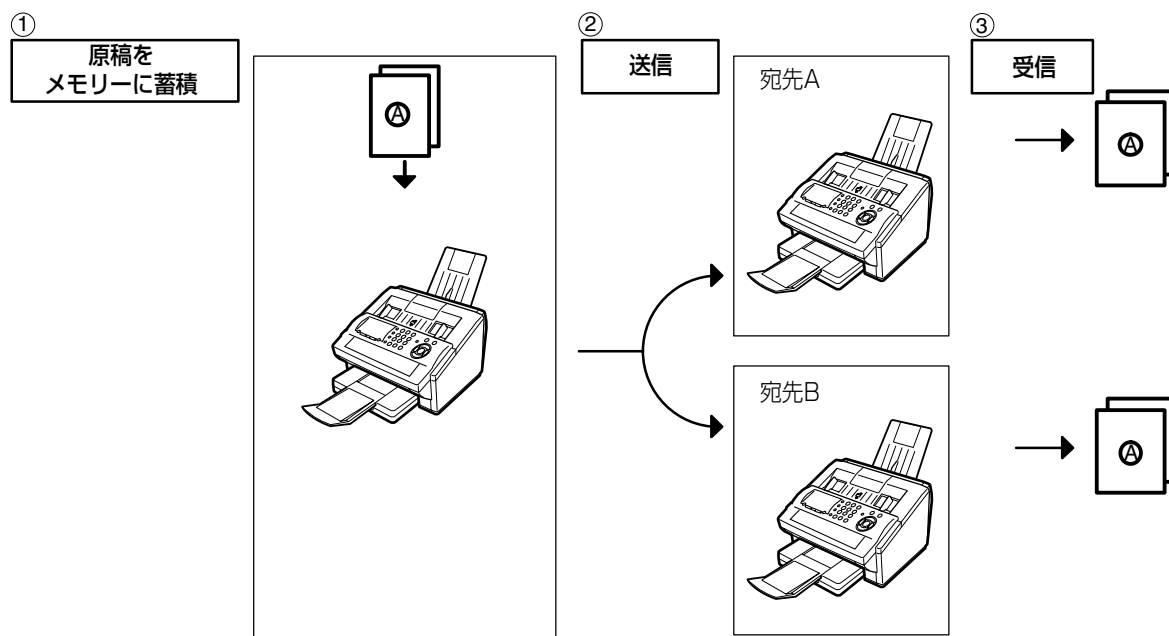
- メモリーがいっぱい
- 原稿を次の通信で割込んで送信する

次の場合手動送信を使います。

- 他の通話相手と話した後に原稿を送信する
- ダイヤルトーンを聞いたあとに原稿を送信する

メモリー送信

原稿をメモリーに蓄積し、次にダイヤルを開始します。

送信途中で通信が中断されたときは、残りのページを再送します。

お知らせ

1. メモリーに蓄積された原稿のファイル番号はディスプレイの右端上部に表示されます。通信結果レポートなどにもプリントされます。使用されるメモリーの割合は、各ページ保存後ディスプレイの右端下部に表示されます。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.003
       ﾏｲｽｳ =002   30%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005  25%
```

2. 複数宛先を指定しているとき、原稿保存中にメモリー容量が一杯になった場合、ADF の残りの原稿は排出されます。ファクスが蓄積された原稿を送信するか、または送信をキャンセルするかを聞いてきます。①を押して、キャンセルするか、②を押して送信します。

```
ﾒﾓﾘｰ ｵｰﾊﾞｰ
   ｺｰﾄﾞ =0870
```

10 秒以内に操作をしない場合、ＡＤＦ 上の原稿は排出されます。すでにメモリーへ読込まれた原稿について送信します。

```
15 ﾍﾟｰｼﾞ ｶﾝﾘｮｳ
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

3. 何らかの原因で正常に送信できない場合、エラーコードが表示されます。
   未通信となった場合、読込まれた原稿は自動的にメモリーから消去され、エラーコードは通信結果レポートにプリントされます。
   未通信となった場合でも、原稿をメモリーに残しておきたい場合は、システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更します。(☛242 ページ)未通信ファイルを再送する場合については、124 ページを参照してください。

```
ｻｲﾂｳｼﾝｶﾞ ﾋﾂﾖｳﾃﾞｽ
       ｺｰﾄﾞ=XXXX
```

4. 送信を停止する場合は、ストップ を押します。
   ディスプレイには次のように表示されます。

```
ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

   ①を押して、送信を停止します。保存した原稿は、自動的に消去されます。原稿を消さない場合は、前もってシステム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更します。
   (☛242 ページ)
   次のような表示が現れ、ファイルを保存するか、削除するかを選択します。

```
ﾌｧｲﾙ ｾｰﾌﾞ ｼﾏｽｶ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

5. 送信停止後に通信結果レポートをプリントする場合は次の表示で①を押します。

```
ﾂｳｼﾝｹｯｶﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

6. ファイルメモリー容量が 70 ファイルになり、別のファイルを保存しようとする場合、次の表示が現れ追加ファイルの保存ができなくなります。空きができてから送信ください。

```
ｾｯﾄ ﾃﾞｷﾏｾﾝ
```

直接ダイヤルで送る

電話番号を手動でダイヤルするには、以下の手順に従ってください。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

電話番号をテンキーボタンから入力する
(36 桁まで)

例：「5551234」を入力します。

```
TEL. NO.
5551234■
```

3

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.002
            ﾏｲｽｳ =001   05%
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ * NO.002
5551234
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  次に、最初のページを読取り後、すぐにダイヤルを開始します。(☛ お知らせ 3)
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 [ポーズ] を押して宛先の番号を全部入力してください。
   例：9 [ポーズ] 5551234
2. パルスダイヤル回線を使用しているとき、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、(✱)(トーン) を押してください。
   ”／” の前まで発信後、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
   例：9 [ポーズ] (✱) 5551234
3. この機能は “**クイックメモリー送信**” と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。(☛243 ページ)
4. 電話番号のあとに［フック／ F コード］を押すと” s ” が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。

ワンタッチボタンで送る

ワンタッチボタンを使って、簡単な操作でダイヤルできます。ワンタッチボタンの設定については、230ページを参照ください。

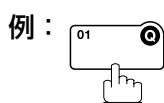
1

送る面を裏向きにセットする

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 00%

2

ワンタッチボタンを押す

例：

<01>（宛先名）
5551234

3

＊ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ＊ NO.002
ﾏｲｽｳ=001 05%

＊ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ＊ NO.002
（宛先名）

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  次に、最初のページを読取り後、すぐにダイヤルを開始します。(☛ お知らせ 1)
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

お知らせ

1. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。(☛243ページ)

短縮ダイヤルで送る

短縮ダイヤルを使って、短縮番号を押すことで、ダイヤルできます。短縮ダイヤル番号の設定に関しては、232 ページを参照ください。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

短縮 を押して、次に 3 桁の短縮番号を入力する

例：

```
[010](宛先名)
5553456
```

3

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *  NO.002
        ﾏｲｽｳ=001    05%
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ * NO.002
(宛先名)
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  次に最初のページを読取り後、すぐにダイヤルを開始します。(☛ お知らせ 1)
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

お知らせ

1. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。(☛243 ページ)

電話帳機能で送る

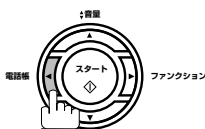
ワンタッチボタン、短縮ダイヤルに登録（☛230、232 ページ）してある宛先を電話帳機能で検索してダイヤルできます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

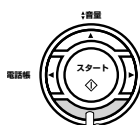
```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ            < ｶﾅ
▮
```

3

文字ボタンを使って宛先名の全部または一部を入力する (☛237 ページ)

例：「PANASONIC」を検索するには「PANA」と入力してください。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ             <A>
PANA▮
```

4

または

ディスプレイに送信する宛先名が表示されるまで繰り返します。

```
<01>PANASONIC
5553456
```

5

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  次に最初のページを読取り後、すぐにダイヤルを開始します。(☛ お知らせ 1)
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.002
      ﾏｲｽｳ =001   05%
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ * NO.002
PANASONIC
```

お知らせ

1. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。(☛243ページ)

一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信）

同じ原稿を複数の宛先に送信する場合、メモリー送信を使うことで一度の操作でたくさんの相手に送ることができます。

1

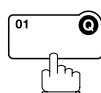
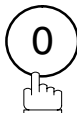
送る面を裏向きにセットする

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 00%

2

次の方法を組み合わせてダイヤルする

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  各宛先選択後［セット］を押します。
- 直接ダイヤル
  各宛先入力後［セット］を押します。（最大 70 件）
  （☛52 ～ 55 ページ）

例：

短縮

<01>（宛先名）
5551234

[010]（宛先名）
5553456

- 入力した宛先数を確認する場合、［セット］を押します。

2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ

3

* 原稿をメモリーに蓄積します。
* 宛先へ送信を開始します。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.001
        ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ * NO.001
( 宛先名 )
```

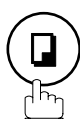
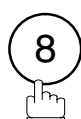
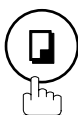
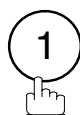
お知らせ

1. ▼ または ▲を押して原稿をメモリーに保存することで、手順３で入力した宛先を見直すことができます。必要に応じて LCD 上に表示される宛先を**クリアー**を押すことで削除できます。
2. **クイックメモリー送信**は複数宛先を設定している場合は使用できません。

基本編

ダイレクト送信（メモリーを使わずに送る）

原稿の枚数が多いなどで、メモリーに入りきらないときにお使いください。

ダイレクト送信をするには、以下の手順に従ってメモリー送信の設定を「オフ」にして送信してください。

宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （宛先選択後 スタート を押します）
- 直接ダイヤル
  （宛先入力後 スタート を押します）

例：「5551234」を入力します。

5

```
＊ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ＊
5551234
```

- 宛先へ送信を開始します。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押して宛先の番号を全部入力してください。
   例：9 ポーズ 5551234
2. 回転ダイヤル式回線を使用しているとき、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、✱(トーン)を押してください。"／"の前まで発信後、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
   例：9 ポーズ ✱5551234
3. 送信を停止するには、ストップ を押します。ディスプレイには次のように表示されます。

```
ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定 (F8-1) が「オン」になっていてもプリントアウトはしません。

手動送信

本機にオプションのハンドセットユニットまたは外部電話機を接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話をしたあとファクスの送信ができます。

オフフックダイヤル

オフフックダイヤルについては、以下の手順に従ってください。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

ファクスまたは外部電話機の受話器を持ち上げ、テンキーボタンから電話番号をダイヤルする

例：「5551234」を入力します。

```
ｼﾞｭﾜｷ ｶﾞ ｱｶﾞｯﾃｲﾏｽ
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ*
5551234■
```

3

相手と話をし、受信側の準備をするように伝える

次に、ピーッという音が聞こえたら、

```
* ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
```

受話器を置きます。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押して宛先の番号を全部入力してください。
   例：9 ポーズ 5551234
2. 回転ダイヤル式回線を使用しているとき、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、✱（トーン）を押してください。"／" の前まで発信後、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
   例：9 ポーズ ✱ 5551234
3. 送信を停止するには、ストップ を押します。ディスプレイには次のように表示されます。

```
ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定が「オン」になっていてもプリントアウトはしません。

オンフックダイヤル

オンフックダイヤルは、以下の手順に従ってください。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

```
＊ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ＊
▮
```

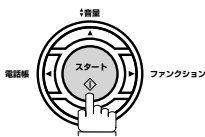
モニタースピーカーからダイヤル発信音が聞こえます。

3 テンキーボタンから電話番号をダイヤルする

例：「5551234」を入力する。

```
＊ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ＊
5551234▮
```

4 ピーという音がしたら、

押す

```
＊ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ ＊
```

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 [ポーズ] を押して宛先の番号を全部入力してください。
   例：9 [ポーズ] 5551234
2. 回転ダイヤル式回線を使用しているとき、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、(＊)（トーン）を押してください。”／” の前まで発信後、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
   例：9 [ポーズ] (＊)5551234
3. 送信を停止するには、[ストップ]を押します。ディスプレイには次のように表示されます。

```
ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1: ﾊｲ  2: ｲｲｴ
```

①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定が「オン」になっていてもプリントアウトはしません。

メモリー送信予約（マルチタスク）

メモリーから原稿を送信または原稿を受信しながら、次の操作ができます。

- 次の送信をメモリーに蓄積する（最大 70 件）
- 優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）

ファクスからメモリーを使って送信、受信またはプリントを行なっている場合、次の手順で原稿をメモリー送信予約ができます。

1 ファクスが通信中の場合、または受信原稿をプリント中のときは、次のような表示となります。

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 宛先名 )
```

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 相手先 ID)
```

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2

送る面を裏向きにセットする

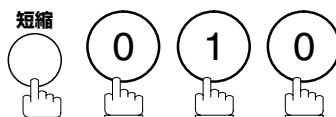
```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

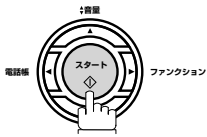
3 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
- 直接ダイヤル

例：

```
<01>( 宛先名 )
5551234
```

```
[010]( 宛先名 )
5553456
```

- 入力した宛先数を確認する場合は、［セット］を押します。

4

原稿をメモリーに蓄積します。

```
* チクセキ シテイマス *   NO.001
          マイスウ =001   01%
```

```
* チクセキ カンリョウ *
 ケ゛ンコウ マイスウ=005   25%
```

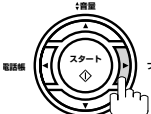
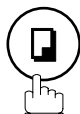
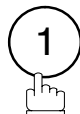

お知らせ

1. メモリー送信予約のキャンセルについては、121 ページを参照ください。

優先ファイル送信予約（ダイレクト送信）

緊急を要する原稿を送信する際に、メモリーに多数のファイルがある場合、優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）を使って、緊急原稿を送信します。緊急原稿は現行通信が終了後すぐに送信されます。

複数相手先への原稿送信はできません。

1 ファクスが通信中の場合、または受信原稿をプリントするときは次のような表示となる

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 宛先名 )
```

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 相手先 ID)
```

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2 送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

3

8 9

コピー/セット

```
ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ = ｵﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ
```

4

コピー/セット

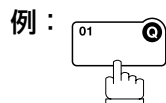
1

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                00%
```

5 宛先を指定する（1宛先のみ指定できます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （宛先選択後 スタート を押します）
- 直接ダイヤル
  （宛先入力後 スタート を押します）

```
<01>( 宛先名 )
5551234
```

例：

緊急原稿の送信を 1 宛先のみ予約できます。

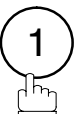
“ユウセンヨヤク サレテイマス” メッセージがディスプレイに表示されます。

優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）を取り消す

1 原稿が ADF にあることを確認する

```
ﾕｳｾﾝ ﾖﾔｸ ｻﾚﾃｲﾏｽ
```

2 ストップ

```
ﾕｳｾﾝ ﾖﾔｸ ﾄﾘｹｼ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ
```

3

次に、ADF から原稿を取り除く

再ダイヤル

自動再ダイヤル

相手が話し中などでつながらなかった場合、約 3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

メモリー送信ファイルの場合、ファイル番号がディスプレイの右端上部に表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙﾏﾁ　　　　NO.001
<01>(宛先名)

手動再ダイヤル

再ダイヤル を押すことで、最後にダイヤルした番号に再ダイヤルすることもできます。

最後にダイヤルした番号にメモリーから再ダイヤルする

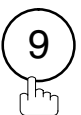
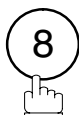
- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 次に最後にダイヤルした番号にダイヤルします。

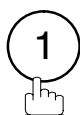
ダイレクト送信で再ダイヤルで送る

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

```
ﾒﾓﾘｰﾕｳｾﾝ = ｵﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ
```

3

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                   00%
```

4

再ダイヤル/ポーズ

最後にダイヤルした番号にダイヤルを開始します。

```
ｽﾀｰﾄ ﾃﾞ ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｼ
5551234■
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ *
5551234
```

お知らせ

1. “ダイヤルマチ”表示のとき、**再ダイヤル** を押すことで再送信できます。
2. ダイレクト送信を取り消すには **ストップ** を押します。

基本編

LANを使って受信する

概要

LAN 内の PC およびインターネットファクスからの受信については、自動的にプリントされて受信トレイに排出されます。受信するための設定はありません。ただし、POP サーバーに接続してインターネットファクスをご利用の場合は、POP 関連の設定が必要になります。(☛70 ページ)

インターネットファクスは原稿以外に E メールも受信できます。

E メールを PC で見る場合の操作については、お使いのメールソフトやビューアーソフトの取扱説明書をご覧ください。

次に E メールを PC で見る場合の一例を示します。

インターネットファクス送信を PC で受信した場合の画面

図 1: Outlook Express メールボックス見本

- 上記例はMicrosoft® Windowsで作動するOutlook® Expressメールボックスからのものです。お使いの E メールアプリケーションソフトが違う場合は、お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照ください。

インターネットファクスから受信したメールを表示させた場合の画面

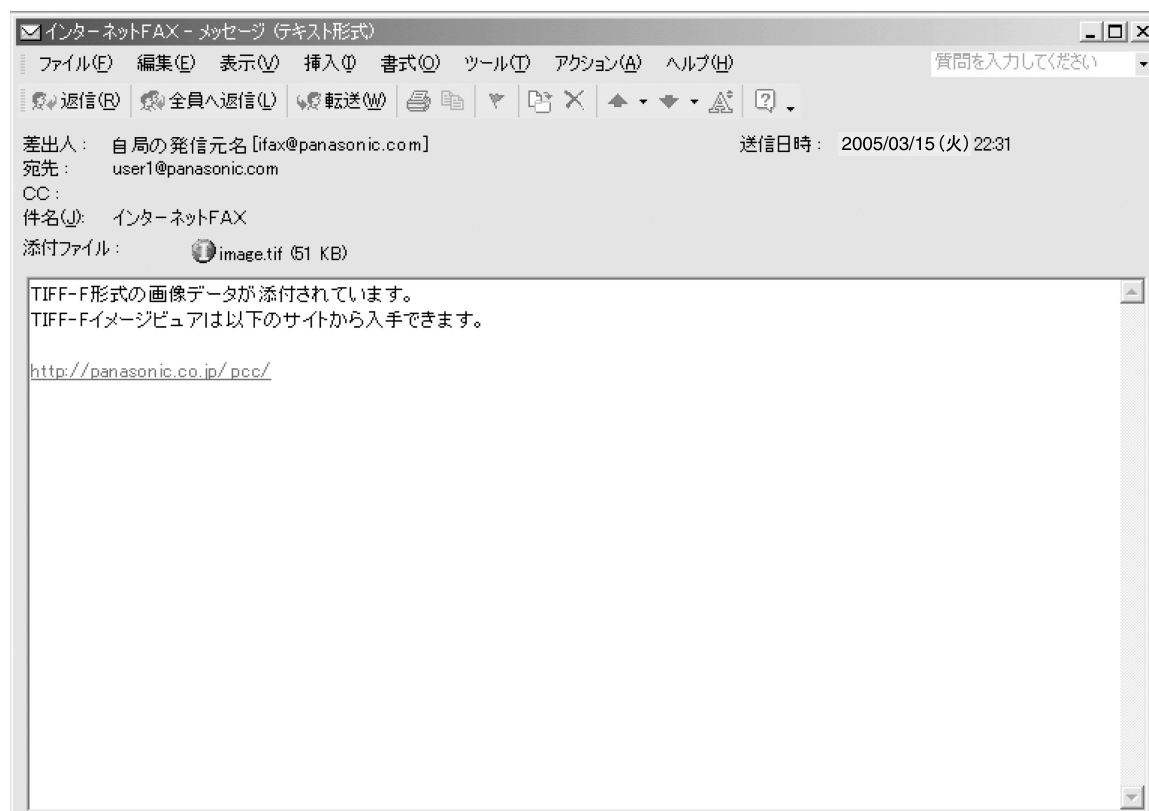



図 2: PC で受信したインターネットファクス

上記の例は、Microsoft® Windows で作動する Windows メッセージからの引用です。

フリーソフトの TIFF ビューアー、TIFF コンバーター、プリンタードライバー、LPR 、Adobe® Acrobat® Reader が以下のホームページからダウンロードできます。

- 日本語のホームページ http://panasonic.co.jp/pcc/
- アドビ システムズ社のホームページ http://www.adobe.co.jp/

ダウンロードしたソフトウェアのインストール作業並びにインストール後の動作に関しましては、お客様の責任の元お取り扱いいただきますようお願いいたします。当社では、このソフトウェアについての動作保証、インストール後の二次的損害に関してはその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お知らせ

1. UF-6010 は TIFF 形式および PDF 形式のファイルで送信できます。システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で切替えができます。(☛ 246 ページ)

POP サーバーからメール受信

POP サーバーに接続してご利用されている場合には、以下の方法で受信できます。
(お使いの機器が POP サーバーに接続されているかどうかは、システム管理者の方におたずねください)。

POP パラメーターの設定

POP サーバーに関連するシステム登録の設定をします。(No.146 ～ 149)(☛244 ページ)

NO.146(POP 取得間隔)	:	POP サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔(0～ 60 分)を設定します。(0 分の時は自動で問い合わせは行いません。)
No.147(POP 自動受信)	:	POP サーバー自動問い合わせで受信メールが有る場合、メールを受信し、プリントします。 “ナシ”の場合は、ディスプレイに受信メールの件数のみを表示します。
No.148(POP 後メール削除)	:	メール受信後、サーバーからメールを削除する・しないを設定します。
No.149(POP エラーメール削除)	:	プリントできない添付ファイルを受信した場合、サーバーからメールを削除する・しないを設定します。

上記 POP パラメーターを設定するには、下記の手順に従ってください。

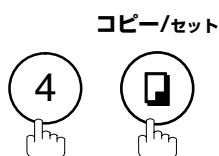
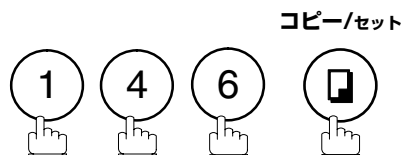
1

```
トウロク モート゛        (1-4)
ハ゛ンコ゛ウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

コピー/セット

```
システム トウロク      (1-181)
            NO.=▮
```

3

コピー/セット

```
146 POP シュトク カンカク
  3        フン (0-60)
```

4 取得間隔 (0 ～ 60 分) を入力する

例: ⓪⑤

```
146 POP シュトク カンカク
  5        フン (0-60)
```

間違った場合、クリアー を押して数字を消去し、次に正しい値を再入力します。

5 コピー/セット

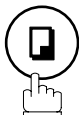
```
147 POP ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ
 2: ｱﾘ
```

6 POP 自動受信の設定を入力する

" ナシ " の場合①

または

" アリ " の場合②

```
147 POP ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ
 2: ｱﾘ
```

7 コピー/セット

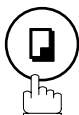
```
148 POPｺﾞ ﾒｰﾙｻｸｼﾞｮ
  2: ｱﾘ
```

8 POP 後サーバーからメールの削除をするかしないかの設定を入力する

" ナシ " にするには①

または

" アリ " にするには②

```
148 POPｺﾞ ﾒｰﾙｻｸｼﾞｮ
  2: ｱﾘ
```

9 コピー/セット

```
149 POPｴﾗｰ ﾒｰﾙｻｸｼﾞｮ
 1: ﾅｼ
```

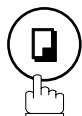
10 POP エラー時のメール削除をするかしないかの設定を入力する

" ナシ " にするには①

または

" アリ " にするには②

```
149 POPｴﾗｰ ﾒｰﾙｻｸｼﾞｮ
 1: ﾅｼ
```

11 コピー/セット

```
150 ｿｳﾀﾂ ｶｸﾆﾝ ﾍﾝｿｳ
 1: ﾅｼ
```

12 ストップ

お知らせ

1. プリントできない添付ファイルを受信した場合、プリントできないことを通知します。
2. システム登録の「148 POP 後メール削除」および「149 POP エラーメール削除」のいずれかの設定が「ナシ」になっている場合、メールは削除されません。この場合、後でお手持ちの PC にこの E メールを取り込むことができます。
   さらに、これらのシステム登録の設定が「ナシ」に設定されている場合、POP サーバーからの E メールを定期的に削除しなければなりません。POP サーバーは、アカウントごとに一定の容量を確保しますが、メールが定期的に削除しない場合、メールボックスが容量オーバーとなり、新規メールが拒否されることになります。
   これらのメールはお手持ちの PC から取り込むかシステム登録の設定を「アリ」に設定し、お手持ちのファクスが POP サーバーからすべてのメールを受信、プリントおよび削除できるようにします。しかし、この場合、前にプリントしたメールを再びプリントしてしまうこともあります。

POP サーバーからの自動受信

システム登録の「146 取得間隔」の数値を 1 ～ 60 分の間に設定し、システム登録の「147 POP 自動受信」を「アリ」に設定している場合、ファクスは新規メールを指定された時間ごとに自動的に POP 受信します。

POP サーバー上のメールはすべて取り込み、自動的にプリントします。

```
1 ｹﾝ ﾒｰﾙｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ
```

システム登録の「147 POP 自動受信」を「ナシ」に設定している場合、ファクスはシステム登録の No.146 で指定した間隔で POP サーバーへメール着信の確認をします。新着のメールがある場合でもメール取得は行いませんが、着信数の表示は行います。

```
2005-03-15 15:00
<ﾒｰﾙｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ>
```

POP サーバーから手動受信

POP サーバーから手動で受信するには、以下の手順に従ってください。

1

```
2005-03-15 15:00
                00%
```

または

```
2005-03-15 15:00
<ﾒｰﾙｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ>
```

2 POP サーバー新着のメールがない場合は、次のメッセージが表示されます。

```
ｼﾞｭｼﾝﾒｰﾙﾊ ｱﾘﾏｾﾝ
```

3 新着のメールが POP サーバー上にある場合、着信メール数を表示し、メールを受信後、プリントします。

```
*ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:abc@panasonic.com
```

お知らせ

1. POP ユーザー名と POP パスワードをプログラムボタンに登録してある場合、自局情報（インターネットパラメーター）で登録した名前以外の POP ユーザー名を使って POP サーバーからメール受信できます。

電話回線で受信する

受信モード

以下の 4 つのモードから 1 つを選択できます。

ご利用の目安	受信モード	設定
電話での受信のみ	**電話モード (手動受信)** 電話がかかってくると、呼出音が鳴ります。ファクス通信を受けたときは、スタート を押して、手動で受信します。	システム登録の No.17 を「シュドウ」にする。 2005-03-15 15:00 <ｼｭﾄﾞｳ> 00%
ファクスでの受信のみ	**FAX 専用モード** 電話がかかってくると、自動的にファクス受信します。	システム登録の No.17 を「FAX センヨウ」にする。 2005-03-15 15:00 00%
電話とファクスの両方を受信する	**ファクス / 電話自動切替モード** 電話がかかってくると、ファクスが一度電話を受けてから、相手がファクスか電話かを自動的に判断して切り替えます。	システム登録の No.17 を「FAX/TEL 切替 」にする。 2005-03-15 15:00 <F/T ｷﾘｶｴ> 00%
電話とファクスの両方を受信し、留守番電話 (留守番電話機) を接続する	**留守録接続モード** 接続した留守番電話機が電話を受けたあと、相手がファクスの場合には自動的に受信します。	システム登録の No.17 を「ルスロクセツゾク」にする。 2005-03-15 15:00 <ﾙｽﾛｸ ｾﾂｿﾞｸ> 00%

お知らせ

1. 接続する留守番電話機によっては、「留守録接続」時に正常に動作しない機器があります。

手動受信する

本機にオプションのハンドセットユニットまたは外部電話機を接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話をしたあとファクスの受信ができます。

電話モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「シュドウ」に変更する(☛241 ページ)

電話モードの操作

1 電話が鳴ったら、受話器を持ち上げる

電話からポーッ、ポーッという音が聞こえたら、ファクス着信です。
または発信者が応答し、ファクス送信する旨を伝えられたときは、

2 ADF に原稿がないことを確認する

3a **受話器(ハンドセット)を使っている場合(☛ おしらせ 1)**

3b **外部電話機を使っている場合**

または

- 外部電話機にプッシュホン式電話をお使いの場合：
  「*」「*」(2 秒以内に押す)
- 外部電話機にダイヤル式電話機をお使いの場合：
  「9」「9」(5 秒以内にダイヤルする)

お知らせ

1. オプションのハンドセットをお使いになるときは、システム登録の「075 オプションハンドセット」の設定を「アリ」にしてください。(☛ 243 ページ)

4 受話器を戻す

- 外部電話機から電話をかけた時は、リモート受信できません。

ファクス専用のときファクスを受ける

相手がファクスを送ってくると、自動的に受信を始めます。

ファクス専用モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「FAX センヨウ」に変更する (☛241 ページ)

ファクス専用モードの操作

自動的に受信を開始します。

ファクス／電話自動切替のときファクスを受ける

一度電話を受けてから、相手がファクスか電話かを自動的に判断して切り替えます。

ファクス / 電話自動切替モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「FAX/TEL 切替」に変更する (☛241 ページ)

ファクス / 電話自動切替モードの操作

ファクス着信である場合

1 ファクスが最初に応答し､電話かファクス着信かを区別する

2 自動的に原稿の受信を開始する

電話の場合

1 ファクスが最初に通話に応答し､電話かファクス着信かを区別する

2 呼び出し音を鳴らし、着信を通知する (☛ お知らせ 1)

3 受話器を持ち上げる

- 「ジュシン シテイマス」と表示されているときは、受話器を持ち上げたあと[ストップ]を押します。

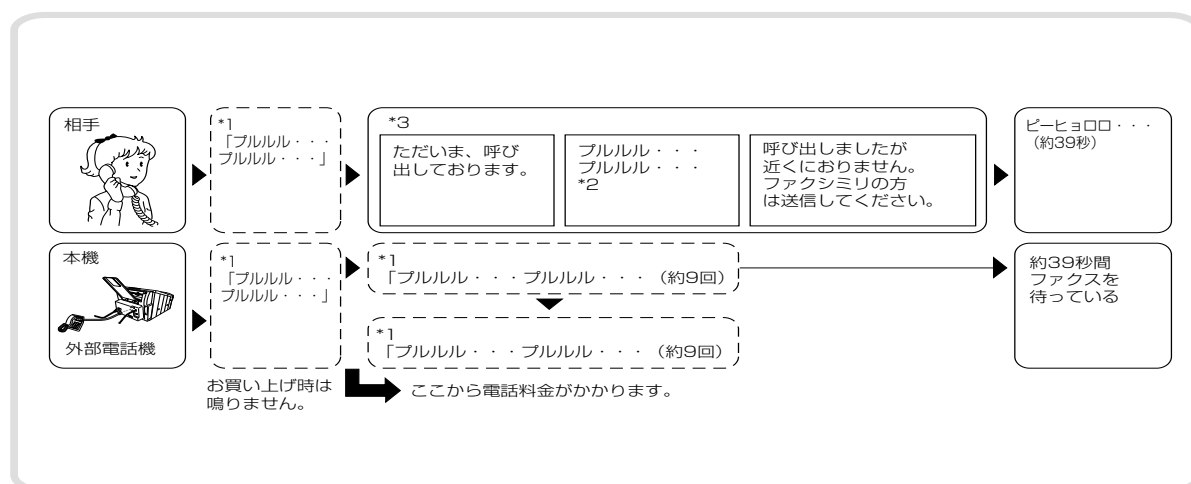
4 会話をはじめる

お知らせ

1. ファクスの呼出音を鳴らす回数は、システム登録の「018 F/T ベル回数」で変更できます。(☛241 ページ)
2. 呼出音量の調整については、24 ページを参照ください。

基本編

電話回線で受信する

ファクス / 電話自動切替にセットしているとき、電話がかかってくると

*1「021 着信ベル回数（☛242 ページ「システム登録」）

「ただいま呼び出しております」が聞こえる前に呼出音を鳴らすことができます。

呼出回数を設定すると、相手が自動送信のファクスでも呼出音が鳴ります。

*2「018 F/T ベル回数」（☛241 ページ「システム登録」）

ファクスの呼出音を鳴らす回数です。設定により呼び出し回数を変更することができます。変更すると、相手に流す「プルルル・・・」音の回数も変わります。

*3「072 音声応答」（☛243 ページ「システム登録」）

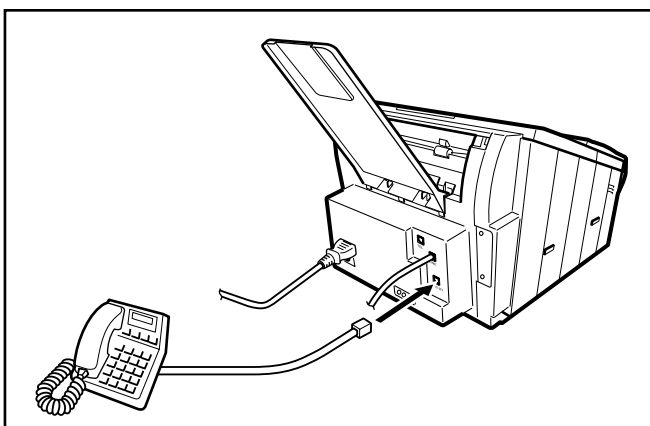
設定により、相手に音声応答を流さないで、呼出音だけを流すことができます。

● 呼び出し音の音量は、▼ ▲ ボタンで音量を調節してください。ディスプレイ上に音量レベルが表示されます。

留守録接続モード

接続した留守番電話機が電話を受けたあと、相手がファクスの場合には自動的に受信します。市販の留守番電話機はほとんどの機種で対応可能ですが、まれにご利用できないものもあります。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

留守番電話機の接続

1

1. 留守番電話機を、図の通り本体後部の電話機ジャックに差し込む

留守録接続モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「留守録接続」に変更する。(☛241 ページ)

留守録接続モードの操作

ファクスの場合

1 留守番電話機が最初に応答し､留守番電話機に録音した応答メッセージを相手側に流します｡留守番電話機の応答中は、ファクスが音声通話か、ファクスかを監視します。

2 自動的に受信を開始します。

電話機の場合

1 留守番電話機が最初に応答し､次に留守番電話機に録音した応答メッセージを相手側に流します｡留守番電話機の応答中は､ファクスが音声通話か､ファクス着信かを監視します。

2 留守番電話機は､応答メッセージ後､続けて相手側のメッセージを録音します。

基本編

応答メッセージの例

はい。松下です。お電話に出られません。ピーという発信音の後にメッセージをお願いします。また、ファクスの方は、トーン発信に切り替え、アスタリスクボタン（✱）を 2 回押して、ファクス送信に切り替えてください。お電話ありがとうございました。

無音検出モード

ファクス信号「ポー…、ポー…、ポー…」を送信しないファクスから受信するとき、本機をファクスモードに切り替えることができます。留守番電話機が無言の着信メッセージを記録するのを防ぎます。

この機能の使用方法

1. システム登録の「020 無音検知」を「アリ」に変更します。(☛242 ページ)
2. 留守番電話に記録した応答メッセージの長さをシステム登録の「019 応答メッセージ時間」で応答するメッセージの時間に合わせて変更します。(☛242 ページ)
   [「019 応答メッセージ時間」の長さは実際の長さより 5 ～ 6 秒長く設定することを推奨します。]

縮小受信

本機は、市販の定型サイズの A4、レター、リーガルサイズの用紙を使用することができます。相手側から定型外の原稿を送られた場合は、1 ページにプリントできないことがあります。このような場合には次のページに分割されてプリントされます。

本機は縮小受信機能があり、1 ページにプリントすることができます。以下の選択肢からもっとも適切な設定を選択します。

1. **自動縮小**
   受信した各ページは、まずメモリーに蓄積されます。原稿の長さを基に、本機が自動的に適切な縮小率を計算し (70 ～ 100%) 原稿全体を一枚のページにプリントします。受信した原稿が極端に長い (記録用紙より 39%以上) 場合、原稿は別々のページ 2 枚に分かれ、縮小せずにプリントされます。

2. **固定縮小**
   縮小率をあらかじめ 70 ～ 100 % の範囲で 1%単位で設定できます。受信する原稿は、サイズに関係なく、設定された縮小率で縮小されます。

縮小受信モードの選択

システム登録を下記のとおりに設定します。(☛242 ページ)

1. 自動縮小率を設定します。
   1) No. 24 縮小受信を“ジドウ”に設定します。

2. 固定縮小モードを設定します。
   1) No. 24 縮小受信を“コテイ”に設定します。
   2) No. 25 固定縮小率を 70%～ 100%の間で設定します。(☛ お知らせ 1)

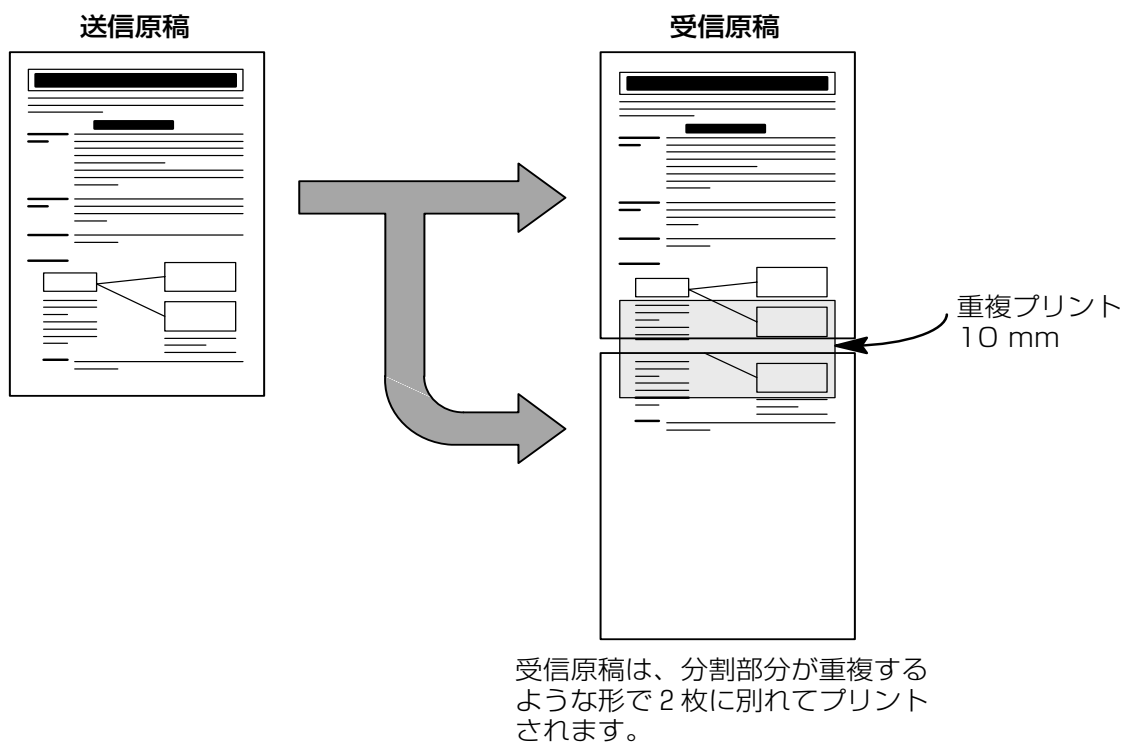
   例： A4 → A4 - 96%
   A4 → レター - 90%
   レター→レター - 96%
   リーガル→レター - 75%

お知らせ

1. 送信側が発信元印字を画面外設定してある場合は、縮小率を調整してください。

規定サイズ以外の原稿を受信したとき

受信原稿が極端に長い (記録用紙より 39%以上) 場合、原稿は別々の用紙に分かれます。別々のページにプリントするとき、1 枚目の下から 10 mm までの部分と、2 枚目の最初の部分が重なるようにプリントします。

受信原稿は、分割部分が重複するような形で 2 枚に別れてプリントされます。

お知らせ

1. 縮小方法を自動縮小モードに設定している場合、原稿は別々のページにプリントされた場合は縮小せずにプリントアウトされます。縮小方法を固定縮小モードに設定している場合、原稿はシステム登録の No.25 で設定した縮小率でプリントアウトされます。(☛242 ページ)

メモリー代行受信

受信中に用紙が無くなったり、つまったりした場合、またはトナーが無くなったりした場合は、本機は自動的に原稿をメモリーに蓄積しはじめます。蓄積された原稿は、用紙を補給するか、プロセスカートリッジを取り替えれば、自動的にプリントされます。(☛ お知らせ 1 および 2)

1 メモリー受信を終了し、用紙またはトナーが不足している場合、エラーコードがディスプレイに表示する

```
ﾖｳｼ ｦ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
      ｺｰﾄﾞ =0010
```

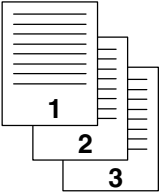
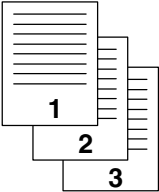
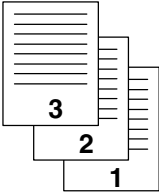
```
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ
      ｺｰﾄﾞ =0045
```

2 用紙を補充する (☛262 ページ) か、プロセスカートリッジを取り替える (☛260 ページ)

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

自動的にメモリーに蓄積された原稿のプリントを開始します。

お知らせ

1. メモリーがいっぱいになると、受信を中止し、通信が終了します。そのときまでメモリーに蓄積された原稿はプリントされます。
2. メモリー代行受信を行いたくない場合は、システム登録の「022 代行受信」を「ナシ」にします。(☛242ページ)

正順プリント

本機は正順プリント機能が搭載されており、受信した原稿を正順にプリントできます。正順プリント機能が設定されているときは、受信した原稿はすべて最初メモリーに蓄積され、次に送信された最後のページからプリントアウトされます。

正順プリントをするには、システム登録の「065 正順プリント」を「アリ」に設定すること（☛243 ページ）、およびメモリーの空きが十分であることが必要です。

上記の条件が満たされない場合は、非正順プリントでプリントします。

送信原稿順序	受信原稿のプリント順序	
	正順で重ねる (正順プリントモード)	逆順で重ねる (非正順モード)
1 2 3	1 2 3	3 2 1

コピーをする

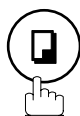
コピー機能を利用して、1 枚または複数枚の原稿を 1 部または複数部コピーを取ることができます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ        00%
```

2

コピー/セット

```
ｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ =1
```

3

コピー部数を入力する (最大 99 部)

例：「10」を入力します。

```
ｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ =10
```

4

原稿をメモリーに蓄積し、コピーを開始します。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.005
        ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ｺﾋﾟｰ ｼﾃｲﾏｽ *
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ =01/10
```

お知らせ

1. 原稿の長さによって自動的に縮小コピーをします。手動で縮小率を変更するときは、システム登録の「032 縮小コピー」を「シュドウ」に変更します。(☛242 ページ)

   コピー縮小を手動に設定している場合、▼と▲を押して、縮小率を 100% から 70% の範囲で 1% 刻みで設定できます。

2. 文字サイズを細密でコピーする場合、縮小率を 100%で設定していても 1 ページにプリントするために少し縮小されます。

3. 手順 2 で [コピー] を押したとき、文字サイズが「フツウ」に設定されている場合でも自動的に「チイサイ」に設定されます。(「フツウ」は設定できません。)

4. 複数部コピーのときは、原稿の読み取り中にメモリーがいっぱいになるとコピーできません。読取り前の原稿を排紙し、「メモリーオーバー」の表示をし、蓄積した原稿は消去されます。この場合には、2 回以上に分けてコピーしてください。

5. 次の様なコピーを所有するだけでも、法律により罰せられますのでお気を付けください。

   ·紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券類、地方債証券類
   ·外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
   ·未使用郵便切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規制の証券類
   ·著作権の目的となっている書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

応用編

タイマー通信

概要

24 時間以内であれば 1 宛先または複数宛先に対して時刻を指定して原稿を送信することができます。タイマー送信とタイマーポーリング通信を合わせて 70 タイマーまで指定できます。

タイマー送信

1

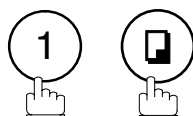
送る面を裏向きにセットする

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ　　00%

2

ﾀｲﾏｰ ﾂｳｼﾝ　　　(1–2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

3

コピー/セット

ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ　　▮：

4

テンキーボタンを使って送信時刻を入力し セット を押す
(時刻を 24 時間制の 4 桁で入力してください。)

例： 午後 11 時 30 分の場合、「2330」を押して セット を押します。

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

5

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  (宛先選択後 セット を押します)
- 直接ダイヤル
  (宛先入力後 セット を押します)

例：

を押します。

<01>(宛先名)
5551234

6

* 原稿読み取りが開始されます。
* 原稿をメモリーに蓄積し、タイマー送信がセットされます。

```
＊ チクセキ シテイマス＊   NO.002
          マイスウ =001   05%
```

```
＊ チクセキ カンリョウ＊
 ゲンコウ マイスウ=005   25%
```

応用編

お知らせ

1. 「手順 4」で誤った時刻を入力した場合、**クリアー** を押した後、入力し直してください。
2. タイマー送信の設定を変更あるいは解除する手順は、119 と 121 ページを参照ください。
3. システム登録の「005 メモリー優先」の設定を「オフ」にして、原稿をメモリー保存せずにタイマー送信の予約を行った場合、**スタート** を押した後、以下のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
タイマー ソウシン セットズミ
<01>( 宛先名 )
```

タイマーポーリング受信

あらかじめ指定した時刻に自動的にポーリング受信します。ポーリング通信に関しては 91 ページを参照ください。

1

ﾀｲﾏｰ ﾂｳｼﾝ　　(1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ　　▮ :

3

テンキーボタンを使ってポーリング受信する時刻を入力し、［セット］を押す
（時刻を 24 時間制の 4 桁で入力してください。）

例： 午前 3 時 30 分の場合、⓪③③⓪を押して［セット］を押します。

ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =▮▮▮▮

4

4 桁のパスワードを入力し、［セット］を押す

例：「9876」を入力して［セット］を押します。

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

5

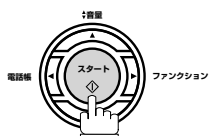
以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （宛先選択後［セット］を押します）
- 直接ダイヤル
  （宛先入力後［セット］を押します）

例：

を押します。

<01>(宛先名)
5551234

6

* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *　NO.001

- タイマーポーリング受信がセットされます。

お知らせ

1.「手順 3」で誤った時刻を入力した場合、［クリアー］を押した後、入力し直してください。
2. タイマーポーリング受信の設定を変更あるいは解除する手順は、119 と 121 ページを参照ください。
3. タイマーポーリング受信は、電話回線を使って利用できます。

ポーリング通信

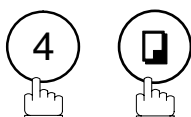
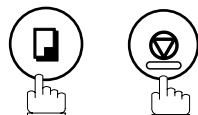
概要

ポーリングパスワードが一致すると、ポーリング送信側にセットしている原稿をポーリング受信側の操作で送信させることができます。このとき、通信費はポーリング受信側の負担となります。

- ポーリング通信は機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

ポーリングパスワードをセットする

パスワードが相手先と一致しなかった場合、ポーリング通信できません。

次の手順にしたがって、ポーリングパスワードを設定してください。

お知らせ

1. ポーリング通信が利用できない機種もありますのでご注意ください。重要な文書をポーリングする際は、事前にポーリング通信機能が実行できるかどうかテストすることをお勧めします。
2. 相手先パスワードが設定されていない場合、受信元にパスワードが設定されてあってもポーリング通信機能が実行できることがあります。
3. ポーリング受信は、電話回線を使って利用できます。

応用編

ポーリング送信

相手先に原稿をポーリングさせる場合には、あらかじめ原稿をメモリー蓄積させておく必要があります。原稿をメモリー蓄積させる前にポーリングパスワードが設定されていることを確認してください。ポーリング通信後、メモリーに蓄積されていた原稿は自動的に消去されます。原稿を繰り返しポーリングするためにメモリーに保存させる場合は、システム登録の「027 ポーリングファイル保存」を「アリ」に変更します。

お知らせ

1. ポーリング送信が設定されている場合でも、原稿の送受信はできます。
2. ポーリング送信をセットできるのは 1 通信に限られます。ファイルに原稿を追加したい場合は、123ページを参照してください。
3. システム登録の「026 ポーリングパスワード」を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。
4. ポーリング送信を解除する手順は、121 ページを参照ください。

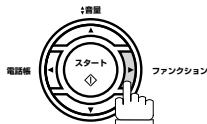
ポーリング受信

一つあるいは複数の相手先から原稿をポーリング受信するためには次の手順で操作してください。ポーリング通信を実行する前にパスワードの設定をご確認ください。(☛91 ページ)

1

3

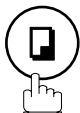
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ　　　　　NO.=▮
1:ｼﾞｭｼﾝ 2:ｿｳｼﾝ

2

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
　　ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=1234

3

4 桁のパスワードを入力する (☛ お知らせ 2)

例：「1111」を入力します。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
　　ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=1111

4

コピー/セット

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

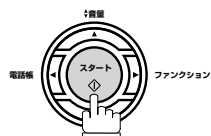
5

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  (宛先選択後 セット を押します)
- 直接ダイヤル
  (宛先入力後 セット を押します)

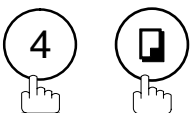
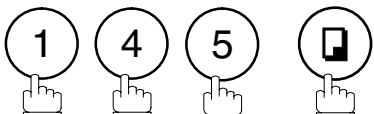
例：

<01>(宛先名)
5551234

6

```
* チクセキ シテイマス *   NO.001
```

受信が開始されます。

お知らせ

1. ▼ ▲ ボタンを利用すれば、「手順 5」で入力した宛先を確認することができます。また、表示された宛先や宛先グループを消去したい場合は必要に応じて **クリアー** を押してください。
2. システム登録の「026 ポーリングパスワード」を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。

FROM 選択機能

概要

システム登録「145 From 欄選択」を「アリ」にすると、メール送信時に、発信元やメールの From 欄の内容を選ぶことができます。お買い上げ時の設定は「ナシ」になっています。

24 個（No.01 ～No.24 ）のユーザー名とアドレスを登録できます。

FROM 選択機能の設定

1

ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ　　　(1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

コピー/セット

ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ　　(1-181)
NO.=▮

3

145 From ﾗﾝ ｾﾝﾀｸ
1: ﾅｼ

4

145 From ﾗﾝ ｾﾝﾀｸ
2: ｱﾘ

5

コピー/セット

From ﾗﾝ ｾﾝﾀｸ
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

6 送信元の選択ナンバーを入力する

例：「12」を入力する（01 から 24 まで入力可能）。

ﾕｰｻﾞｰﾒｲ ﾆｭｳﾘｮｸ　＜ｶﾅ
12 ▮

7 文字ボタンを使ってユーザー名を入力し セット を押す
(最大 25 文字 / 桁)(☛237 ページ)

ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
12 ▮

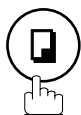
例：「パナソニック」と入力し、 セット を押します。

応用編

8 メールのヘッダー部の“From”に印刷されるメールアドレスを入力する(最大60文字)。

例： abc@panasonic.com

```
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
12 bc@panasonic.com■
```

9 **コピー/セット**

```
ﾕｰｻﾞｰﾒｲ ﾆｭｳﾘｮｸ    <ｶﾅ
13
```

続いてユーザー名を登録する場合は、手順6から9までの操作を繰り返し行なってください。

待機状態に戻るには ストップ を押してください。

送信元を選択して原稿を送信する

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

メールアドレスを入力する

3

```
From ﾗﾝ ｾﾝﾀｸ (00-24)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

4

使用したい番号を入力または▼ ▲ボタンを使って選択する (☛ お知らせ 1)

例：「12」を入力します。

```
12 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
abc@panasonic.com
```

5

原稿は、選択した番号に登録されているユーザー名をメールのヘッダー部の“From”に記載の上、送信されます。

お知らせ

1. 手順 4 で、ユーザー名を登録した番号を選択しない場合は、自局登録のインターネットパラメーターに登録しているユーザー名（00）が選択されます。

FROM 選択リストを印刷する

システム登録リストに続いて FROM 欄選択リストを印刷することができます。

FROM 欄選択リストを印刷する際は、システム登録の「145 From 欄選択」を「アリ」にしてください(☛244 ページ)。

FROM 欄選択リストのサンプル (ファクス・パラメーターの後に印刷されます)

******************** − システム トウロク リスト − ** 2005-03-15 ***** 15:00 ***P.03

*** From ラン センタク リスト ***

(1) NO.	(2) ユーザ゙ー メイ	(3) メール アドレス
01	Panafax Sales	sales@panasonic.com
02	Panafax Servic	service@panasonic.com
03	Panafax Accountin	account@panasonic.com
⁓	⁓	⁓
24	Panafax Engineering	engneering@panasonic.com

− PANASONIC −

*** − パナソニック − ****** − 201 555 1212− *********

コンテンツに関する説明

(1)	送信元選択ナンバー	: 01-24
(2)	ユーザー名	: 最大 25 文字
(3)	メールアドレス	: 最大 60 文字

件名の入力

概要

自局登録のインターネットパラメーター設定の「デフォルトサブジェクト」に登録されている件名を、送信する全てのメールの件名に付与して送信することができます。

メールを送信するときに各メールの件名を設定したい場合は、システム登録の「159 サブジェクト登録」を「アリ」にしてください。

件名を入力して送信する

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ     00%
```

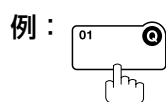
2

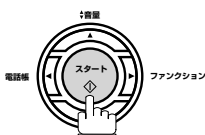
以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  (宛先選択後 セット を押します)
- 直接メールアドレス入力

  (宛先入力後 セット を押します)

例：

```
<01>( 宛先名 )
abc@panasonic.com
```

3

```
ｻﾌﾞｼﾞｪｸﾄ ﾆｭｳﾘｮｸ
ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4

文字ボタンを使って件名を入力する(最大40字／桁)
(☛237ページ)

自局登録のインターネットパラメーターに登録されている件名(サブジェクト)を使用する場合は、スタート を押すだけで付与されます。

例：パナソニック

```
ｻﾌﾞｼﾞｪｸﾄ        <ｶﾅ
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ▮
```

応用編

5

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信が開始されます。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.001
        ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:( 宛先名 )
```

お知らせ

1. 自局登録のインターネットパラメーターに件名があらかじめ登録されていない場合は、件名として“IMAGE from Internet FAX”がメッセージ表示されます。

受信ルーティング

ルーティング・パラメーターの設定

G3 ファクスから受信した原稿を、LAN に接続されたパソコンやインターネットにメール送信することができます。また電話回線に接続された別の G3 ファクスに送信することもできます。

この機能を利用する場合、システム登録の No.152(SUB ルーティング)、No.153(数字 ID ルーティング)、No. 175（発番号ルーティング）と (または）No. 176（ダイヤルインルーティング）の設定を「アリ」にする必要があります。(☛244、245 ページ)

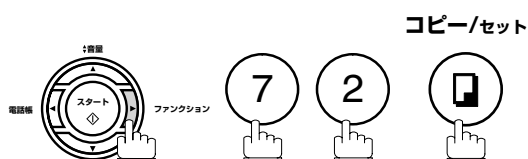
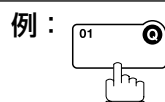
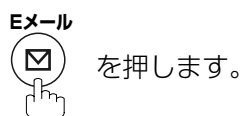
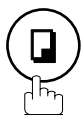
No.152(SUB ルーティング)	： F コード通信（サブアドレス通信）を利用できる G3 ファクスから F コードのサブアドレスを使用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。 送信側 G3 ファクスから F コードのサブアドレスで本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。
No.153(数字 ID ルーティング)	： F コード通信を利用できないG3ファクスから、ルーティングさせる場合に「アリ」に設定します。 送信側ファクスから送られてくる数字 ID で本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。
No.154(ルーティング時 From 欄)	： ルーティングされる各ファクスのメールヘッダーの「From」欄に表示する設定を 選択します。 指示局 ： 発信者の数字IDをルーティングするメールの「From」欄に表示します。 中継局 ： ルーティングする中継局のメールアドレスを、ルーティングするメールの「From」欄に表示します。
No.155(ルーティング時プリント)	： 受信した原稿をすべて本機で印刷するか、ルーティング操作が機能しなかった場合のみ印刷するかどうかを選択する場合は、このパラメーターで設定してください。
No.175（発番号ルーティング）	： 発信者番号通知（ナンバーディスプレイ）を利用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られる発信者番号で、本機に登録されている発信者番号の宛先にルーティングすることができます。
No.176（ダイヤルイン ルーティング）	： モデムダイヤルインを利用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られるダイヤルイン番号で、本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。

お知らせ

1. 発信者番号通知（ナンバーディスプレイ）・ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT、NTT コミュニケーションズとの契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT、NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

受信ルーティング

ルーティングの登録

ルーティング通信で転送する相手先の宛先、F コードサブアドレス、数字 ID、発信者番号およびダイヤルイン番号を電子電話帳に登録します。ファクス通信時の送信側から送られてきた番号が一致した場合に、一致した電子電話帳の宛先に転送します。あらかじめシステム登録の「152 SUB ルーティング」、「153 数字 ID ルーティング」、「175 発番号ルーティング」、「176 ダイヤルインルーティング」を「アリ」に設定しておいてください。(☛244、245 ページ)

6 文字ボタンを使って宛先名を入力する (最大 15 字)

例 :「パナソニック」を入力します。

```
<01> ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ▮        <ｶﾅ
abc@panasonic.com
```

または

```
<01> ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ▮        <ｶﾅ
55512342762
```

7 **コピー/セット**

```
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ :SUB ｱﾄﾞﾚｽ
                  ▮
```

8 サブアドレス（最大 20 桁）を入力し、セット を押す

```
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ :ｽｳｼﾞ ID
                  ▮
```

9 数字 ID（TSI）（最大 20 桁）を入力し、セット を押す

```
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ :ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ
                  ▮
```

10 発番号（最大 20 桁）を入力し、セット 押す

```
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ :ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
∨ ∧ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

11 ダイヤルイン番号を選択し、セット を押す

続いてルーティングの登録ができます。手順 3 からを繰り返してください。

- あらかじめシステム登録の「176 ダイヤルインルーティング」を「アリ」に設定し、ダイヤルイン番号を登録する必要があります。(☛245 ページ)
- 待機状態に戻るには ストップ を押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁ <  >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

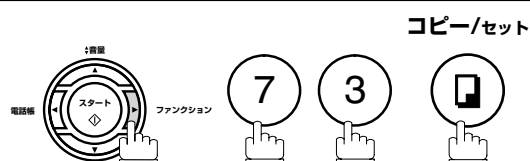
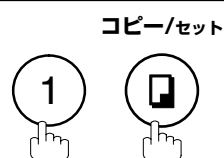
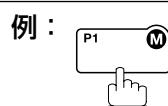
お知らせ

1. ルーティング数字 ID 欄の“+”と“スペース”の入力は受信機により無視されます。

プログラム機能

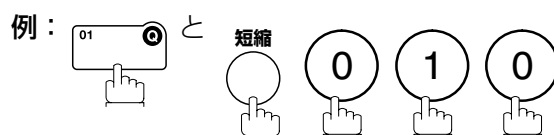
概要

プログラムボタンに宛先とポーリング受信などの各種通信操作を登録しておくと、複雑な機能もボタンを１回押すだけで指定できます。また、プログラムボタンに複数の短縮ダイヤルやワンタッチボタンを登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。

グループダイヤルの設定

4 文字ボタンを使って宛先の名前を入力し［セット］を押す（最大 15文字）(☛237 ページ)

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し［セット］を押します。

5 ワンタッチボタンまたは［短縮］と ３ 桁の短縮番号を使って宛先番号を入力する

例：

<01>（宛先名）
5551234

[010]（宛先名）
5553456

次の手順に進む前に、入力済みの宛先を確認するには、▼ ▲ ボタンを利用します。誤字などの誤りがあった場合には、［クリアー］を押して表示された宛先を消去します。

6

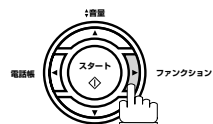
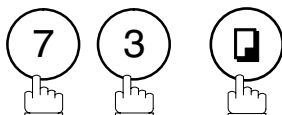
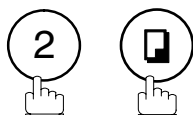
```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

タイマー送信の登録

プログラム機能を使ってタイマー送信をセットします。

1

コピー/セット

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

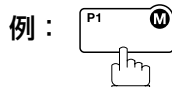
コピー/セット

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P  ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

3

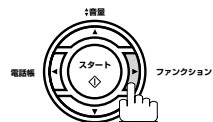
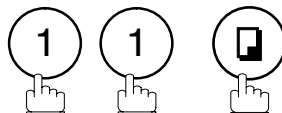
例：

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

文字ボタンを使って宛先の名前を入力し［セット］を押す
（最大 15 文字）(☛237 ページ)

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、［セット］を押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

5

コピー/セット

```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ       ▮:
```

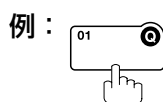
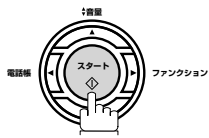
6

24 時間制で 4 桁の送信時刻を入力し［セット］を押す

例：午後 11 時 30 分の場合、②③③⓪を押して
［セット］を押します。

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

7

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル

例：

```
<01>（宛先名）
5551234
```

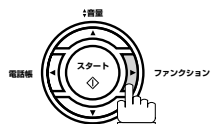
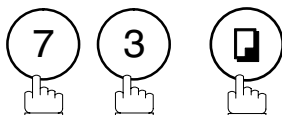
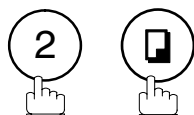
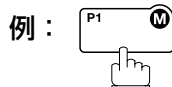
8


```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

タイマーポーリング受信の登録

プログラム機能を使ってタイマーポーリング受信をセットします。

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　　　　(1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ

3

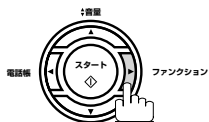
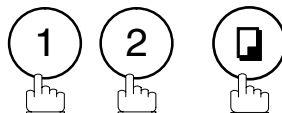
例：

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]　ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ

4 文字ボタンを使って宛先の名前を入力し［セット］を押す
(最大 15 文字)(☛237 ページ)

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、［セット］を押します。

5

ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ　　▮ :

6 24 時間制で 4 桁の受信時刻を入力し［セット］を押す

ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ = ▮▮▮▮

例： 午後 10 時 00 分の場合、②②⓪⓪を押して［セット］を押します。

7 4 桁のパスワードを入力し［セット］を押す

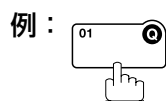
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

登録済みのパスワードがある場合は表示されます。一時的に変更する場合は上書きします。

例：「1111」を入力して［セット］を押します。

8 以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル

例：


```
<01>( 宛先名 )
5551234
```

9

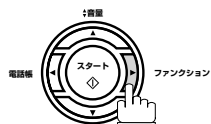
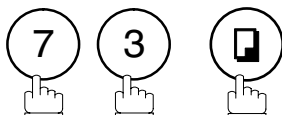
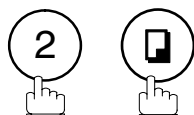
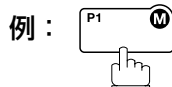

```
プ゚ログ゙ラム[P ]
プ゚ログ゙ラムボ゙タン ヲ オス
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

ポーリング受信の登録

プログラム機能を使ってポーリング受信をセットします。

1

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

3

例：

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]  ﾅﾏｴ < ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

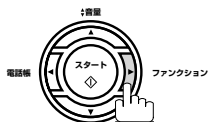
4

文字ボタンを使って宛先の名前を入力し［セット］を押す
（最大 15文字）
(☛237 ページ)

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、［セット］を押します。

5

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
   ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =████
```

6

4 桁のパスワードを入力し［セット］を押す

登録済みのパスワードがある場合は表示されます。一時的に変更する場合は上書きします。

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

例：「1111」を入力して［セット］を押します。

7

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル

例：

```
<01>( 宛先名 )
5551234
```

8

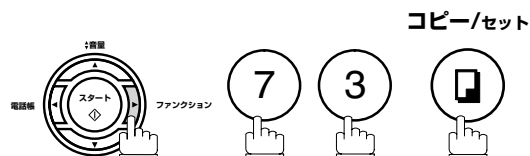
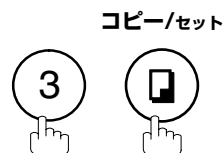
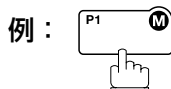
電話帳 ファンクション 音量 スタート

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

ワンタッチボタンの登録

プログラム機能を使ってワンタッチボタン（01-28）を押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

3

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

文字ボタンを使って宛先の名前を入力し［セット］を押す
（最大 15文字）（☛237 ページ）

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、［セット］を押します。

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

5a

テンキーボタンを使って相手先の電話番号を入力する
（最大 36 桁 /［ポーズ］［スペース］キーを含む）

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A
9-555 1234▮
```

例： を押して「9-555 1234」を入力します。

5b

文字ボタンを使って宛先のメールアドレスを入力する
（最大 60 文字）

例： abc@panasonic.com を入力します。

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A
abc@panasonic.com▮
```

6

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 から
の操作を繰り返します。
待機状態に戻るには［ストップ］を押します。

POP アクセスボタンの登録

[P1] から [P4] のプログラムボタンへ POP ユーザー名、POP パスワードを登録することで、複数のユーザーと本機を共有することができます。それぞれのユーザー名で POP サーバーからメールを受信できます。メールの受信は登録したプログラムボタンを押すだけで取出せます。（☛ お知らせ 1）

1

7 3 コピー/セット

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ            (1–5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

3

例：

```
POP ﾕｰｻﾞｰﾒｲ
▮
```

4

文字ボタンを使って POP ユーザー名を入力し、[セット]を押す (最大 40 字まで)

例：「kate」を入力して [セット] を押します。

```
POP ﾕｰｻﾞｰﾒｲ
kate▮
```

```
POP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
▮
```

5

文字キーを使って POP パスワードを入力し、[セット].を押す (最大 10 字まで)。

例：「pana123」を入力して [セット] を押します。

```
POP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
pana123▮
```

```
ﾒｰﾙ ｻｸｼﾞｮ         NO.=1
1:ｲｲｴ 2:ﾊｲ
```

6

メール取出し後、POP サーバーにメールを残す場合は①を、消去する場合は②を押す

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには[ストップ]を押します。

お知らせ

1. 第 3 者による POP サーバーからのメール取り出しを防止する場合、プログラムボタンに登録をする際にパスワードを入力しないでください。パスワードがブランクになっていると、メールを取り出すためにプログラムボタンを押すたびにパスワードの入力が必要となります。
2. デュアルサーバーの設定をしてある場合は、手順 6 で POP サーバーの指定ができます。
3. メモリー転送（☛135 ページ）が設定されているときは手動 POP 受信はできません。

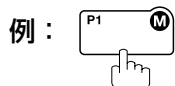
応用編

POP アクセスボタンによる POP 受信

以下の手順で POP サーバーからメールを取り出します。

1 POP アクセスボタンとしてプログラム済みのプログラムボタンを押す

例： P1 M

```
POP ｼﾞｭｼﾝ ﾕｰｻﾞｰﾒｲ
kate
```

POP ユーザー名がプログラムボタンに入力されていない場合は、POP ユーザー名 (最大 40 字まで) を入れてください。

2

- パスワードが登録されている時は手順３ へ進みます。
- パスワードが登録されていない時は POP パスワードを入力します。

文字ボタンやテンキーボタンから英数字を入力してください。最大 10 文字まで入力できます。

3 サーバーに受信メールがない場合は次のメッセージを表示する

```
ｼﾞｭｼﾝﾒｰﾙﾊ ｱﾘﾏｾﾝ
```

4 サーバーに受信メールがある場合は件数を表示した後メールを受信し、プリントする

```
1 ｹﾝ ﾒｰﾙｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ
```

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:abc@panasonic.com
```

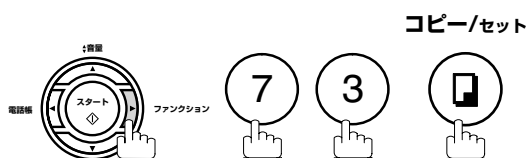
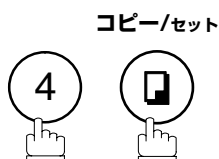
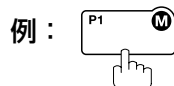
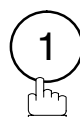
お知らせ

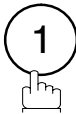
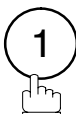
1. デュアルサーバーを設定されていて、かつ DNS サーバーを設定されていない場合は、サーバー２から POP 受信したときでも、MDN（送達通知要求）やリモート登録の返信メールはサーバー１ 経由で行われます。また、同設定の場合は、システム登録の No. 148、149（POP 後またはエラーメール削除）を「ナシ」に設定することをお勧めします。メールを残す設定にしていますと、サーバー２の POP 受信を何度も繰り返すことになります。

プログラムボタンの変更および消去

プログラムボタンの設定を変更する際は、104 ページから 114 ページの設定手順にしたがい、変更内容を登録し直してください。

- タイマー送信における送信時刻または宛先
- ポーリング受信における宛先
- タイマーポーリング受信における受信時刻または宛先
- グループダイヤルにおける宛先
- ワンタッチボタンにおける電話番号と宛先

プログラムボタンの設定内容を消去するとき

5 続けてプログラムボタンの消去ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ

通信予約の確認と消去

概要

タイマー送信などの通信予約を確認・消去できます。

通信予約レポートをプリントする

通信予約の内容をリストにしてプリントすることができます。

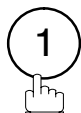
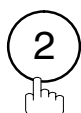
```
*************** －ﾖﾔｸ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ－ ************************************* 2005-03-15 ***** ****** 15:00 *********

(1)      (2)                 (3)               (4)         (5)             (6)
ﾌｧｲﾙ     ﾂｳｼﾝ ﾀｲﾌﾟ           ｻｸｾｲ ｼﾞｺｸ         ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ    ﾏｲｽｳ            ｱﾃｻｷ
 No.

001      ﾒﾓﾘｰﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ       03-15 12:30       20:30                       [001]
002      ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ        03-15 12:30       22:30       003             [011] [012] [013] [016] [017]


                                                                            -PANASONIC                 -

****************************************************** － ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ －       － ***** －      201 555 1212- *********
```

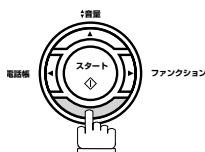
内容の説明

(1) ファイルナンバー	:	実行中のファイルには、ファイルナンバーの左に“*”が表示されます。
(2) 通信タイプ		
(3) 作成時刻	:	ファイルの作成時刻
(4) 予約時刻	:	ファイルがタイマー通信用の場合は、この欄に予約時刻が印刷されます。
(5) 枚数	:	蓄積枚数
(6) 宛先	:	短縮ダイヤル No.／ワンタッチ No.／直接ダイヤル No.

通信予約の確認と消去

通信予約の内容を見る

プリントせずにディスプレイ上で通信予約の内容を見ることができます。

5 確認したいファイルがディスプレイ表示されるまで

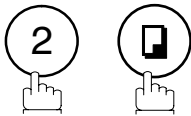
または　　　　を押す

6 ストップ

通信予約の変更

タイマー送信やタイマーポーリング受信で予約した宛先や時刻を変更できます。

1

ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

コピー/セット

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ﾌｧｲﾙ NO.=■■■

3 ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、変更したいファイルを選択する

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ﾌｧｲﾙ NO.=001

例：「001」を入力します。

4

コピー/セット

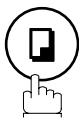
(☛120 ページお知らせ 2)

ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ 22:30

5 変更する予約時刻を 24 時間制で 4 桁で入力する

例： 午前 6 時の場合、「0600」を押す (時刻変更の必要がない場合は手順 6 へ進みます)。

ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ 06:00

6

コピー/セット

<01>(宛先名)
5551234

7 宛先を消去したい場合は、▼ ▲キーを使って消去したい宛先を表示し**クリアー**を押す

または宛先を追加します。

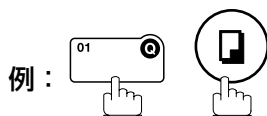
コピー/セット

例：

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

1 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ

応用編

8

```
＊チクセキ シテイマス＊  NO.005
```

通信予約内容が変更され、待機状態に戻ります。

お知らせ

1. 送信中または再ダイヤル待機中は、ファイル内の送信時刻と宛先は変更できません。
2. タイマー通信ファイルでない場合、ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。

```
タイマー ソウシン セット？
1：ハイ 2：イイエ
```

タイマー通信にファイルの形式を変更する場合は①を押してください。

3. 未通信ファイルとして保存したファイルを編集する場合、手順８で スタート を押した後に、ディスプレイに次のメッセージを表示します。

```
ソウシン エラー リトライ？
1：ハイ 2：イイエ
```

再送信を行なう場合は①を押してください。

通信予約の消去

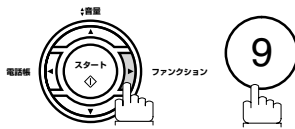
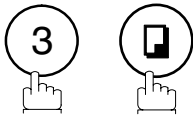
予約した通信を消去できます。

1

```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

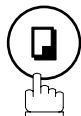
```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=███
```

3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、消去したいファイルを選択する

例：「001」を入力します。(☛ お知らせ 2)

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

4

コピー/セット

```
ﾌｧｲﾙ ｼｮｳｷｮ NO.=001 ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

5

```
＊ｼｮｳｷｮ ｻﾚﾏｼﾀ＊
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=███
```

続けて通信予約の消去ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには［ストップ］を押します。

お知らせ

1. 送信中のファイルを消去することはできません。
2. 全ファイルを消去する場合は、ファイルナンバーとして ✱ ✱ ✱ を入力し、［セット］を押してください (実行中のファイルがあるときはこの操作はできません)。以下のメッセージがディスプレイ表示されます。

```
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾌｧｲﾙ ｼｮｳｷｮ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

全ファイルを消去したい場合は①を押してください。

通信予約ファイルのプリント

ファイルナンバーを指定して通信予約ファイルをプリントできます。ファイルには通信を指定した原稿が付加されます。

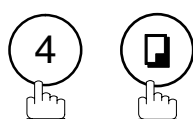
1

ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

コピー/セット

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ﾌｧｲﾙ NO.=■■■

3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ ボタンを使って、印刷したいファイルを選択する

例：「001」を入力します。

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ﾌｧｲﾙ NO.=001

4

* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾍﾟｰｼﾞ =001/003

ファイルの印刷が開始されます。ファイル印刷後でも原稿はメモリー内に保存されています。

お知らせ　1. 送信中のファイルを印刷することはできません。

ファイルに原稿を追加する

通信予約をしているファイル内に原稿を追加するには、以下の手順にしたがってください。

1

送る面を裏向きにセットする

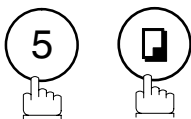
```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ     00%
```

2

```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ ボタンを使って、
追加したいファイルを選択します。

例：「001」を入力します。

4

```
＊ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ＊  NO.001
        ﾏｲｽｳ=004  10%
```

ファイル内へ読み取りを開始します。

お知らせ

1. 送信中あるいは再ダイヤル待機中のファイルに原稿を追加することはできません。

未達宛先再通信の指定

話し中や、相手先の応答がなかったために、未通信となった場合、蓄積された原稿は最後に再ダイヤルした後にメモリーから消去されます。

通信が実行できなかった場合でも原稿を保存する必要があるときは、システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更してください。（☛242 ページ）。

送信できなかったファイルを再通信する際は、ファイルナンバーを確認するため、まず通信予約レポートを印刷した後（☛116 ページ）、以下の手順にしたがってください。

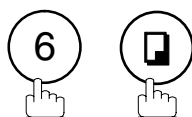
1

スタート　ファンクション　9

```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
  ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ ボタンを使って、再送信したいファイルを選択する

例：「001」を入力します

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
  ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

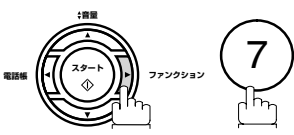
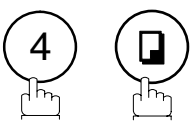
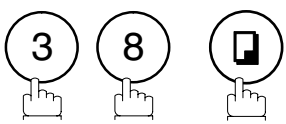
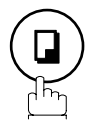
4

```
＊ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ＊  NO.001
<01>（宛先名）
```

```
＊ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ＊ NO.001
（宛先名）
```

ダイヤルし、ファイルの再送信を開始します。

お知らせ

1. ファイルに入力された電話番号を確認あるいは変更する際は、116 ページから 120 ページを参照してください。
2. システム登録の「031　未通信ファイル保存」を「アリ」に設定した場合、送信されなかった全ファイルはメモリーに保存されます。メモリーオーバーを避けるために、メモリーの内容をこまめにチェックしてください。

アクセスコード

概要

アクセスコードを登録することにより、第 3 者の操作を防止することができます。

機能設定や送信などを行なう際は、アクセスコード (4 桁) の入力が必要となりますが、自動受信などはできます。

アクセスコードの登録

1

2

3

4 4 桁のアクセスコードを入力する

例：「1234」を入力します。

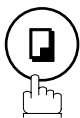
5

6 機能制限を選択する

全機能を選択する場合は、①を、システム登録の設定を制限する場合は②を押します。

例：「2」を選択します。

応用編

7

コピー/セット　ストップ

お知らせ

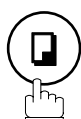
1. アクセスコードを消去する場合は、アクセスコードを入力して セット を押し、手順 3 までの操作を行った後、クリアー セット ストップ を押してください。

アクセスコードを使って操作する（全ての機能の使用制限を設定しているとき）

1 アクセスコードを入力する

例：「1234」を入力します。

```
2005-03-15 15:00
      ｺｰﾄﾞ =■
```

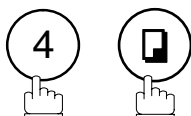
```
2005-03-15 15:00
      ｺｰﾄﾞ =****
```

2 コピー/セット

```
2005-03-15 15:00
             00%
```

通常通りの操作をすることが可能となります。

アクセスコードを使って操作する（システム登録の使用制限を設定しているとき）

1

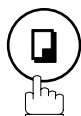
```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ      (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2 コピー/セット

```
ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
             ■■■■
```

3 4桁のアクセスコードを入力する

例：「1234」を入力します。

```
ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
             ****
```

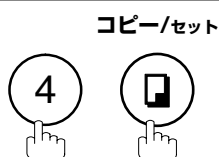
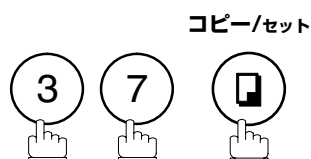
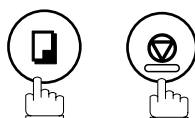
4 コピー/セット

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ    (1-181)
      NO.=■
```

通常通りの操作をすることが可能となります。

メモリー受信

概要

この機能は、受信したすべての原稿をメモリーに蓄積して保存するもので、メモリー受信した原稿を印刷するには正しいパスワードの入力が必要です。休日や夜間に受信した原稿を、あとでまとめてプリントすることができます。

メモリー受信のパスワードを設定する

お知らせ

1. パスワードを設定するときは、メモリー受信の設定（F8-5）を「オフ」にしておいてください。「オン」に設定してあると、手順 3 の画面が表示されません。(☛129 ページ)

メモリー受信の設定

1

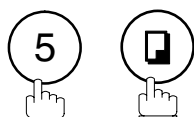
```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ          (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ = ｵﾌ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3

```
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ = ｵﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

4

```
2005-03-15 15:00
   < ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ >
```

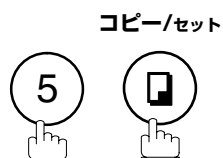
お知らせ

1. メモリーがいっぱいになると、受信を中止し、通信が終了します。それ以前にメモリーに蓄積された原稿は、プリントできます。メモリーがいっぱいの場合は受信できません。

メモリー受信内容を印刷する

メモリー受信をしたときは、次のメッセージがディスプレイに表示されます。

ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ ｻﾚﾃｲﾏｽ
<ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ>

メモリー受信した原稿をプリントします。

6

```
＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

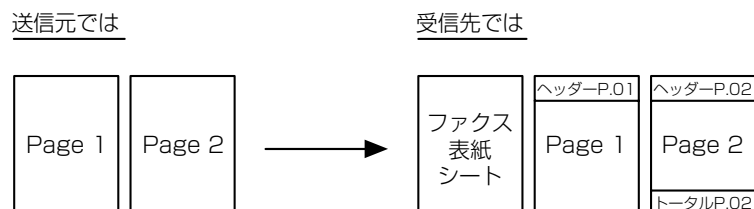
原稿が印刷されます。

お知らせ

1. パスワードが設定されていない場合は、パスワードを入力する必要はありません。
2. メモリー受信機能が設定されているときは、パスワードを変更することはできません。パスワードを変更したい場合は、まずメモリー受信の設定（F8-5）を「オフ」にしてから、システム登録の「037 メモリー受信」でパスワードを変更してください。

カバーシート

概要

宛先の名前、送信元の名前、ページ数が記載されたカバーシートが送信原稿に自動的に添付されます。

カバーシートを使用する

カバーシートを原稿に添付するには、以下の手順にしたがってください。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

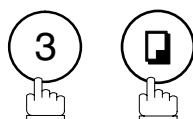
音量　電話帳　スタート　ファンクション　8

```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ           (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3

3　コピー/セット

```
ｶﾊﾞｰ ｼｰﾄ=ｵﾌ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

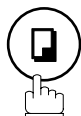
4

“オフ”の場合は 1 を押す
(この場合カバーシートは添付されません)、

“オン”の場合は 2 を押す
(この場合カバーシートは添付されます)

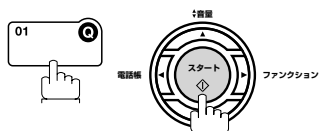
```
ｶﾊﾞｰ ｼｰﾄ=ｵﾌ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

または

```
ｶﾊﾞｰ ｼｰﾄ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

5 **コピー/セット**

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ   00%
```

6 原稿を送信したい宛先の番号をダイヤルする

例：

お知らせ

1. カバーシートのデフォルト設定を変更する場合はシステム登録の「056 カバーシート」の設定を変更してください(☛243 ページ)。
2. この機能はメモリー通信またはダイレクト通信モードのときに利用できます。
3. カバーシートは通信記録のページ数にはカウントされません。

カバーシート

カバーシートの例

< ﾌｧｸｼﾐﾘ ｶﾊﾞ - ｼｰﾄ >

(1)
2005-03-15 15:00

(2)
メッセージ To:

ハンバイ

(3)
メッセージ From:

PANASONIC
201 555 1212

(4)
02
ページ
ソウシン　シマシタ

内容の説明

(1) 送信開始時刻

(2) ワンタッチボタン／短縮ダイヤル登録名または電話番号

(3) 送信元のロゴ (最大 25 字) と ID ナンバー (最大 20 桁)

(4) 表紙以下のページ数。なお、この情報はダイレクト通信モードのときは表示されません。

メモリー転送

メモリー転送の設定

一般電話回線のファクスからの受信原稿と、LAN 経由で受信したメールが転送できます。

また宛先としては、メールアドレスか電話番号のどちらかを登録できます。

本機能は、夜間や休日に別の場所 (自宅等) でファクスを受信したい場合に便利です。

1

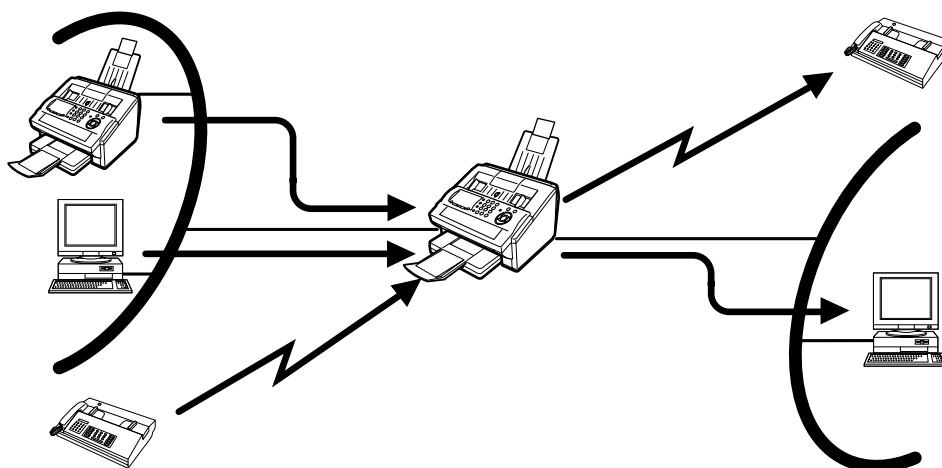
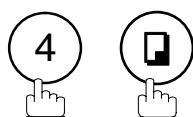
音量　電話帳　スタート　ファンクション　7

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ        (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

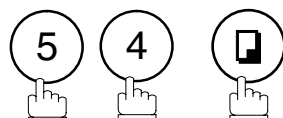
4　コピー/セット

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ     (1-181)
          NO.=▮
```

3

5　4　コピー/セット

```
54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
 1:ﾅｼ
```

4

2

```
54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
 2:ｱﾘ
```

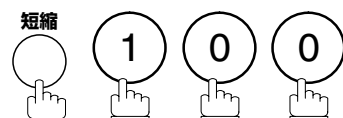
5

コピー/セット

```
54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

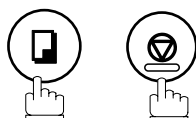
6 ワンタッチまたは短縮ダイヤルで転送先を入力する

例： 01 を押します。

短縮 1 0 0

```
<01>(宛先名)
5551234
```

または

```
[100](宛先名)
xyz@panasonic.com
```

7 コピー/セット ストップ

お知らせ

1. メモリー転送機能が設定されると、転送先として設定したワンタッチまたは短縮ダイヤルは変更できません。番号を変更したい場合は、手順４で「ナシ」に切り替えてください。
2. 受信した原稿のメモリー転送が話し中などで正常に終了しないとき、システム登録の「031 未通信ファイル保存」が「アリ」に設定されていても、受信原稿はプリントアウトされ、メモリから削除されます。
   メモリー転送が正常に行なわれないとき、受信原稿をメモリーに蓄積したい場合は、本機を「メモリー受信」に設定してください。(☛129 ページ)
3. メモリー使用量が約 95%以上のときは、受信できません。

送達確認

概要

メール受信したときは、送信元に受信確認メールを自動的に送信することができます。

送達確認の送信は、送信元の機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。

■送達確認返送の設定

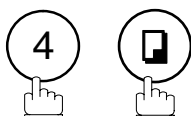
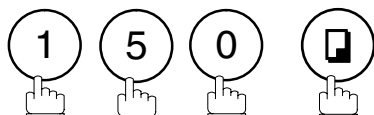
- システム登録の「150 送達確認返送」を設定します。
  「ナシ」 受信確認メールを送信しません。
  「アリ」 メールを受信しプリント後に受信確認メールを送信します。

1 ファンクション 7

```
トウロク モード゙         (1-4)
バ゙ンゴ゙ウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

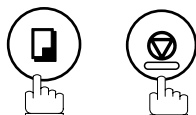
2 4 コピー/セット

```
システム トウロク     (1-181)
           NO.=▮
```

3 1 5 0 コピー/セット

```
150 ソウタツ カクニン ヘンソウ
 1: ナシ
```

4 2

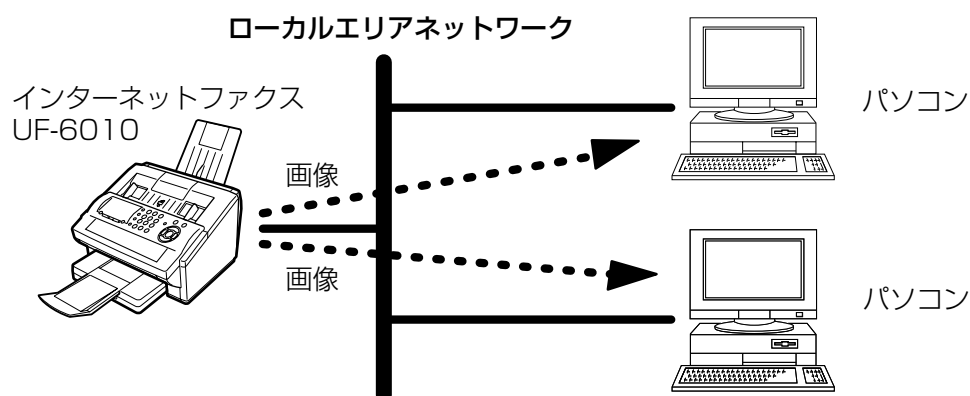
```
150 ソウタツ カクニン ヘンソウ
 2: アリ
```

5 コピー/セット ストップ

1. パソコンから送信したメールを受信したときは、送信元に受信確認メールを送信することはできません。

ネットワークスキャナー

概要

本機をスキャナーとしてご利用になれます。

インターネット通信を利用して、画像（原稿）を本機からパソコンのメールアドレスへ送信することにより、画像データをパソコン側で読み込むことができます。

1 送る面を裏向きにセットする

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ　00%

2 原稿に合わせて文字サイズを設定する

3 以下のダイヤル方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  (宛先選択後 セット を押します)
- 直接メールアドレス入力

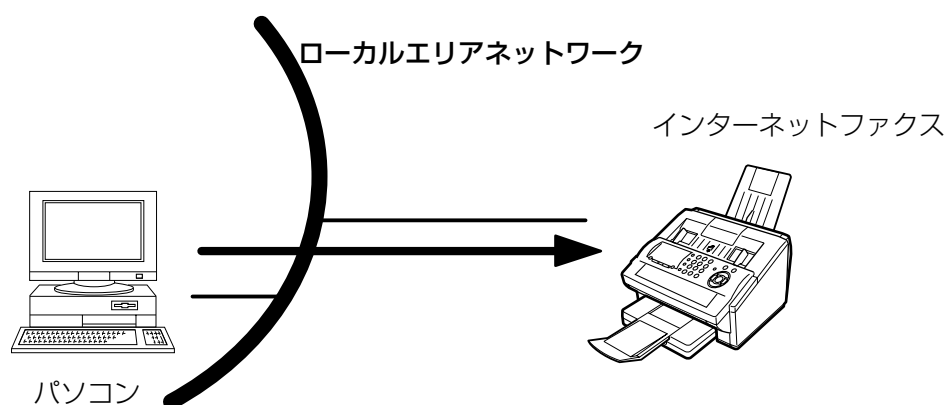
  (宛先入力後 セット を押します)

4

ネットワークプリンター

概要

本機をネットワークプリンターとしてご利用になれます。

パソコンの各種アプリケーションで作成した書類をパソコンからの操作により、LAN に接続した本機へプリントすることができます。ネットワークプリンター機能を利用するためには、付属の CD からソフトウェア（プリンタードライバーおよび LPR ）をダウンロードしてパソコンにインストールする、もしくはホームページからダウンロードする必要があります。（☛196 ページ）

お知らせ

1. プリンタードライバーのインストール方法や操作方法については、付属の CD の中の取扱説明書もしくはダウンロードしたホームページを参照してください。

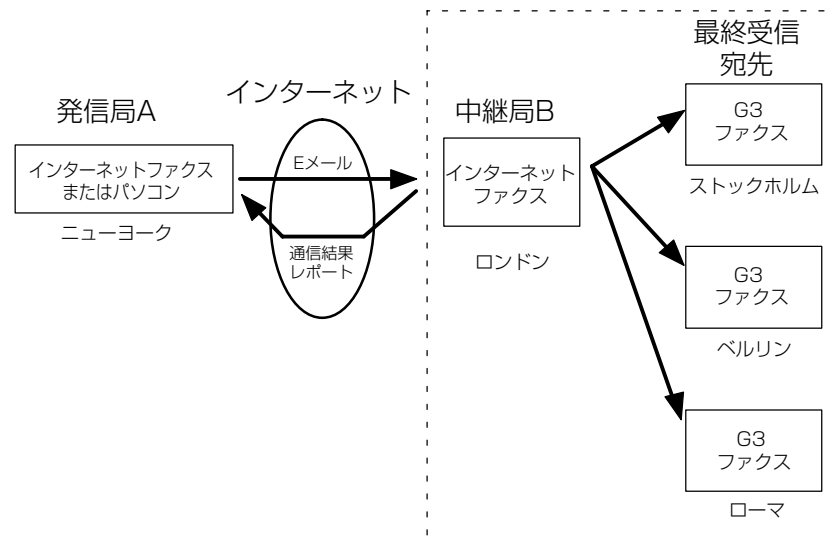
応用編

LAN 中継同報

概要

LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスとネットワークを組むことにより、LAN 経由で送信した電子メールを、一般回線に接続された複数の G3 ファクスへ同報送信することができます。

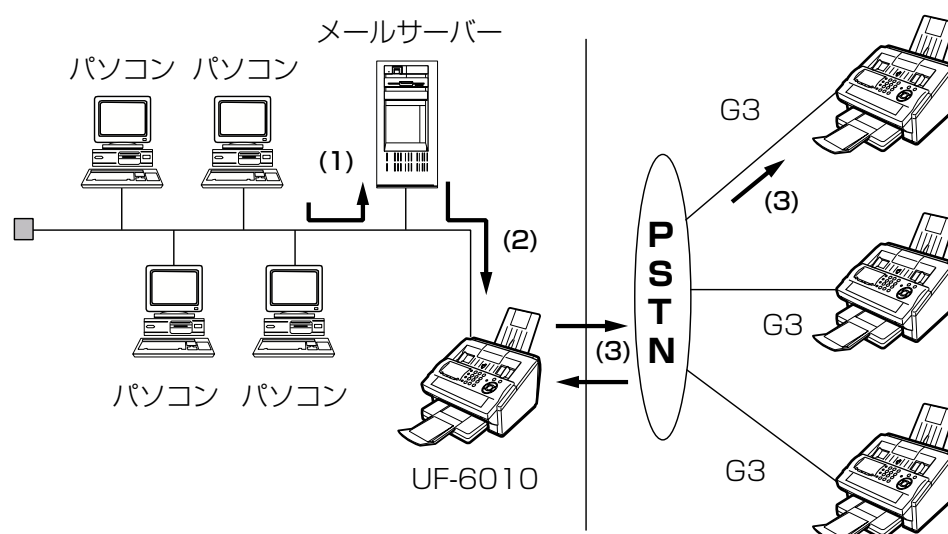
■ LAN 中継同報について

例 1: インターネット中継送信

以下に LAN 中継同報の流れを説明します。

1. LAN 中継機能を持ったインターネットファクス B （中継局）に、メール（TIFF 形式のファイルを添付することができます）で、LAN 中継同報を指示します。
   あらかじめ、LAN 中継指示を登録したワンタッチ／短縮ダイヤル（☛148 ページ）を使用すると、簡単に LAN 中継同報の指示ができます。（☛ 150 ページ）
2. 管理者用のパソコンに、LAN 中継同報指示されたことをメールで通知します。（ ☛158 ページ）
   デュアルサーバー機能ありの場合も、メールサーバー 1 固定で送信（通知）します。
3. LAN 中継指示されたメールを、一般回線に接続されたファクス（ストックホルム）へ順次同報を開始します。
4. 引き続き、次のファクス（ベルリン・ローマ）に転送します。
5. LAN 中継同報が終了したら、通信結果を LAN 中継同報を指示したインターネットファクス A （発信局）（またはパソコン）へ通信結果レポート（ ☛156 ページ）で返送します。

お知らせ

1. 本機には、LAN 経由の中継同報を指示する機能と、LAN 中継指示を受けて一般回線に接続されたファクスに送信する機能があります。LAN 中継同報の指示については 150 ページ、152 ページ、LAN 中継同報指示の為の登録については 148 ページを参照してください。また LAN 中継同報指示受付の為の登録については 146 ページを参照してください。
2. 一般回線に接続されたファクスから、本機に LAN 中継同報を指示することはできません。
3. LAN に接続されたインターネットファクスや PC を宛先として、LAN 経由で LAN 中継同報を指示することはできません。
4. 本機が LAN 中継指示を一度に受け付ける宛先数は、最大 20 カ所です。20 カ所を越える LAN 中継指示が受け付けられた場合は分割されて処理されます。その場合の中継結果レポートは分割された処理ごとに返送されます。
5. POP サーバーに接続してご利用されている場合には、LAN 中継指示を受け付けて一般回線に接続されたファクスに送信する機能はご利用になることはできません。

例 2: ファクスサーバー（イントラネット中継送信）

(1) メールによりメールサーバーまで LAN 中継同報送信を開始します。

(2) メールサーバーは LAN 中継指示で本機にメールを転送します。

(3) 本機は、G3 ファクスに通信を開始しファイルを送信します。

中継ネットワーク

本機から最終宛先まで直接インターネットファクスで送信する場合、本機能により、時間および長距離市外電話料金が節約できます。

中継ネットワークは原則として、インターネットファクス(発信局 A)またはパソコンである発信局と LAN 中継機能を持つインターネットファクス(中継局 B)、そして G3 ファクスである最終宛先から構成されます。

本機から原稿、またはパソコンからメールをインターネットを使って中継局(本機を含む)へ送信します。中継局からは通常の電話回線を使って G3 ファクスである最終宛先まで送信できます。(パソコンからの送信は TIFF-F 形式のファイルが添付可能です。)

中継局からは最終宛先への送信には電話料金が発生します。

中継局から最終宛先までの送信完了後に、LAN 中継送信が完了したかどうかを通知する通信ジャーナルが、中継局から発信局に返信されます。中継送信情報は、メールで中継局にあらかじめ登録されている自局登録のインターネットパラメーターの管理者メールアドレスに送信されます。(☛208 ページ)

LAN 中継送信を利用するには、146 ページから 158 ページまでに記載の設定手順にしたがい、必要情報を入力してください。図 1 に LAN 中継ネットワークのサンプルを記載します。

図 1 のサンプルは、**ニューヨーク(発信局)**を起点とし、**ロンドンおよびシンガポール(中継局)**が、ニューヨークと結ばれ、**(最終宛先)**は**ストックホルム**、**ローマ**、**東京**、**香港**そして**シドニー**などとなっています。

この基本的なネットワークは 2 箇所の中継局を利用し、ロンドンの中継局および/またはシンガポールの中継局を介してネットワーク内の宛先に、1 回の操作でファイルを送信できます。

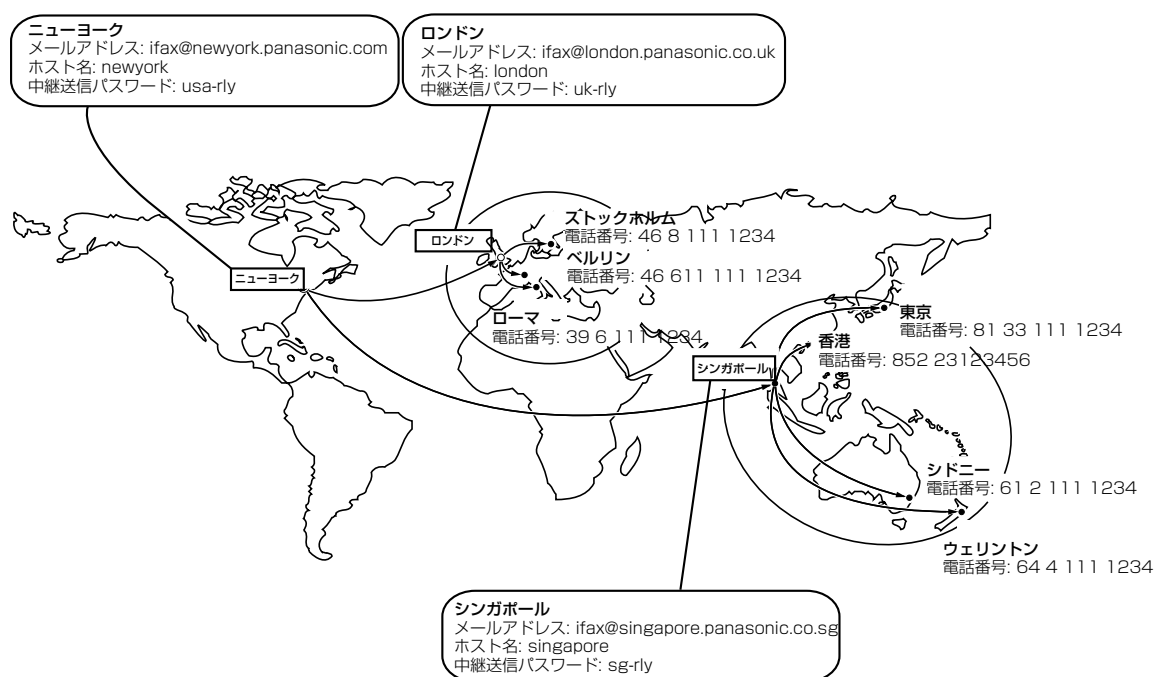



図 1:ネットワークのサンプル

表 1, 2 および 3 は、図 1 記載のサンプルネットワーク設定です。

表 1 : ニューヨークへのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表 (始発発信局)

電話番号 : 212 111 1234
メールアドレス (SMTP) : ifax@newyork.panasonic.com
ホスト名 : newyork
中継用 パスワード : usa-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	Ifax@london.panasonic.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	シンガポール	Ifax@singapore.panasonic.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[002]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---
[002]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---
[003]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[004]	香港	852 23123456	[002]
[005]	シドニー	61 2 111 1234	[002]

表 2 : ロンドンへのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表 (中継局)

電話番号 : 71 111 1234
メールアドレス (SMTP) : Ifax@london.panasonic.co.uk
ホスト名 : london
中継用 パスワード : uk-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[005]
<03>	シンガポール	Ifax@singapore.panasonic.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[001]
[001]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[005]
[003]	香港	852 23123456	[001]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[001]
[005]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---

表 3 : シンガポールへのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表 (中継局)

電話番号	:	65 111 1234
メールアドレス (SMTP)	:	Ifax@singapore.panasonic.co.sg
ホスト名	:	singapore
中継用 パスワード	:	sg-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	Ifax@london.panasonic.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[005]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[003]	香港	852 23123456	[005]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[005]
[005]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---

お知らせ

1. 本機が中継局として動作するよう、中継用パスワードを登録してください。(☛146 ページ)
2. 第 3 者が LAN 中継局送信にアクセスできないようにするため、ネットワークセキュリティーを設定してください。すべての LAN 中継局送信通知のために、中継許可ドメイン名と管理者のメールアドレスを入力してください。(☛146 ページ)

LAN 中継送信局としての設定

以下のパラメーターの設定を確実に行って、本機を LAN 中継局に設定してください。(☛208、244 ページ)

1. **LAN 中継 (システム登録 No.142)**
   本機を LAN 中継局として機能させるかを選択

   1) **ナシ** - LAN 中継動作をしない

   2) **アリ** - LAN 中継動作をする

2. **中継結果返送 (システム登録 No.143)**
   LAN 中継結果を発信元へ返送する設定

   1) **オフ** - 送信しない

   2) **全て** - LAN 中継結果全てを送信する

   3) **未通信** - LAN 中継で未通信となった場合、送信する

3. **LAN 中継指示をするときのパスワード (自局登録のインターネットパラメーター) (☛ お知らせ 1)**
   LAN 中継指示をするとき、第 3 者が本機にアクセスするのを防ぐ目的で、パスワード (10 文字まで) を設定します。このパスワードが合った場合のみ、LAN 中継送信します。

4. **リレーアドレス (短縮ダイヤル)**
   LAN 中継局を登録している短縮ダイヤルの 3 桁の番号。

5. **管理者のメールアドレス (自局登録のインターネットパラメーター)**
   LAN 中継の管理およびコスト管理の目的で、管理者のメールアドレスを登録してください。送信情報は以下の通りです。
   (発信者 : 発信局のメールアドレス)
   (宛先 : 受信者の G3 ファクスの電話番号)
   デュアルサーバー機能ありの場合は、メールサーバー1 経由でのみ通知されます。各発信者からの LAN 中継指示を受けると、管理者へメールで通知されます。

6. **中継許可ドメイン名 (自局登録のインターネットパラメーター) (☛ お知らせ 2)**
10 件のドメイン名 (最大 30 文字) まで登録できます。

例 : 登録ドメイン名
(01): rdnn.mgcs.co.jp
(02): rdmg.mgcs.co.jp
(03): panasonic.com

上記の例で、LAN 中継指示は、rdnn.mgcs.co.jp, rdmg.mgcs.co.jp または panasonic.com のドメイン名を含むメールアドレスからのみ受信可能です。

お知らせ

1. LAN 中継用パスワードはメールのヘッダー部分に含まれて送信するため、メールやインターネットファクスで使っているメールアドレスとは異なるものを登録することをお勧めします。このように登録することで、インターネットファクスを受信したとき、LAN 中継用パスワードを容易に識別できます。
2. ドメイン名がすべて空欄である場合は、インターネットファクスは全てのドメイン名に対して LAN 中継指示を受信します。

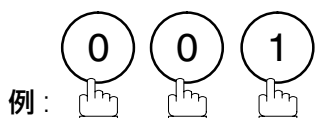
LAN 中継指示の設定

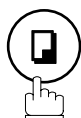
ワンタッチ／短縮ダイヤルへの中継指示の登録

- システム登録の「140 LAN 中継指示」をあらかじめ「アリ」に設定しておきます。
  「ナシ」：LAN 中継送信指示することはできません。
  「アリ」：LAN 経由の中継送信指示のみ可能になります。

9 LAN 中継局として登録されている短縮ダイヤルの３桁の番号を入力する

LAN 中継局には、中継局に登録してある LAN 中継用パスワードが登録されている必要があります。

例：0 0 1

<01> ﾁｭｳｹｲｷｮｸﾊﾞﾝｺﾞｳ
001

10 コピー/セット

ﾜﾝﾀｯﾁ <　>
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

続けて LAN 中継指示の設定ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

応用編

LAN 中継送信

本機に必要なすべてのパラメーターを登録すると、以下の手順で LAN 中継局を経由して自動的に 1 つまたは複数の G3 ファクスに原稿を送信できます。LAN 中継局には、必要なパラメーターすべてを必ず設定してください。

中継局をあらかじめ登録してある宛先へ送信する場合

1

送る面を裏向きにセットする

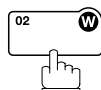
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 00%

2

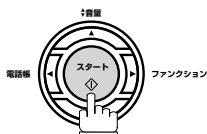
以下のダイヤル方法を任意に組み合わせて、LAN 中継指示が登録されている宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  （宛先選択後 セット を押します）

例： 02 W

<02> ｽﾄｯｸﾎﾙﾑ
4681111234

3

スタート

* チクセキ シテイマス * NO.001
マイスウ =001 05%

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 中継局へ送信が開始されます。

例： 最終宛先： 4681111234
(電話番号)
(☛ お知らせ 1)

中継局： uk-rly@london.panasonic.co.uk

* チクセキ カンリョウ *
ゲンコウ マイスウ=005 25%

* メモリー ソウシン シテイマス *
ID:uk-rly#4681111234

最終宛先に送信を完了後に、本機は中継局から通信結果レポートを受信します。

このレポートで、LAN 中継送信が完了したがどうかを確認できます。

応用編

お知らせ

1. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押してポーズ (" − " からはじまる) を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。
2. # 文字は、中継局のメールアドレスには使用できません。

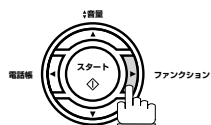
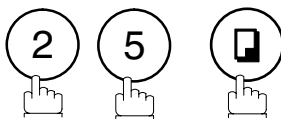
LAN 中継同報

中継局を登録していない宛先へ送信する場合

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ   00%
```

2

```
LAN ﾁｭｳｹｲ
ﾁｭｳｹｲｷｮｸ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3 以下の方法のうちいずれかにより中継局（1 宛先）を指定する

- 直接メールアドレス入力 (最初に［Eメール］ボタンを押し、中継局のメールアドレスを入力してください)
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

(☛34 ～ 38 ページ)

例： 短縮ダイヤルの「001」を入力する。

```
[001] ﾛﾝﾄﾞﾝ ﾁｭｳｹｲ
uk-rly@london.panas
```

```
LAN ﾁｭｳｹｲ
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4 最終宛先（電話番号のみ）を指定する（複数登録できます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  (各宛先選択後［セット］を押します)

- 直接ダイヤル

  (各宛先入力後［セット］を押します)

例： 02 W

```
<02> ｽﾄｯｸﾎﾙﾑ
4681111234
```

5

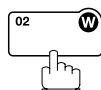
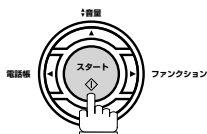

```
* チクセキ シテイマス *   NO.002
            マイスウ =001   05%
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 中継局へ送信が開始されます。

例:　最終宛先：　4681111234
(電話番号)
(☛ お知らせ 1)

中継局：　uk-rly@london.panasonic.co.uk

```
* チクセキ カンリョウ *
 ゲンコウ マイスウ=005   25%
```

```
* メモリー ソウシン シテイマス *
ID:uk-rly#4681111234
```

中継局が最終宛先に送信完了後に、本機は中継局から 通信結果レポートを受信します。

このレポートで、LAN 中継送信が完了したかどうかを確認できます。

お知らせ

1. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押してポーズ (" – " からはじまる) を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。
2. # 文字は中継局のメールアドレスには使用できません。

パソコンからの LAN 中継同報指示

Outlook 等の E メールアプリケーションを使って、TIFF 形式のファイルを添付し、複数の宛先のファクスへ中継送信することができます。

この機能をご利用になるには、事前に本機のパラメーター（自局情報の中継パスワード）を正しく設定しておく必要があります。

同時にDNS サーバーへホスト名登録と､適切なSMTP セキュリティ設置をしていただく必要があります。

DNS サーバーへの登録と、セキュリティー設定については、お客様のネットワークを管理しているシステム管理者へお問合わせください。

パソコンから中継送信する場合、E メールアプリケーションの宛先（To ）に相当するフィールドには次のように入力します。

（例）

sg-rly#8133111234@singapore.panasonic.co.sg
もしくは
sg-rly#*001@singapore.panasonic.co.sg

sg-rly ：中継用パスワード（自局情報インターネット登録の内容と合致させる）
#8133111234 ：ファクスの電話番号

と @ の間は電話番号の他、ワンタッチボタン、短縮ボタン等の情報を入力することもできます。

PBX（交換機）などを利用して内線から外線へ発信する際にポーズが必要な場合は、ハイフン " − " をファクス番号の部分に入力してください。

#*001 ～ #*100 ：短縮ボタン

#*1001 ～ #*1028：ワンタッチボタン

#*2001 ～ #*2004：プログラムボタン

@ のあとには DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。

LAN 中継送信が完了すると、中継結果を通信結果レポートとしてパソコンへ返送します。

これにより、中継結果を確認することができます。

MS - Word 、Excel などで作成されたファイルを、LAN 中継機能を使ってファクスへ送信される場合には、あらかじめ TIFF コンバーターを使って TIFF 形式のファイルへ変換した後に送信してください。

そのまま **.doc 、*.xls 形式のファイルを添付して送信することはできません。

変換する時の解像度は、通常 200dpi を選択してください。

400dpi は、あらかじめ受信相手側が 400dpi 処理能力を保有していることがわかっている時に使用します。

TIFF コンバーターは、インターネットファクスが受信可能な TIFF ファイル形式へ変換するアプリケーションです。

MAPI アプリケーションは､TIFF ファイルへ変換後､MAPI を使って E メールアプリケーションを自動的に起動するアドインプログラムです。

MAPI に対応した E メールアプリケーションと連動することにより、MS - Word 、Excel 等のアプリケーションから印刷を行なう感覚で、インターネットファクスへ送信することができます。

TIFF コンバータ並びに MAPI アプリケーションは、以下の URL からダウンロードすることができます。

http://panasonic.co.jp/pcc/

お知らせ

1. # と * 記号は、送信パスワードの後に入れ、最終宛先用の電話番号を続けます。

2. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押してポーズ (" − " からはじまる) を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。

LAN 中継同報の通信結果

中継送信を使用する場合、中継局は以下の 2 つのレポートを送信し、ファクスのチェックと記録をするのに役立ちます。

1. **中継送信レポート (通信結果レポート)**
   中継局が最終宛先に送信をした場合、システム登録の「143 中継結果返送」が「全て」または「未通信」に設定されているとき、通信結果レポートを送信します。これで、送信が完了したかどうかを確認できます。

2. **送信ジャーナル**
   中継局が LAN 中継用に指示を受信する場合、登録されている管理者にメールで通知が送付されます。(☛146 ページ「LAN 中継送信局としての設定」)

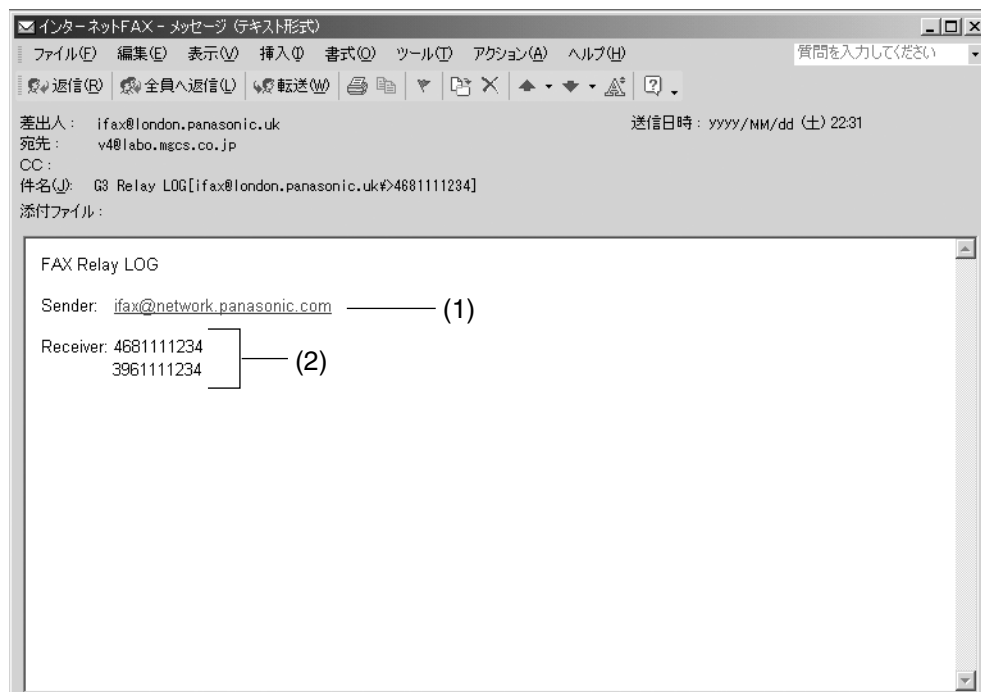
中継送信レポート（通信結果レポート）サンプル

```
****************** 通信結果レポート ********************** 2005 年 3 月 15 日 ******* 15 時 00 分 ***********

(1)                              (2)                         (3)

通信種別 = 中継転送              受付 =  03 月 15 日  15 時 00 分    完了 = 03 月 15 日  15 時 00 分 00

   受付番号 = 050 (4)

(5)    (6)                (7)                                (8)          (9)

宛先   状況   ワンタッチ／  相手先                             枚数         通信時間
NO.           短縮番号
001    R-OK               STOCKHOLM                          001/001      00:00:15
002    R-OK               ROMA                               001/001      00:00:15

                                                 - PANASONIC -

*************************************** - HEAD OFFICE      - ************* - 201 555 1212 - ***************
```

1. デュアルサーバーを設定されている場合、LAN 中継指示をサーバー 2 で受信しても、通信結果レポートはサーバー 1 経由で返送されます。（サーバー 2 経由での返送はできません。）

内容の説明

(1)	通信種別	
(2)	通信受付時間	
(3)	通信完了時間	
(4)	受付番号	: 001 から 999 まで
(5)	宛先 No.	
(6)	状況	: "R-OK" は、LAN 中継送信が完了したことを示します。 4 桁のエラーコード (☛268 ページ) は、通信がうまくいかなかったことを示します。
(7)	最終宛先の電話番号 , メールアドレスまたは宛先名	
(8)	送信ページ数 :	: 3 桁の数字は、送信が完了したページ数を示します。
(9)	通信所要時間	

管理者宛メール

内容の説明

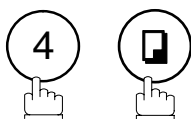
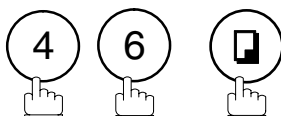
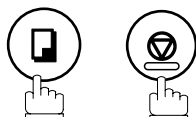
(1)　送信者のインターネットファクス　またはパソコンのメールアドレス
(2)　最終宛先の G3 ファクス 電話番号

セレクト受信機能

概要

本機はセレクト受信機能を備えており、不必要なファクスの受信を防ぐことができます。
(例：無用のファクス、ダイレクトメール等)

データ受信前に、相手側から受信される ID 番号の下 4 桁が、各ワンタッチまたは短縮ダイヤルに登録されている電話番号の下 4 桁と照合されます。両者が一致すると、本機はファクスの受信を開始します。一致しなければ、本機は受信を拒否し、エラーコード 0406 がレポートに記録されます。

セレクト受信の設定

お知らせ

1. セレクト受信機能が設定される場合、本機のワンタッチボタン、短縮ボタンに登録されている宛先からのみ受信可能です。
2. ID 番号が設定されていなければ、本機は他のファクスから受信ができません。ID 番号の設定は 204 ページを参照してください。
3. セレクト受信は、電話回線を使って利用できます。

パスワード通信

パスワード通信について

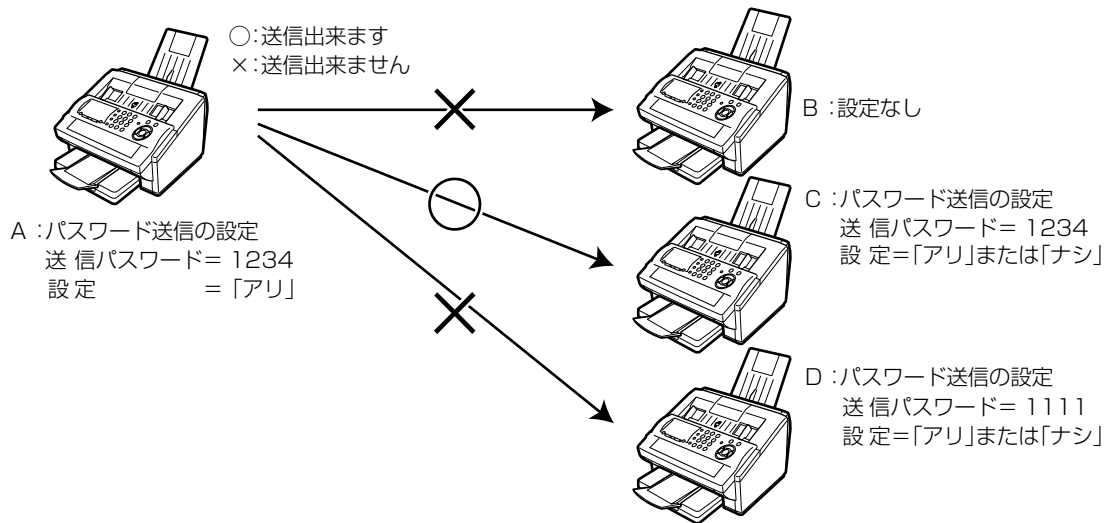
通信するときに、送信側と受信側に登録されているパスワードを照合します。パスワードを照合し、一致する相手とだけ通信するので、機密性の高い通信が確保できます。また、送信と受信を個別に制限できるので、相手に合わせた設定ができます。

- あらかじめ「パスワード送信」の設定（☛162 ページ）と「パスワード受信」の設定（☛163 ページ）が必要です。

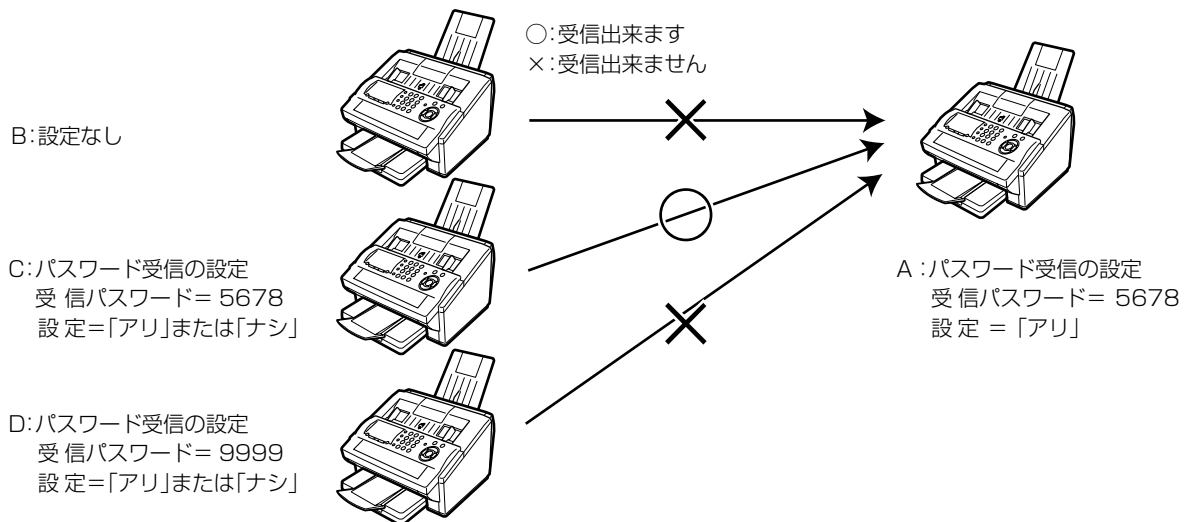
システム登録について

	設定状況	
パスワード送信	パスワードの登録なし	• パスワード通信しません。
	送信用パスワードを登録し設定を「ナシ」にする	• 通常のダイヤル操作ではパスワード送信しません。 • パスワード操作するときは、送信前の操作が必要です。（☛162 ページ） • 相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
	送信用パスワードを登録し設定を「アリ」にする	• 通常のダイヤル操作でパスワード送信が指定できます。 • パスワード送信をしないときは、送信前の操作が必要です。（☛162 ページ） • 相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
パスワード受信	受信パスワードの登録なし	• パスワード通信しません。
	受信用パスワードを登録し設定を「ナシ」にする	• 相手がパスワード受信を設定しているときは、受信側と送信側に登録されている受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。 • そのほかは、通常の通信と同じです。
	受信用パスワードを登録し設定を「アリ」にする	• 常にパスワード受信の状態になっています。 • パスワード受信を設定している相手と受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。

お知らせ　1. パスワード通信は、電話回線を使って利用できます。

パスワード送信

パスワード送信は、送信側の設定が「アリ」の場合、受信側に設定されている「送信パスワード」を送信側でチェックし、一致した場合に送信します。

- 送信側のパスワード送信の設定が「ナシ」の場合は、通常の送信と変わりありません。
- パスワード送信の設定「アリ」または「ナシ」は、送信時のみに機能します。

パスワード受信

パスワード受信は、受信側の設定が「アリ」の場合、送信側に設定されている「受信パスワード」を受信側でチェックし、一致した場合に受信します。

- 受信側のパスワード受信の設定が「ナシ」の場合は、通常の受信と変わりありません。
- パスワード受信の設定「アリ」または「ナシ」は、受信時のみに機能します。

パスワード送信の設定

送信パスワードとパラメーターの設定

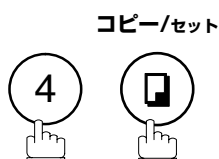
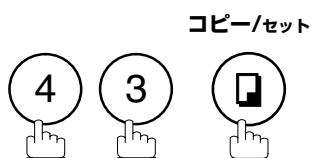
1

トウロク モード　　　(1-4)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

コピー/セット

システム トウロク　　　(1-181)
NO.=▮

3

コピー/セット

43 パスワード ソウシン
▮▮▮▮

4

4 桁の送信パスワードを入力し セット する

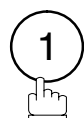
例：「1234」を入力し セット を押します。

43 パスワード ソウシン
1: オフ　　　　1234

5

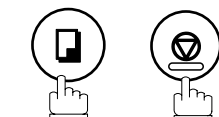
「オフ」にするには (パスワードはチェックされない)、

43 パスワード ソウシン
1: オフ　　　　1234

または

43 パスワード ソウシン
2: オン　　　　1234

または

「オン」にするには (パスワードはチェックされる)、

コピー/セット　ストップ

お知らせ

1. 送信ごとにファンクション 8-4（パスワード送信）を使うと、設定を一時的に変更できます。詳細については、164 ページを参照願います。

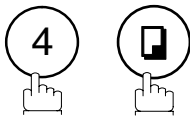
2. 送信パスワード変更には、手順 4 で クリアー を押して、新しいパスワードを入力してください。

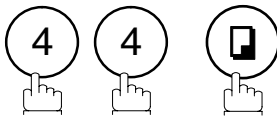
パスワード受信の設定

受信パスワードとパラメーターの設定

1

トウロク モート゛ (1−4)
ハ゛ンコ゛ウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

システム トウロク (1−181)
NO.=▮

3

コピー/セット

44 ハ゜スワート゛ シ゛ュシン
▮▮▮▮

4

4 桁の受信パスワードを入力し セット する

例：「1234」を入力し セット を押します。

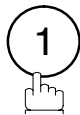
44 ハ゜スワート゛ シ゛ュシン
1：オフ 1234

5

「オフ」にするには (パスワードはチェックされない)、

44 ハ゜スワート゛ シ゛ュシン
1：オフ 1234

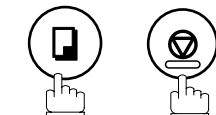
または

または

「オン」にするには (パスワードはチェックされる)、

44 ハ゜スワート゛ シ゛ュシン
1：オン 1234

6

コピー/セット ストップ

応用編

お知らせ

1. 一度パラメーターを設定すると、受信ごとに「オフ」または「オン」のパラメーターを選択できません。切り替えるには、設定を変更してください。
2. 受信パスワードを変更するには、手順 4 で クリアー を押し、新しいパスワードを入力してください。

パスワード送信設定の一時変更

パスワード送信の一時解除・一時設定を行いたい場合、次の手順で１回の通信に限り、設定を変更できます。

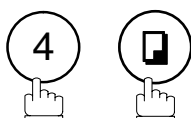
1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ   00%
```

2

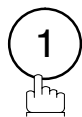
```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ        (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ = ｵﾝ
1:ｵﾝ 2:ｵﾌ
```

4

「オフ」にするには（ パスワードはチェックされない ）、

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ = ｵﾌ
1:ｵﾝ 2:ｵﾌ
```

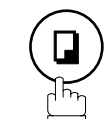
または

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ = ｵﾝ
1:ｵﾝ 2:ｵﾌ
```

または

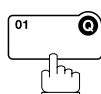
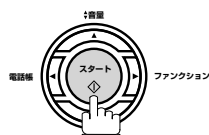
「オン」にするには（パスワードはチェックされる）、

5

コピー/セット

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ   00%
```

以下の方法を任意に組み合わせて、宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （各宛先選択後 セット を押します）
- 直接ダイヤル
  （各宛先入力後 セット を押します）

例：

<01>（ 宛先名 ）
5551234

１回の通信に限りパスワード送信の設定を「ナシ」または「アリ」にして通信を開始します。

パスワード受信の使用

163 ページの手順にしたがって一度設定すると、追加操作の必要はありません。「**オフ**」または「**オン**」のパラメーターは、受信ごとに選択できません。切り替えるには、設定を変更してください。

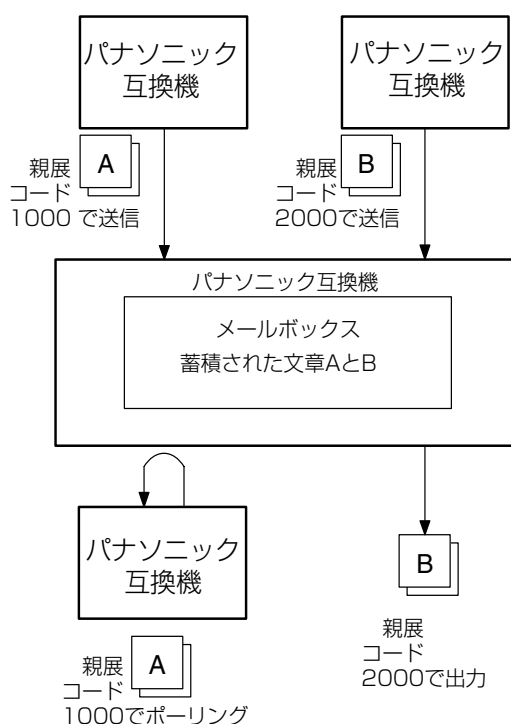
応用編

親展送信

概要

ある特定の相手に原稿を送信したいとき、中継局のメモリーへパスワードを付けて原稿を送信することができます。受信側はパスワードを入力しない限り原稿を取出すことができないので、情報が第 3 者へ漏れる心配がありません。

親展通信（メールボックス）

親展メールボックス機能は、4 桁の親展コードを使って他の互換モデルと通信するメールボックスとして使用できます。中継局には親展コードが付加された親展文書をメモリーに蓄積できます。親展文書は指定された親展コードを入力しないと取出せません。

お知らせ

1. 本機が同じ親展コードを持つ 2 つの親展文書を受信する場合、両方の親展文書は同じメールボックスに保存されます。
2. メールボックスファイルは 10 個まで保存可能です。10 個の異なる親展コードを使用し親展文書を受信できます。
3. メモリー容量が足りない場合親展通信できません。

親展送信

中継局のメールボックスに親展文書を送ります。

1

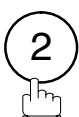
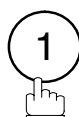
送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ 00%

2

コピー/セット

シンテン ツウシン (1-5)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

3

シンテン ソウシン
シンテン バンゴウ =■■■■

4

4 桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

シンテン ソウシン
シンテン バンゴウ =2233

5

コピー/セット

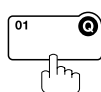
アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ

6

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 直接ダイヤル
  (各宛先入力後 セット を押します)
- 電話帳機能
  (各宛先選択後 セット を押します)

<01>(宛先名)
5551234

例：

7

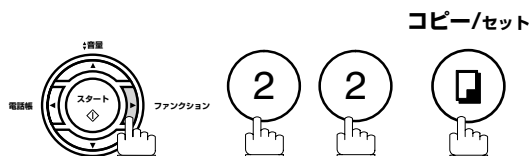
中継局へダイヤルし、親展送信を開始します。

必要に応じて、送信相手に親展コードを知らせてください。

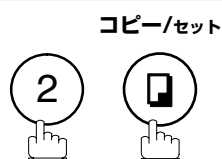
親展ポーリング受信

中継局のメールボックスに親展文書を受信した知らせが入ったら、

以下の手順で親展文書を取出すことができます。

1

コピー/セット

シンテン ツウシン (1-5)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

コピー/セット

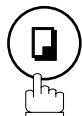
シンテン ポーリング ジュシン
シンテン バンゴウ=■■■■

3 4桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

シンテン ポーリング ジュシン
シンテン バンゴウ=2233

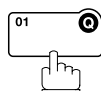
4

コピー/セット

アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ

5 以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 直接ダイヤル
  (各宛先入力後 セット を押します)
- 電話帳機能
  (各宛先選択後 セット を押します)

<01>(宛先名)
5551234

例：

6

中継局へダイヤルし、親展通信を開始します。

お知らせ　1. 親展文書を受信された後、文書はメールボックスから自動的に消去されます。

本機のメールボックスで親展文書を受信する

特別な設定をすることなく、通常のファクス通信と同じように親展文書を受信することができます。親展文書を受信したときは、ディスプレイに次のように表示され、親展文書受付レポートがプリントされます。

```
ｼﾝﾃﾝ ﾌｧｲﾙ ｶﾞ ｱﾘﾏｽ
```

親展文書受付レポートサンプル

```
*******************  - ｼﾝﾃﾝ ｳｹﾂｹ ﾚﾎﾟｰﾄ -  ************************* 2005-03-15 ********** 15:00 **********

            ** ｼﾝﾃﾝ ｼﾞｭｼﾝ ｦ ｳｹﾂｹﾏｼﾀ **

  (1)          (2)                 (3)                  (4)
 ﾌｧｲﾙ NO.     ｱｲﾃｻｷ ID             ﾏｲｽｳ                 ｳｹﾂｹ ｼﾞｺｸ

    040        PANAFAX              001                  03-15 15:00

                                                       -PANASONIC                -

************************************* -HEAD OFFICE     - ************* -        201 555 1212- ************
```

レポート内容説明

(1) ファイル番号　：　001 ～ 999
(2) 中継局の ID　：　文字 ID または数字 ID
(3) 受信したページ数
(4) 受信した日付と時間

お知らせ

1. 同じ親展コードをもつ 2 つの親展文書を同時に受信した場合、2 つの親展文書は同じメールボックス内に保存されます。
2. メモリーには最大 10 個まで保存可能です。10 個の異なる親展コードを使用し親展文書を受信できます。
3. メモリーがいっぱいになると、親展通信できません。

本機のメールボックスで親展文書を保存する

親展文書は受信された後、メールボックスから自動的に消去されます。受信した後もファイルを保存しておきたい場合は、以下の手順でメールボックスに文書を保存することができます。

文書はメモリー内に保存されます。

宛先に親展受信のための親展コードをお知らせください。

親展プリント

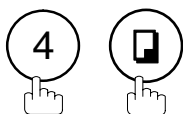
本機のメールボックスに親展文書が送信されたときは、以下の手順で親展文書をプリントします。

1

コピー/セット

```
ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ         (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

コピー/セット

```
ｼﾝﾃﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ =■■■■
```

3 プリントしたい文書の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

```
ｼﾝﾃﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ =2233
```

4

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
        ﾍﾟｰｼﾞ =001/001
```

親展文書をプリントします。

お知らせ

1. 親展文書はプリントされた後、メールボックスから自動的に消去されます。システム登録の「042 親展ファイル保存」を「アリ」に設定されている場合も同様です。

親展文書の消去

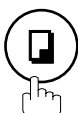
メモリーがいっぱいになったとき、または親展文書を消去したいときは、以下の手順で 1 つまたは複数の親展文書を消去することができます。

消去方法は、親展コードによって 1 つずつファイルを消去する方法と、メモリー内のファイルを全て一括消去する方法、の 2 通りです。

パスワードを使って消去する場合

メモリー内のファイルを一括消去する場合

1

2 2

コピー/セット

```
ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ        (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

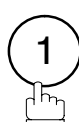
コピー/セット

```
ｼﾝﾃﾝ ｼｮｳｷｮ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ =████
```

3

コピー/セット

```
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ｼﾝﾃﾝ ｦ ｼｮｳｷｮ
ｼﾏｽｶ ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

4

```
* ｼｮｳｷｮ ｻﾚﾏｼﾀ *
  ｽﾍﾞﾃ ﾉ ｼﾝﾃﾝ
```

IP 電話サービスを使って送信する

ご利用上の留意点

■ ご利用上の注意

● **プロバイダが提供する IP 電話サービスのご契約が必要です。**
ご利用になるプロバイダが、「IP 電話対応機器」に対応した IP 電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。

● **IP 電話サービスのサービス内容は各プロバイダごとに異なります。**
- IP 電話サービスのサービス内容・料金・提供条件・お申し込み方法などは、プロバイダにより異なりますので、各プロバイダにご確認ください。
- IP 電話サービスから発信できる番号も各プロバイダにより異なります。
- 「IP 電話対応機器」をご利用のお客さまどうしでも、ご契約された IP 電話サービスが異なる場合は、IP 電話サービスとして通話することができない場合がありますのでご注意ください。

● **一般加入電話回線を接続しない場合は、110 番などについてはつながりません。**
- 110 番や 118 番、119 番の電話番号へは、自動的に加入電話回線から発信されるため、加入電話回線が正しく接続されていないとつながりませんのでご注意ください。
- ご契約されたIP電話サービスが携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合は、加入電話回線から発信してください。

● **IP 電話サービスから発信する際は、以下の表をよくご確認ください。**

発信先の電話番号		発信に利用するサービス
一般の電話番号	例：03-1234-5678 06-1234-5678	IP 電話サービスから発信できます。
050 番号（IP 電話）	例：050-XXXX-XXXX *	IP 電話サービスから発信できます。
0X0（050 以外）	例：携帯電話（090）、PHS（070）、国際電話（010）など	ご契約された IP 電話サービスのサービス内容によります。詳しくは各社の IP 電話サービスのサービス内容をご確認ください。 【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象の場合】 IP 電話サービスから発信します。 【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象外の場合】 一般加入電話回線から発信してください。
00XY	例：0036 などで始まるダイヤル	
0XY0 （市外局番以外）	例：0120、0570 などで始まるダイヤル	
その他のダイヤル （110、118、119 以外）	–	
110、118、119	110、118、119 の緊急通話	自動的に一般加入電話回線から発信します。

*：「184 ＋電話番号」および「186 ＋電話番号」を含みます。

お知らせ

1. IP電話サービスについては、お使いの IP電話対応機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

● **IP 電話サービスから発信できない／発信したくないときは**
- 一般加入電話回線から発信してください。
- ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP 電話サービスがご利用いただけない場合は、一般加入電話回線から発信してください。

● **発信者番号通知についてご確認ください。**
- IP電話サービスどうしの通話の場合は、IP 電話サービスの電話番号が通知されます。（「184＋電話番号」をダイヤルすることで非通知にすることもできます。）
- 加入電話など、IP 電話サービス以外に発信する際の発信者番号通知については、ご契約された各プロバイダにご確認ください。

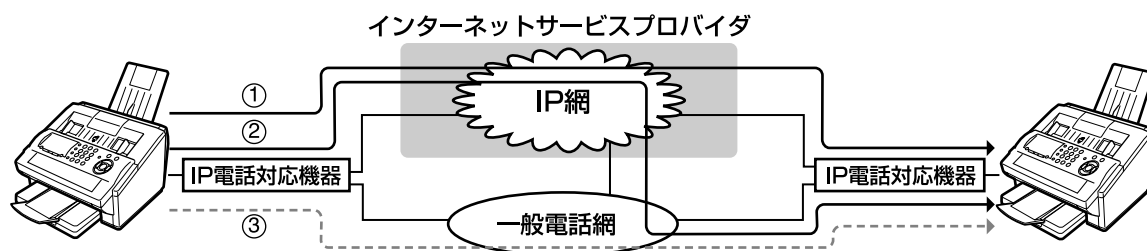
お知らせ

2. 下記のような場合には、IP 電話の通話品質が劣化したり、ファクス通信が困難な場合があります。
  ·ADSL 回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
  ·インターネットで十分な帯域が確保できない場合
  ·IP 電話対応機器に接続されているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

IP 電話サービスを利用して送信する

インターネット網の不調などで IP 電話回線が通信不能になった場合は、リルート機能とプレフィクス機能により自動的に一般加入電話回線に切替えて通信できるように設定することができます。

■ IP 電話サービスを利用して送信する

「IP 電話対応機器」を設置しているときは、特別な操作をしなくてもファクスを送ったり、電話をかけたりすることができます。

①（ＩＰ 電話→ ＩＰ 電話）............................ 相手が ＩＰ 電話番号を持っている場合
②（ＩＰ 電話→ 一般電話）............................ 相手が ＩＰ 電話番号を持っていない場合
③（一般電話→ 一般電話）............................ 一般加入電話回線を指定する場合

<送信の流れ>

1. IP 電話から IP 電話への送信の送信方法①でファクスを送ります。（ワンタッチ／短縮ダイヤルに固定電話番号のみ登録されている場合は、ご利用できません）
2. 通信エラーにより送信方法①で送ることができなかった場合は、自動的に送信方法②でファクスを送り直します。
3. 通信エラーにより送信方法②でも送ることができなかった場合は、自動的に送信方法③でファクスを送り直します。（ワンタッチ／短縮ダイヤルに ＩＰ 電話番号のみ登録されている場合は、ご利用できません）

お知らせ

1. ファクスがどの回線を使って送信されたかを通信管理レポート（☛248 ページ）で確認できます。

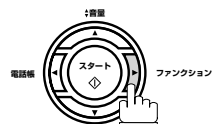
[リルート機能]
システム登録の「123 リルート機能」が「アリ」に設定されてるとき、①〜③のいずれかの送信方法で自動的に通信回線を切替えてダイヤルをし直し、ファクスを送信します。ファクス送信は①の方法で送信を開始し、送信できなかったときは、②、③と順次送信方法を切替えてファクスを送信します。

[プレフィクス機能]
システム登録の「124 プレフィクス機能」で、プレフィクス番号を入力し、設定を「アリ」にしているときご利用になれます。0〜9、#、＊、ポーズ記号を組み合わせて、最大 20 桁まで登録できます。(「アリ」のときは信号の流れは③となります)

(付与できる番号例)
0000 ：「IP 電話対応機器」を使用しているとき、続けてダイヤルすると相手先電話番号へ一般加入電話回線から発信します。

(「0000」は例です。一般加入電話回線への切替番号は、各ご契約電話会社へご確認ください)

リルート機能の設定／プレフィクス番号の登録

1

ファンクション　7　4　コピー/セット

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
        NO.=▮
```

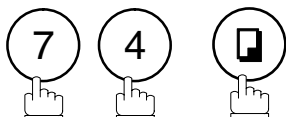
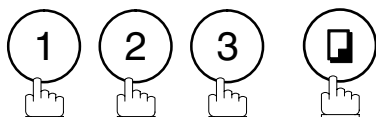
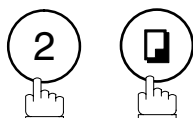
2

1　2　3　コピー/セット

```
123 ﾘﾙｰﾄｷﾉｳ
1:ﾅｼ
```

3

2　コピー/セット

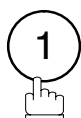
```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽｷﾉｳ
▮
```

- リルート機能が設定されます。

4

プレフィクス番号を入力（最大 20 桁）し セット する

例：「0000」を入力し セット を押します。

入力を間違えたときは クリアー を押して訂正します。

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽｷﾉｳ
1:ﾅｼ
```

5

1 （プレフィクス機能を使わない）

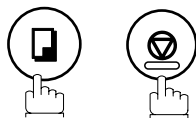
```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽｷﾉｳ
1:ﾅｼ
```

または

2 （プレフィクス機能を使う）

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽｷﾉｳ
2:ｱﾘ
```

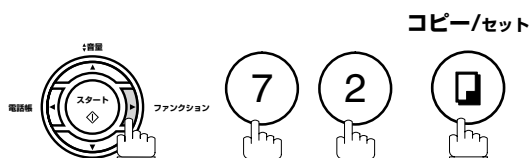
6

コピー/セット　ストップ

1.「124 プレフィクス機能」を「アリ」にすると、「123 リルート機能」の設定にかかわらず、常にプレフィクス番号をつけて発呼します。

電話番号／IP 電話番号の登録

システム登録の「123 リルート機能」を「アリ」に設定すると、1 つのワンタッチまたは短縮ダイヤルに一般電話番号と IP 電話番号をそれぞれ登録できます。

1

2

```
1: ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2: ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

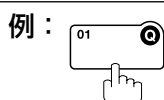
2

ワンタッチに登録するときは ① を選択する
短縮番号に登録するときは ② を選択する

例： ① を選択する

```
ﾜﾝﾀｯﾁ <>
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

例：

```
<01>
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

- 入力モード変更には、 を押します。


```
<01>
ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

電話番号を入力する（最大 36 桁）

例： 396111123

```
<01>
396111123▮
```

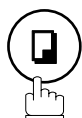
5

```
<01>
IP ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

6

IP 電話番号を入力する（最大 36 桁）

例： 0501234567890

```
<01>
0501234567890▮
```

7 **コピー/セット**

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ　　< ｶﾅ
0501234567890

8 文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「エイギョウブ」を入力します（☛237 ページ）。

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ ▮　　< ｶﾅ
0501234567890

9 **コピー/セット**

ﾜﾝﾀｯﾁ <>
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

続けてワンタッチの登録ができます。
手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには **ストップ** を押します。

登録編

インターネットに接続するための事前準備

本機をネットワークに接続される前に、この章をご覧いただくことにより各機能についてのご理解がいっそう深まります。

本機を、10Base-T/100Base-TX イーサネット LAN(ローカルエリアネットワーク) へ接続すると以下のようなことができます。

- 原稿情報を E メールで送信する
- インターネットファクスのメッセージを送信する (ダイレクト IFAX 送信)
- E メールを自動的に受信し、印刷する
- G3 ファクスもしくは E メールで受信したものを、あらかじめ設定したメールアドレスもしくは通常の G3 ファクスへ自動的に転送する (☛135 ページ「メモリー転送」)
- G3 ファクスから受信したものを ITU-T のサブアドレスを使って、発信者が指定したメールアドレスもしくは G3 ファクスへ自動的にルーティングする
(☛101 ページ「受信ルーティング」)
- E メールを通常のファクス送信として他のファクスへ中継する
(☛150 ページ「LAN 中継送信」)
- ネットワークスキャナー、プリンターとしての利用をする

ここに記載した機能をご利用になるには、本機をネットワークへ正しく設定する必要があります。**現在のネットワーク設定値については、お客様のシステム管理者へお問合せ願います。**

188 ページに添付されている事前設定調査表をコピーし、MAC(Media Access Control) アドレスを記入してから、表にある残りの項目を埋めていただきますようシステム管理者へご依頼願います。本機の MAC アドレスは、インターネット登録リスト (自局登録リスト)(ファンクション ⑥ ④ セット) を押して印刷されます。

インターネットに接続するための事前準備

本機は、**SMTP 転送もしくは POP クライアント**による受信のいずれかが設定できます。また設定により、ご利用になれる機能が以下の表の通り異なります。

機能	SMTP 転送	POP クライアント
原稿情報を E メールで送信	○	○
インターネットファクスのメッセージを DirectSMTP プロトコルにより送受信	○	×
E メールの自動受信と印刷	○	○
E メールの手動受信と印刷	×	○
受信したファクスもしくは E メールの自動転送	○	○
ファクスの自動振り分け転送 (ルーティング)	○	○
E メールからファクスへの中継	○	×

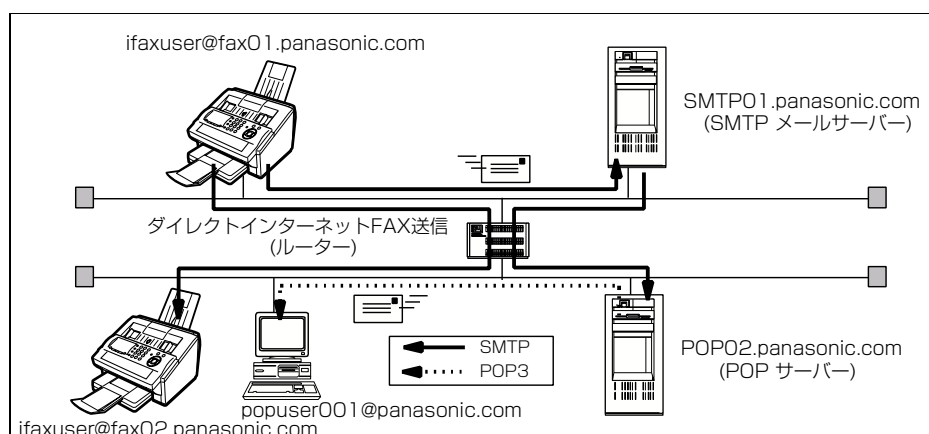
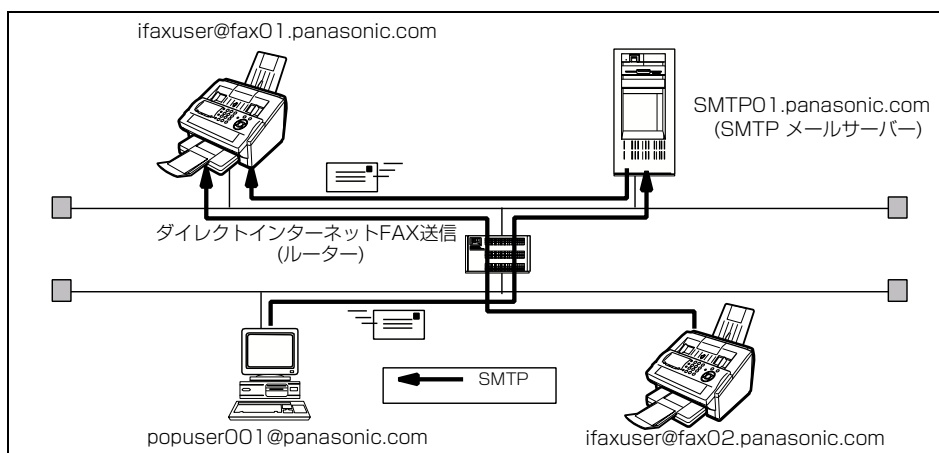
お知らせ

1. SMTP 転送機能をご利用になるには、本機のメールアドレスにお客様のドメインとホスト名が含まれていなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS(Domain Name System) サーバーへ登録されていなければなりません。
   例：Internet_Fax@fax01.panasonic.com
2. 自動的に SMTP 転送もしくは POP 受信を実行します。POP クライアントとしての設定時には、手動操作による受信ができます。
3. DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) をご使用の場合、インターネット登録リスト (自局登録リスト) の IP アドレスはシステム管理者に依頼してください。
4. 本機が受信、印刷、転送、中継可能なメールは、テキスト本文と TIFF - F 形式画像の添付ファイルのみです。

SMTP 転送としての設定

本機を SMTP 転送設定でご利用頂くには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- DNS サーバーの IP アドレス (DNS が利用できない場合は、お知らせを参照)
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトルーターの IP アドレス
- 本機のメールアドレス (お知らせを参照)
- ホスト名
- SMTP 認証名 (SMTP サーバーに認証が必要なとき)
- SMTP 認証パスワード (SMTP サーバーに認証が必要なとき)

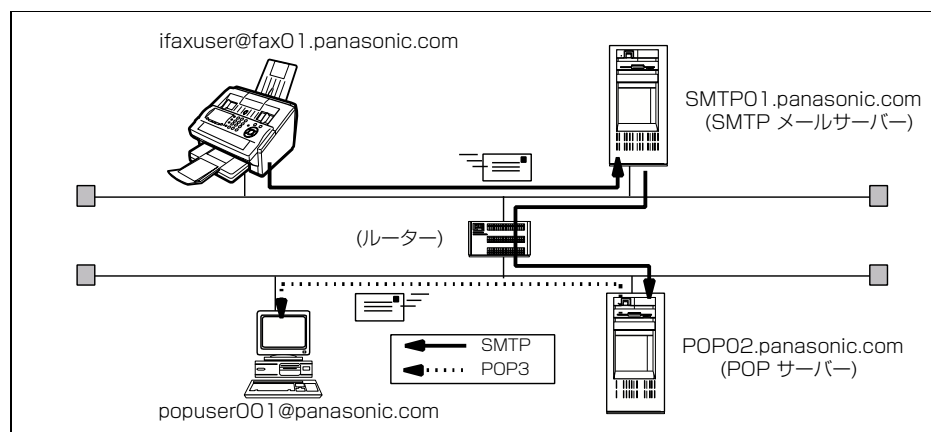
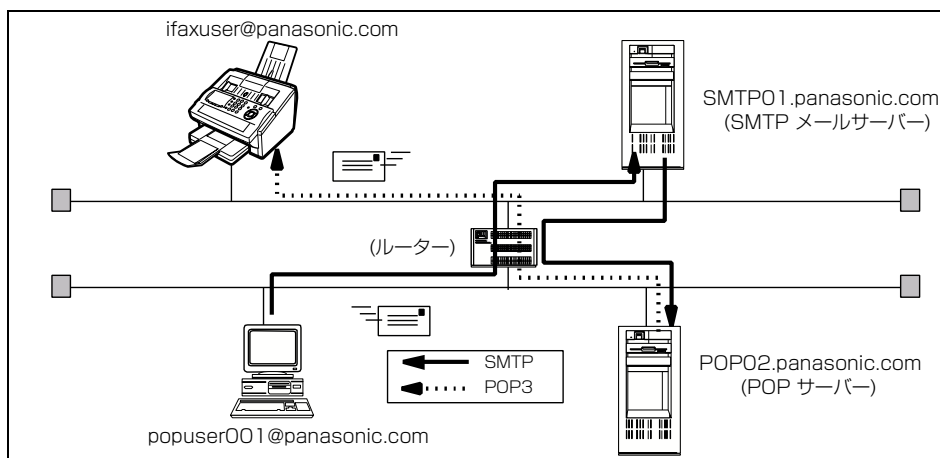
メール (本機から PC へ) ならびにダイレクトインターネット FAX 送信例

メール (PC から本機へ) ならびにダイレクトインターネット FAX 受信例

お知らせ

1. SMTP　転送機能をご利用になるには、本機のメールアドレスにお客様のドメインとホスト名が含まれていなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS(Domain Name　System) サーバーへ登録されていなければなりません。
   登録は「○○○ @ ホスト名 .... ドメイン名」の形式で行います。
   例：Internet_Fax@fax01.panasonic.com
2. DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の No.161（DNSサーバー）を「アリ」にしてください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。

POP クライアントとしての設定

本機を POP クライアントとして利用いただくには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- DNS サーバーの IP アドレス (DNS が利用できない場合は、お知らせを参照)
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトルーターの IP アドレス
- POP サーバー名もしくは IP アドレス
- POP ユーザーアカウント名
- POP パスワード
- 本機のメールアドレス (お知らせを参照)

メール送信例 (本機から PC へ送信)

メール受信例 (PC から本機へ受信)

お知らせ

1. メールアドレス形式は、通常のメールアドレスと同じです。登録は「POP ユーザー名@ドメイン名」の形式で行います。
例：popuser001@panasonic.com

2. DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の No.161（DNSサーバー）を「アリ」にしてください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。

インターネットに接続するための事前準備

LAN 経由で全体のシステムが正しく動作するために、確定情報と追加パラメーターを設定しなければなりません。システム管理者から必要な情報を得た上で LAN へ接続してください。

重要：このページ全体をコピーしてください。追加記入するべき情報は、システム管理者にお問い合わせください。記入が終りましたら、本マニュアルの表紙裏にはさんでおき、適宜ご参照願います。

ユーザー情報		
社名		
住所		
部署名		
市	都府県	郵便番号
電話番号	ファクス番号	

自局情報リスト（インターネットパラメーター）(207 ページ参照)		
(1) 自局 IP アドレス :		
(2) サブネットマスク :		
(3) デフォルトルーター IP アドレス :		
(4) プライマリー DNS サーバーIP アドレス :		
(5) セカンダリー DNS サーバーIP アドレス :		
(6) 自局メールアドレス :		
(7) メールサーバー名 :	もしくは	メールサーバー IP アドレス :
(8) POP サーバー名1 :	もしくは	POP サーバー IP アドレス :
(9) POP ユーザー名1 :		
(10) POP パスワード1 :		
(11) POP ユーザー名2 :		
(12) POP パスワード2 :		
(13) デフォルトサブジェクト :		
(14) ホスト名 :		
(15) デフォルトドメイン名 :		
(16) セレクトドメイン名 :		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	
(17) リモートパスワード :		
(18) 中継用パスワード :		
(19) 管理者メールアドレス :		
(20) ドメイン名 (中継許可) :		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	
(21) コミュニティー名（地域名）(1) :		
(22) コミュニティー名（地域名）(2) :		
(23) デバイス名 :		
(24) デバイスのロケーション :		

お知らせ

1. (1) ～ (15) はシステム管理者から提供される情報です。
2. DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の No.161（DNS サーバー）を「アリ」にしてください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。
3. Macアドレスは、自局情報リスト (ファンクション ⑥ ④ セット) を押して印刷されます。
4. POP サーバー名2、POP ユーザー名2、POP パスワード2は、システム登録の「178 デュアルサーバー」が「アリ」のとき登録できます。

記載内容説明

	項目		説明
	Mac アドレス	:	本機の Mac アドレスは、自局情報リスト (ファンクション ⑥ ④ セット) から知ることができます。
(1)	自局 IP アドレス	:	本機のインターネットプロトコル (IP) アドレス
(2)	サブネットマスク	:	サブネットマスク番号
(3)	デフォルトルーター IP アドレス	:	ルーターの IP アドレス
(4)	プライマリー DNS サーバー IP アドレス	:	プライマリー DNS サーバーの IP アドレス
(5)	セカンダリー DNS サーバー IP アドレス	:	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレス
(6)	自局メールアドレス	:	本機のメールアドレス (60 桁まで)
(7)	メールサーバー名もしくはメールサーバーの IP アドレス	:	SMTP サーバー名 (60 桁まで)、SMTP サーバーの IP アドレス
(8)	POPサーバー名もしくはPOPサーバーIPアドレス	:	POP サーバー名 (60 桁まで)、POP サーバー IP アドレス
(9, 11)	POP ユーザー名 1、2	:	POP ユーザー名 (40 桁まで)
(10, 12)	POP パスワード 1、2	:	POP パスワード (10 桁まで)
(13)	デフォルトサブジェクト	:	件名 (Subject) の部分に自動挿入される内容 (40 文字まで) 例：@yourcompany.com
(14)	ホスト名	:	ホスト名（60 桁まで）
(15)	デフォルトドメイン名	:	メールアドレス省略時の付加ドメイン名 (50 桁まで)
(16)	セレクトドメイン名	:	メールアドレスを最大 10 アドレスまで登録して選択可能 (30 文字まで)
(17)	リモートパスワード	:	メールを使ったリモート操作によるインターネットパラメーター、宛先登録、通信管理レポートの取得に関するパスワード (10 桁まで)
(18)	中継用パスワード	:	LAN 中継送信時の中継許可用パスワード (10 文字まで)
(19)	管理者メールアドレス	:	LAN 中継送信状況モニターと通信費用管理として利用 (60 桁まで)
(20)	ドメイン名 (中継許可)	:	中継許可ドメイン (30 桁まで)
(21)	コミュニティー名 (1)	:	ネットワーク・デバイス・ロケーター用のコミュニティー名 (32 文字まで)
(22)	コミュニティー名 (2)	:	ネットワーク・デバイス・ロケーター用のコミュニティー名 (32 文字まで)
(23)	デバイス名	:	ネットワーク・デバイス・ロケーター用のデバイス名 (32 文字まで)
(24)	デバイス・ロケーション	:	ネットワーク･デバイス･ロケーター用のデバイス･ロケーション (32 文字まで)

お知らせ

1. IP アドレスはドットで 4 パートに区切られた数字の連なりです。
例：165.113.245.2 ドットは トーン を用いて入力できます。

インターネット通信について

インターネットファクス通信

原稿をインターネットファクスから相手先の PC、あるいはインターネットファクスへ送信する機能です。原稿は、メールの TIFF または PDF 形式の添付ファイルとして相手先の PC に送信されます。インターネットファクスからの簡単操作で相手先のメールアドレスへ送信できます。

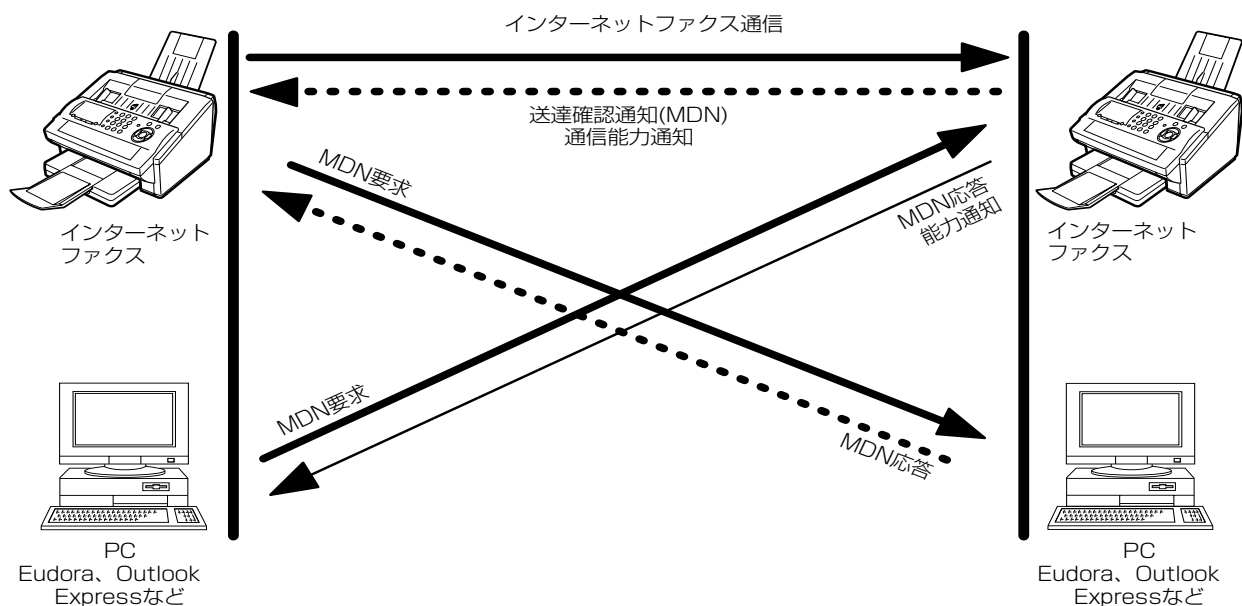
PC 側のメールソフトが MIME 形式に対応していない場合は、TIFF もしくは PDF 形式の添付ファイルを使用できないため相手先へ正しく届きません。

メールのメッセージはまず SMTP メールサーバーに送られ、その後、メールサーバーからインターネットへと送られます。

インターネットファクス送達確認通知 (MDN)

インターネットファクスからの送信の到達を確認できます。ただし、受信者の側に送達（開封）確認通知 (MDN) の機能が備わっていなければなりません。

インターネットファクスからの送達確認通知要求に応答できるメールアプリケーションには、

Eudora や Outlook Express などがあります。MDN についての詳細は、各メールアプリケーション付属のヘルプやユーザーガイドを参照してください。

矢印について：

：送信者からのMDN要求

：受信者からのMDN応答(通信能力通知付)

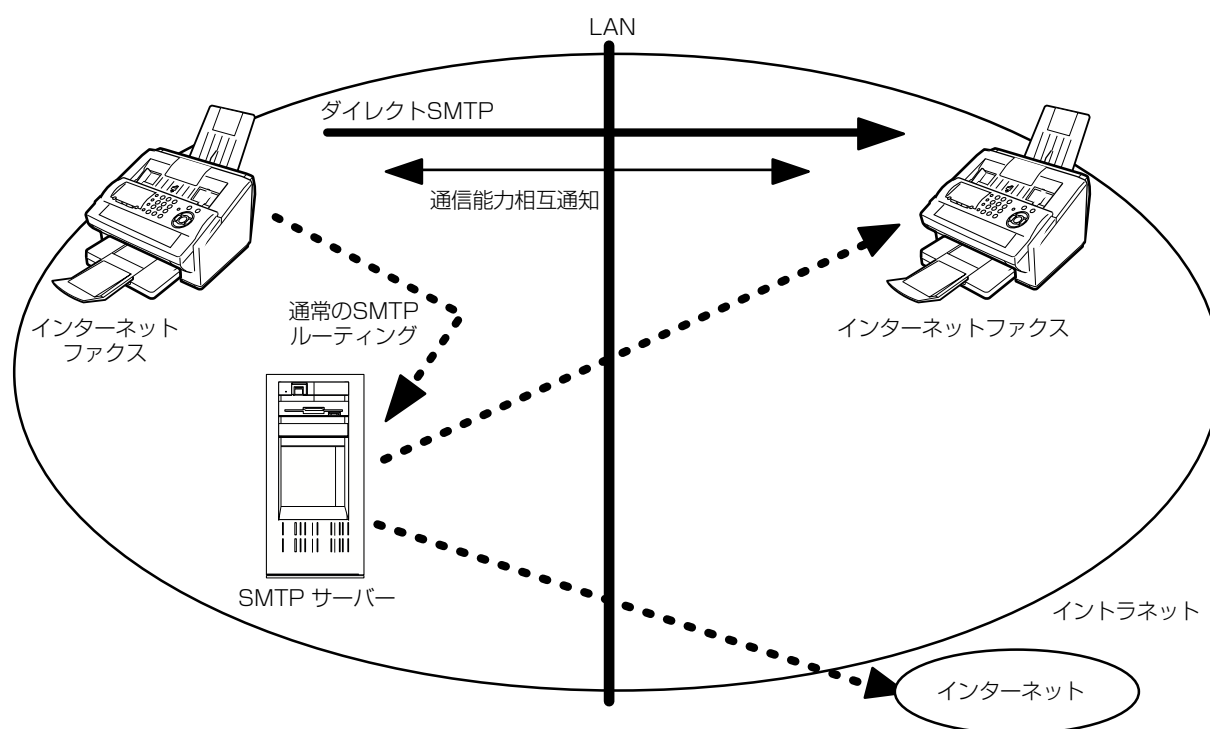
：受信者からのMDN応答

ダイレクト SMTP(ダイレクト IFAX 送信)

インターネットのメールは SMTP メールサーバーが SMTP(Simple Mail Transfer Protocol) によりやりとりしています。

ダイレクト SMTP は、SMTP メールサーバーを通さずに直接インターネットファクス間で文書交換するシステムです。このシステムを順調に働かせるには IP アドレスが常に一定に保たれている必要があります (IP アドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください)。本機のドメイン名などの情報が DNS サーバーに適切に登録されていなければなりません。

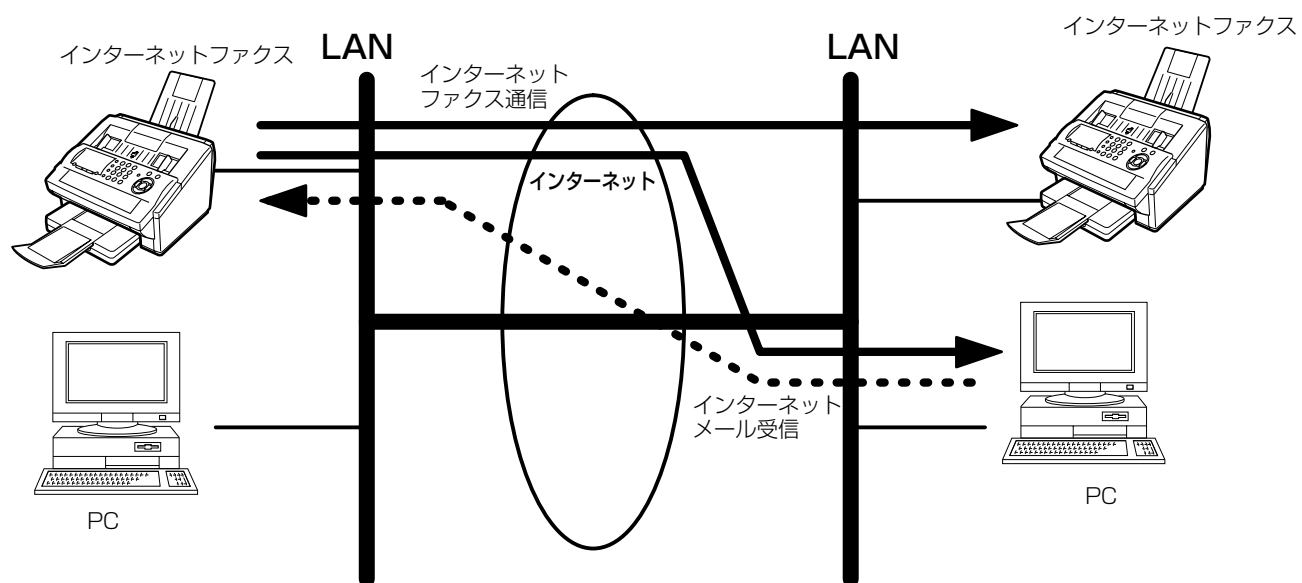
通常企業などのイントラネットでは、メールとホームページ閲覧しか許可されていません。これはファイアウォールの負担をシステム管理者が嫌うからです。

こういった場合、ダイレクト SMTP が活躍します。

お知らせ

1. システム登録の「161 DNS サーバー」が「ナシ」のときは、メールアドレス指定の際は「@」以降を IP アドレスで指定しないと送信できません。

インターネット通信について

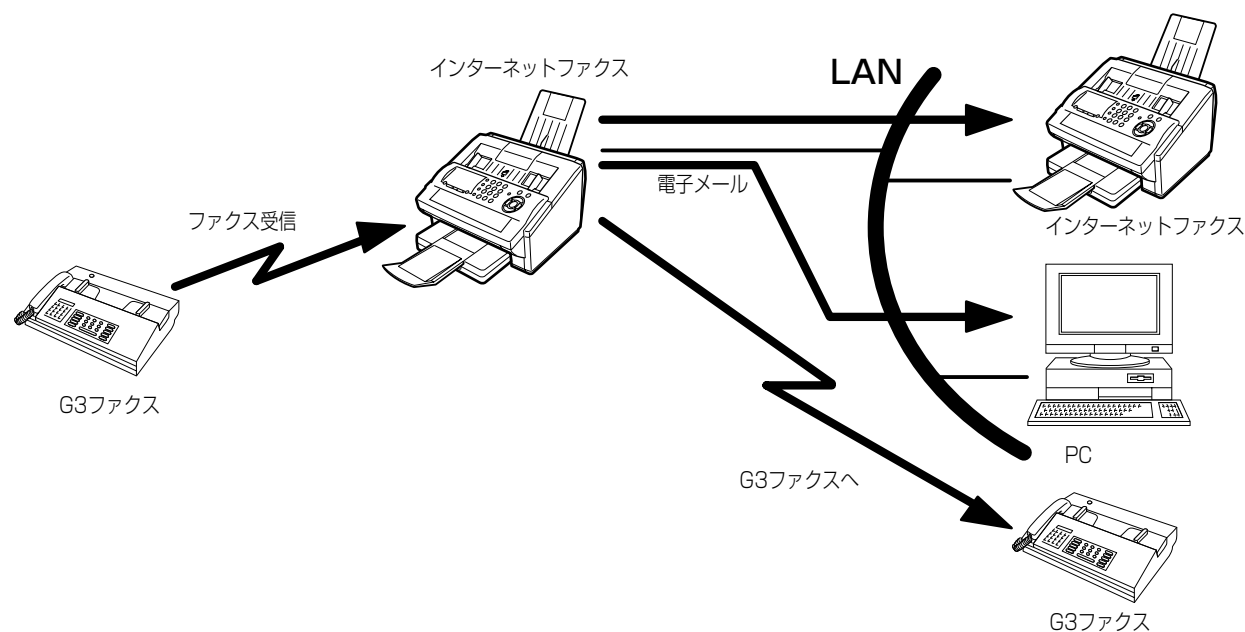
インターネットメール受信

PC からインターネットファクスに送られてきたメールを、設定により自動または手動でプリントする機能です。ただし、インターネットファクスがサポートしている TIFF 形式以外の添付ファイル (Word、Excel、PowerPoint などのファイル) が送られてきた場合は、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。

ルーティング

一般回線のファクスから受信した文書を、LAN に接続した PC または、インターネットファクスにメール送信することができます。また、別の一般回線のファクスにファクス送信することもできます。

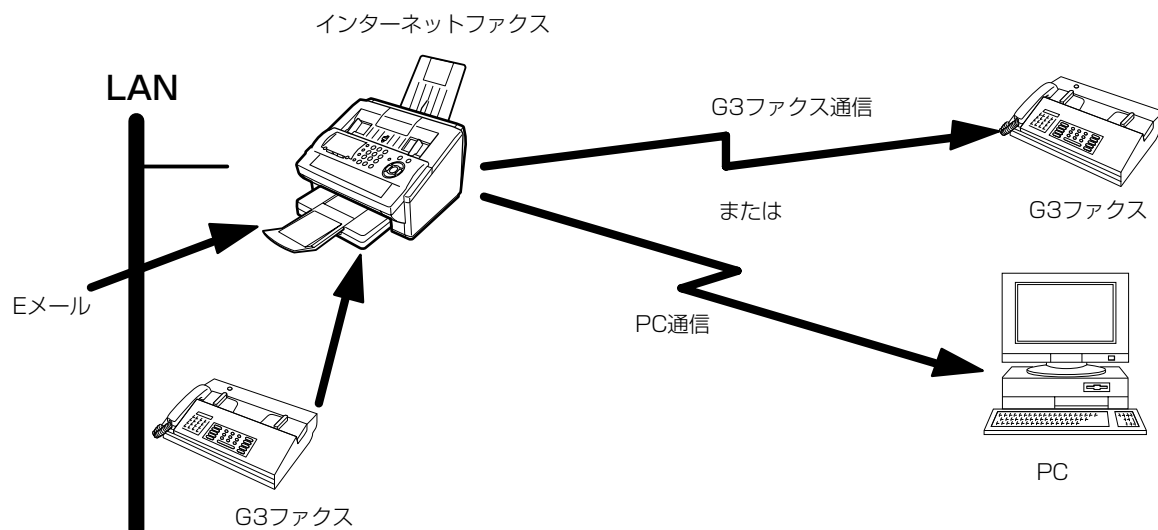
送信機の G3 ファクスが F コードの通信の指示機能がご利用できるファクスの場合、登録したサブアドレスを指示することで通信毎に宛先を選択して送信することができます。

また NTT、NTT コミュニケーションズと契約している場合、送信機の G3 ファクスはナンバーディスプレイ（発信者番号通知）やモデムダイヤルインを使用して送信することができます。

1. F コード通信に対応していないファクスの場合は、宛先を選択することはできませんが、数字 ID を登録しておくことで送信機毎に個別の宛先に送信することができます。
2. ご利用できるファクスに関して、ご不明な場合は、サービス実施会社にお問い合わせください。

お知らせ

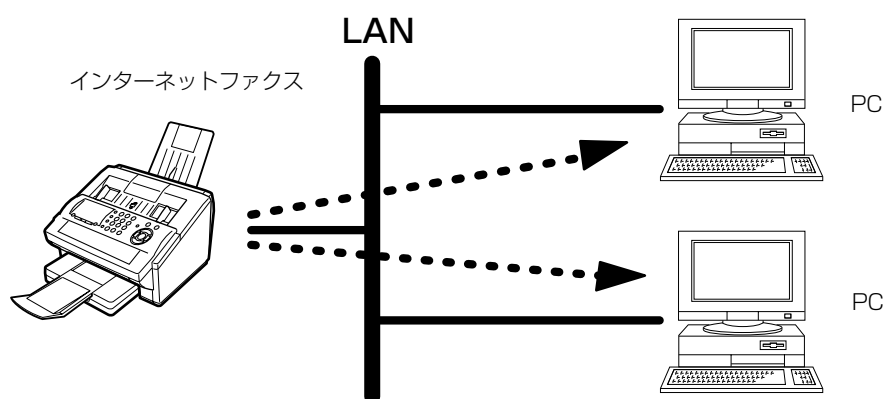
1. ファクス送信をしたファクスに上記のサブアドレス機能が備わっていない場合、サブアドレスの宛先は選べません。
2. 本機はメールアドレスと電話番号に同一のサブアドレス番号を登録することができます。また、ルーティング用に、複数のメールアドレス、ファクス番号、電話番号を短縮登録できます。

メモリー転送

インターネットファクスのメモリーに受信したメールやファクスを、あらかじめ設定した一つの宛先 (ファクスや PC) へ転送する機能です。

ネットワークスキャナー

インターネットファクスをスキャナーとしてご利用になれます。

インターネット通信を利用して、原稿をインターネットファクスから PC へメール送信することにより、原稿の画像イメージを PC 側で見ることができます。

デフォルトドメイン・パラメーターとして設定されている、同じドメイン内の宛先に文書を送信するときにヘッダーを含めるかどうかを指定するには、システム登録の No.164(LAN 送信ヘッダー) を使います (☛ お知らせ 1)。

お知らせ

1. デフォルトドメイン外の宛先に文書を送信するときには LAN 送信ヘッダーの設定が「ナシ」になっていてもヘッダーを含めて送信されます。

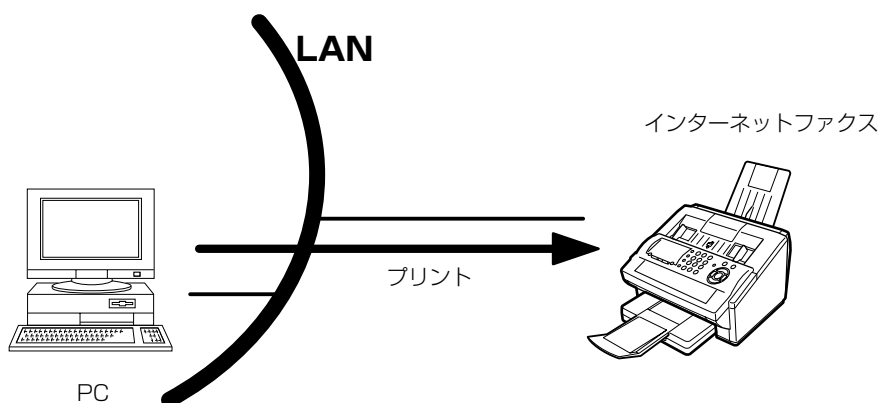
ネットワークプリンター

インターネットファクスをプリンターとしてご利用になれます。

PC の各種アプリケーションで作成した書類を PC からの操作により、LAN に接続したインターネットファクスへプリントすることができます。ただし、ネットワークプリンター機能を利用するためには、ソフトウェア (プリンタードライバーおよび LPR) を下記のホームページからダウンロードするか、または付属 CD-ROM から PC にインストールする必要があります。

プリンタードライバーのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。

ダウンロード可能なホームページ：

http://panasonic.co.jp/pcc/

お知らせ

1. 本機をネットワークプリンターとして使用するためには、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルーター IP アドレスが登録されていなければなりません。

LAN 中継同報

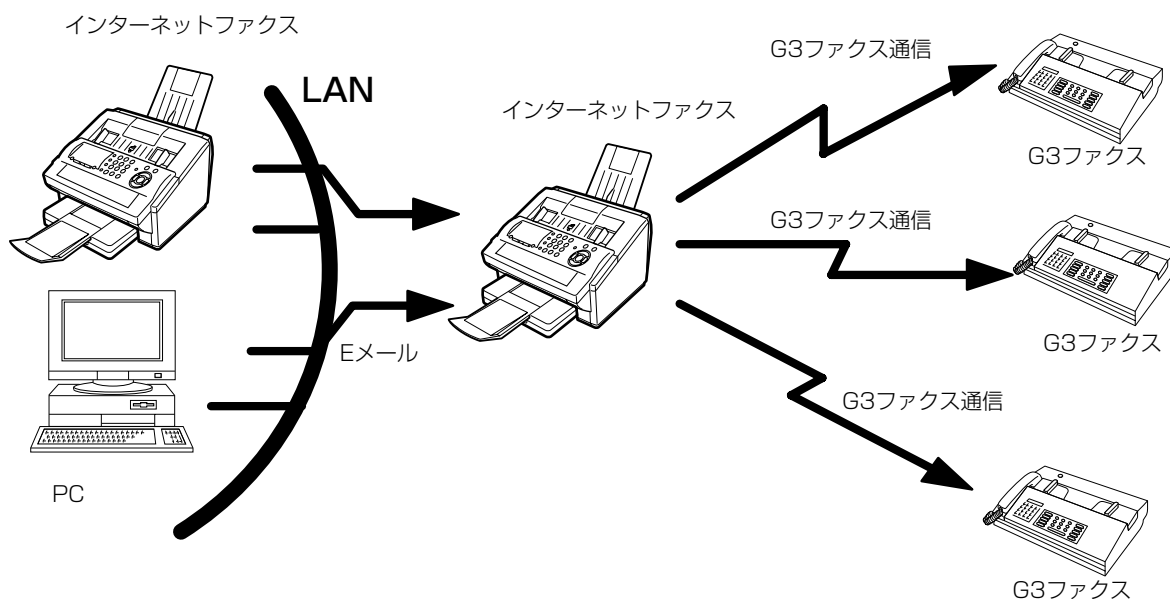
LAN に接続したインターネットファクスや PC から送信したメールを、LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスを経由して、一般回線に接続された複数の G3 ファクスへ同報送信することができます。メールには TIFF-F 形式のファイルを添付することができます。

本機はまた、表計算ソフトなどの各種アプリケーションのデータファイルを TIFF-F 形式のファイルに変換したファイルをメールの添付ファイルとすることができます。

各種アプリケーションのデータファイルを TIFF-F 形式のファイルに変換するには、ソフトウェア（TIFF 変換プログラムおよび MAPI メールリンキング）を下記のホームページからダウンロードするか、または付属 CD-ROM から PC にインストールする必要があります。

各プログラムのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。

ダウンロード可能なホームページ：

http://panasonic.co.jp/pcc/

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

DHCP というのは、インターネットファクスとクライアントの P C に IP アドレスを自動的に割り当てるためのプロトコルです。インターネットファクスは DHCP を使うとネットワークに接続する毎に自動的に固有の IP アドレスを取得でき、ネットワーク管理者の IP アドレス管理の手間が省けるようになります。ネットワークにログオンしたインターネットファクスに対してDHCPサーバーがマスターリストから選んだ IP アドレスを割り当てます。

本機において以下のオプションを可能にするには、DHCP は使わずに、ネットワーク管理者によって設定済の IP アドレスおよび環境設定を使う必要があります。

SMTP 受信
LAN 中継送信
ダイレクト SMTP (ダイレクト IFAX（インターネット FAX）送信)

SMTP 認証

世界規模の電子的なインフラストラクチャーとしてインターネットが登場して以来、通信機器市場は飛躍的に伸びています。しかし、インターネットのセキュリティーを高める技術は、まだ確固としたものが出ていません。この理由はいくつかあります。

1. インターネットメールはマルチホップ（雑多なプロトコル、雑多なデバイス）の構造体であり、通信路をベースとしたセキュリティーは一般的に実現が困難。
2. インターネットファクスの標準規格が推奨する独占的な技術はない。

システムの改善と健全化の標準的なソリューションとして今提供されているのは、暗号技術ベースの認証システムです。この認証技術は SASL（Simple Authentication and Security Layer）のような認証機構に統合されています。

インターネットのサービスプロバイダー (ISP) は、多くが何らかの認証方式を採用しています。

本機が提供する認証オプションは以下の通りです。

1. SMTP 認証拡張サービス (SMTP AUTH) ― 接続時にアカウント名とパスワードによる認証が行われるため、特定ユーザー以外の送信や中継を防止できる方法。
2. APOP 認証サービス（APOP）― E メールの送受信に使われるパスワードを暗号化する方法。
3. POP before SMTP ― 送信前に指定した POP3 サーバーにあらかじめアクセスさせることにより、SMTP サーバーの使用許可を与える方法。

インターネット通信における留意点

インターネットファクスの留意点

インターネットファクスによる通信は基本的にメールと同様で、一般回線用のファクスによる通信とは異なります。

通常のファクス通信と異なる点は以下の通りです。

インターネットファクスと通常のファクスの相異点

通常のファクスは、受話器を取ってダイヤルして送ります。データは電話回線を介して相手側に届きます。回線使用の料金は送信者が負担します。ファクス同士接続されると、同期を取り、画像データを交換します。

一方、インターネットファクスは、メールに似ています。画像データはパケットに分解され、電話回線を介さずにLAN からインターネットへ、もしくはイントラネットへと送信されます。したがって、長距離通話の経費を節減できます。

正常に送信されましたか？

1. インターネット通信はLAN経由でのメールサーバーとの通信となり、直接相手との通信はできません。したがって、何らかの原因で文書が正しく送信できなかった場合にのみ、メールサーバーからエラーメールが返送されます。
2. 相手先の場所、インターネットなどの回線の混み具合、LAN システムの構成にもよりますが、エラーメールが返送されるまで長い時間 (通常 20 ～ 30 分) かかることがあります。
3. メールサーバーの調子により、エラーメールが返送されて来ない場合もあります。重要な書類、緊急を要する書類、またそれに準じる書類を送信される場合には、送信後に必ず電話にてご確認願います。
4. 送信する相手のメールシステムが MIME に対応していない場合、原稿を相手先に正しく送信することができません。また、相手のメールサーバーによってはエラーメールが返送されない場合があります。

お知らせ

1) システム登録の 172(ダイレクト IFAX 送信) が「アリ」に設定されている場合、メールサーバーを経由せずに宛先に送信するように、「ワンタッチ／短縮」で設定することができます。

2) 本機には送達通知機能があります (☛46 ページ)。

登
録
編

インターネット通信における留意点

LAN 経由での電話はできません

電話は一般回線 (PSTN) でのみ使用できます。

デュアルポート通信

本機にはデュアルポート通信機能があります。LAN 経由の通信中でも、一般回線 (PSTN) を使用したファクス通信ができます。

文字サイズ

文字サイズは、PC への送信を考慮して、お買い上げ時の設定を『小さい』にしてあります。

この設定は、使用する原稿に合わせて変更することができます。

インターネットメール受信

1. 本機は、PC からのメールを受信しますが、受信したデータのうち、英数字、ひらがな、カタカナと第 1、2 水準の漢字が記録可能です。
   読み取り不能の文字は " ■ " と表示されます。
2. 受信したフォントや文字の大きさは変更できません。
3. 受信データは、1 ページ約 72 行で出力します。
4. 受信したメールに TIFF-F 形式以外のファイル (Word、Excel、Power Point などのファイル) が添付されていた場合には、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。
5. 受信したメールに TIFF-F 形式の画像ファイルが添付されていた場合には、テキストと画像を別々のページにプリントします。

LAN を介して PC に文書を送信する

メールで文書を送信する場合、TIFF-F 形式の画像ファイルのほかに以下のようなメッセージが宛先に届きます。

「このメールには TIFF-F 形式の画像ファイルが添付されています。TIFF-F 形式画像ファイルのビューアーは以下のホームページからダウンロードできます：

http://panasonic.co.jp/pcc/

LAN 中継通信

LAN 中継局への不正なアクセスを防止するためには、ネットワーク・セキュリティーを設定します。LAN 中継パスワード、中継許可ドメイン名の設定を行ないます。また、LAN 中継通信全てを管理するために、管理者のメールアドレスを登録し通信管理レポートを受け取れるようにします。

自局登録

自局登録について

本機は文書通信の記録のために、基本的な設定を登録することができます (自局登録)。発進元 ID ナンバーを登録すれば、文書送受信者の身元確認に役立ちます。

日付と時刻の登録

待機時には画面に日付と時刻が表示されます。

1

```
トウロク モード      (1-4)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
1:ジキョク トウロク ?
セット デ センタク
```

3 コピー/セット

```
ジコク セット
  ▮002-01-01 00:00
```

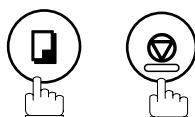
4 新しい日付と時刻を入力する

例：			
②⓪⓪⑤	年	：	2005
⓪③	月	：	３月
①⑤	日	：	15日
①⑤⓪⓪	時刻	：	午後３時

```
ジコク セット
  2005-03-15 15:00
```

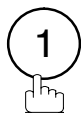
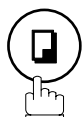
入力を間違えたときには ◀ ▶ を使ってカーソルを移動させ、正しい数字で上書きしてください。

5 コピー/セット ストップ

登録編

発信元の登録

発信元を登録しておくと、宛先に届いた原稿の先端に発信元を印刷することができます。

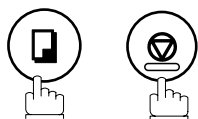
1

2

3 発信元の画面になるまで繰り返し押す

4 文字ボタンを使って、発信元を入力する
(最大 25 文字まで)(☛237 ページ)

例:「パナソニック」を入力する。

入力を間違えたときには◀ ▶を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、クリアー を押してから正しい文字を入力し直してください。
20 文字以上入力された場合、左端の文字から順にスクロールして画面から消えます。

5

文字 ID の登録

通信をしたときに、相手のディスプレイにこちらの会社名などを表示させることができます。

1

7

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
1: ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3

コピー/セット

文字 ID の画面になるまで繰り返し押す

```
ﾓｼﾞ ID           <ｶﾅ
▮
```

4

文字ボタンを使って、お客様の文字 ID を入力する（最大 16 文字まで）（☛237 ページ）

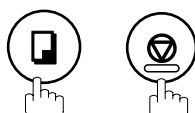
```
ﾓｼﾞ ID           <ｶﾅ
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ▮
```

例：「パナソニック」を入力する。

入力を間違えたときには◀ ▶を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、クリアー を押してから正しい文字を入力し直してください。

5

コピー/セット　ストップ

登録編

お知らせ

1. 特殊文字は文字 ID として使用できません。

数字 ID(ファクス番号) の登録

相手先のディスプレイに電話番号などを表示させることができます。

お客様のファクス番号を本機の数字 ID として登録することをお勧めします (最大 20 字まで)。

1

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ        (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

1

```
1:ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3

コピー/セット

数字 ID の画面になるまで繰り返し押す

```
ｽｳｼﾞ ID
▮
```

4

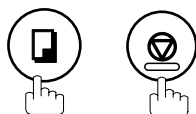
テンキーボタンと空白文字を入れるための スペース を使って、お客様の数字 ID を入力する (最大 20 字まで)

例：「201 555 1212」を入力する。

入力を間違えたときには ◀ ▶ を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、クリアー を押してから正しい文字を入力し直してください。

```
ｽｳｼﾞ ID
201 555 1212▮
```

5

コピー/セット　ストップ

お知らせ

1. 国別コードの入力で "+" を入力するには ✱ を使ってください。

例：+1 201 555 1212　　+1 はアメリカ合衆国の国別コード。
+81 3 111 2345　　+81 は日本の国別コード。

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

自局情報（インターネットパラメーター）の登録設定

設定開始前に 188 ページ「インターネットに接続するための事前準備」のコピーに所定の事項を記入し、ご用意願います。インターネットファクスをお使いになるには、以下の基本的なパラメーター 5 つを本機に事前に登録しておく必要があります。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲイトウェイ IP アドレス
- SMTP サーバー名もしくは IP アドレス
- メールアドレス

お知らせ： 本機が接続されるネットワークにおいて DHCP サーバーが利用可能な場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルーター IP アドレスは自動的に取得されます。

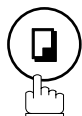
4 テンキーボタンを使って IP アドレスを入力する

ドット "." を入力するには [P2] または ✱ を押してください (☛ お知らせ 3)。

例：「123.178.240.3」を入力する。

IP ｱﾄﾞﾚｽ
123.178.240.3

登録編

5 コピー/セット

サブネット マスク
▮

続けて自局情報の登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

お知らせ

1. 手順 3 の自局登録において、目的の項目に移動するには ▼ または ▲ を押して画面をスクロールさせてください。
2. DNS サーバーが利用できない場合には、システム登録 No. 161(DNS サーバー) の設定を「ナシ」に変更し、代りに IP アドレスを入力してください。
3. IP アドレスを入力するときにドット "." を入れるには [P2] または ✱ を押してください。

自局情報の種類（インターネットパラメーター）

LANの構成次第により、最初に下記のパラメーターを適切に設定する必要があります (☛182～189ページ)。

	パラメーター	説明
1	時刻セット	現在の日付と時刻です。
3	発信元	最大 25文字までです。
4	文字 ID	最大 16文字までです。
5	数字 ID	本機のファクス番号です (最大 20 字まで)。
6	(MACアドレス)	ネットワークでホスト識別のために設定されるハードウェアアドレスです (必要な場合 ファンクション ⑥ ④ セット を押すと自局情報リストがプリントアウトされます)。
7	IP アドレス	ネットワーク管理者もしくはDHCPサーバーによって割り当てられたIPアドレスです。
8	サブネットマスク	ネットワーク管理者もしくはDHCP サーバーによって割り当てられたサブネットマスクです。
9	デフォルトルーター IP アドレス	ネットワーク管理者もしくは DHCP ADDR サーバーによって割り当てられたデフォルトゲイトウェイ IP アドレスです。
10	DNS サーバー 1IP アドレス	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスです。DNS サーバーがご利用になれない場合はシステム登録の No.161(DNS サーバー) を「ナシ」に変更し、代りに IP アドレスを入力してください。
11	DNS サーバー 2IP アドレス	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスです。
12	メールアドレス 1	本機に割り当てられたメールアドレス (最大 60 文字まで) です。
13	メールアドレス 2	本機に割り当てられたメールアドレス 2(最大 60 文字まで) です。
14	メールサーバー名 1	SMTP メールサーバーの名称 (最大 60 文字まで) です。
15	SMTP 認証名 1	SMTP メールサーバーの IP アドレスです。
16	SMTP 認証パスワード 1	本機に割り当てられたパスワード (最大 10 文字まで) です。
17	メールサーバー名 2	SMTP メールサーバーの名称 (最大 60 文字まで) です。
18	SMTP 認証名 2	SMTP メールサーバーの IP アドレスです。
19	SMTP 認証パスワード 2	本機に割り当てられたパスワード (最大 10 文字まで) です。
20	POP サーバー名 1	POP メールサーバーの名称 (最大 60 文字まで) です。
21	POP サーバー IP アドレス 1	POP メールサーバーの IP アドレスです。
22	POP ユーザー名 1	本機に割り当てられた POP ユーザー名 (最大 40 文字まで) です。
23	POP パスワード 1	本機に割り当てられたパスワード (最大 10 文字まで) です。
24	POP サーバー名 2	POP メールサーバーの名称 (最大 60 文字まで) です。
25	POP サーバー IP アドレス 2	POP メールサーバーの IP アドレスです。
26	POP ユーザー名 2	本機に割り当てられた POP ユーザー名 (最大 40 文字まで) です。
27	POP パスワード 2	本機に割り当てられたパスワード (最大 10 文字まで) です。
28	ホスト名	本機のホスト名 (最大 60 文字まで) です。
29	デフォルトサブジェクト	メールの件名に自動挿入されるデフォルトの情報 (最大 40 文字まで) です。この情報を手動で変えるには、システム登録の No. 159(サブジェクト登録) を「アリ」に設定します。

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

	パラメーター	説明
30	デフォルトドメイン	送信されようとしているメールアドレスが SMTP 標準からして不完全な場合に使用されるドメイン名です。メールアドレスに自動的に付加されます。これは手動でメールアドレスを入力する場合にも役立ちます (最大 50 文字まで)。
31	セレクトドメイン	ドメイン名を 10 個まで登録できます。手動でメールアドレスを入力する際に "@" 入力後に (01) ～ (10) で選択できます (最大 30 文字まで)。
32	リモート　パスワード	セキュリティーパスワード。インターネットパラメーターやオートダイアラー、あるいはメールによる通信管理レポートの取得について、リモート・プログラミングを可能にします (最大 10 文字まで)。
33	LAN 中継用パスワード	中継局 (G3 中継専用) にネットワーク・セキュリティーをもたらすパスワード (最大 10 文字まで) です。
34	管理者メールアドレス	LAN 中継送信状況モニターと通信費用管理のための、管理者用メールアドレスです (最大 60 文字まで)。
35	中継許可ドメイン名	中継送信要求のために本機インターネットファクスにアクセスすることを許可されているドメイン名を 10 個まで入力できます (最大 30 文字まで)。
36	コミュニティー名 (1)、(2)	ネットワーク・デバイス・ロケーターが使用するコミュニティー名です。(01) ～ (02)
37	デバイス名	ネットワーク・デバイス・ロケーターが使用するデバイス名です。
38	デバイスロケーション	ネットワーク・デバイス・ロケーターが使用するデバイス・ロケーションです。

* ネットワーク管理者にお問い合わせください。

メール経由でのパラメーター設定 / 検索

メールリモート登録

この機能では、PC から本機へ E メールを送信することにより、自局情報のインターネットパラメーター、ワンタッチ、短縮ダイヤル、通信管理レポート等の登録もしくは内容の取り出しを簡単に行うことができます。この機能を利用するには、あらかじめシステム登録の「158　メールリモート登録」を「アリ」に変更してください。(☛244 ページ)

件名 "Subject" をコマンドラインフィールドとして利用することにより、本機は次の表のコマンドを処理することが出来ます。

	Subject 行に書き込むコマンド	働き
1	#set parameters(password)#	インターネット・パラメーターの登録
2	#get parameters(password)#	インターネットパラメーターの取り出し
3	#set abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの登録
4	#get abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの取り出し
5	#get jnl(password)#	通信管理レポートの取り出し

- "password" は本機の自局情報の登録設定項目に登録されたリモートパスワード(例：123456789)のことです。パスワードの両端はカッコ "()" で囲まなければなりません。
- コマンドの両端は # で囲んでください。
- コマンドラインは半角文字で入力してください。
- get または set の後に半角のブランクを入力してください。

登録編

インターネットパラメーターのメールリモート登録

この機能では、PC から本機へ E メールを送信することにより便利にしかも簡単にインターネットパラメーターを設定することができます。

次のパラメーターが、PC からリモートで登録できます。その他のパラメーターは、本体側で自局情報の登録をしなければなりません。

- 発信者 (FROM) 選択 (最大 24 までのユーザー名)(☛244 ページ)
- デフォルトドメイン
- セレクトドメイン (最大 10 個まで登録可能)
- リモート・パスワード
- 管理者メールアドレス
- LAN 中継パスワード
- 中継許可ドメイン (リレー送信指示が許可されているドメインを最大 10 個まで登録可能)
- コミュニティー名
- デバイス名
- デバイス・ロケーション

本機は、PC による E メールの件名 "Subject" に入力されたコマンドを解析し、インターネットパラメーターの登録または取り出しを実行します。

- データの登録をするには :#set parameters(password)# と入力します。(set の後には半角ブランクを入力してください。)
  パスワードは、本機のインターネットパラメーター（自局登録）で設定したリモートパスワードです。(例 :1234567879)
  このコマンドラインは、初めてご利用になる場合を想定していますので、すでにデータが設定されている場合は使用しないでください。現在の設定値は削除され上書きされてしまいます。その場合は、213 ページに説明する取り出しを最初に実行してください。
- データの取り出しをするには :#get parameters(password)# と入力します。(get の後には半角ブランクを入力してください。)

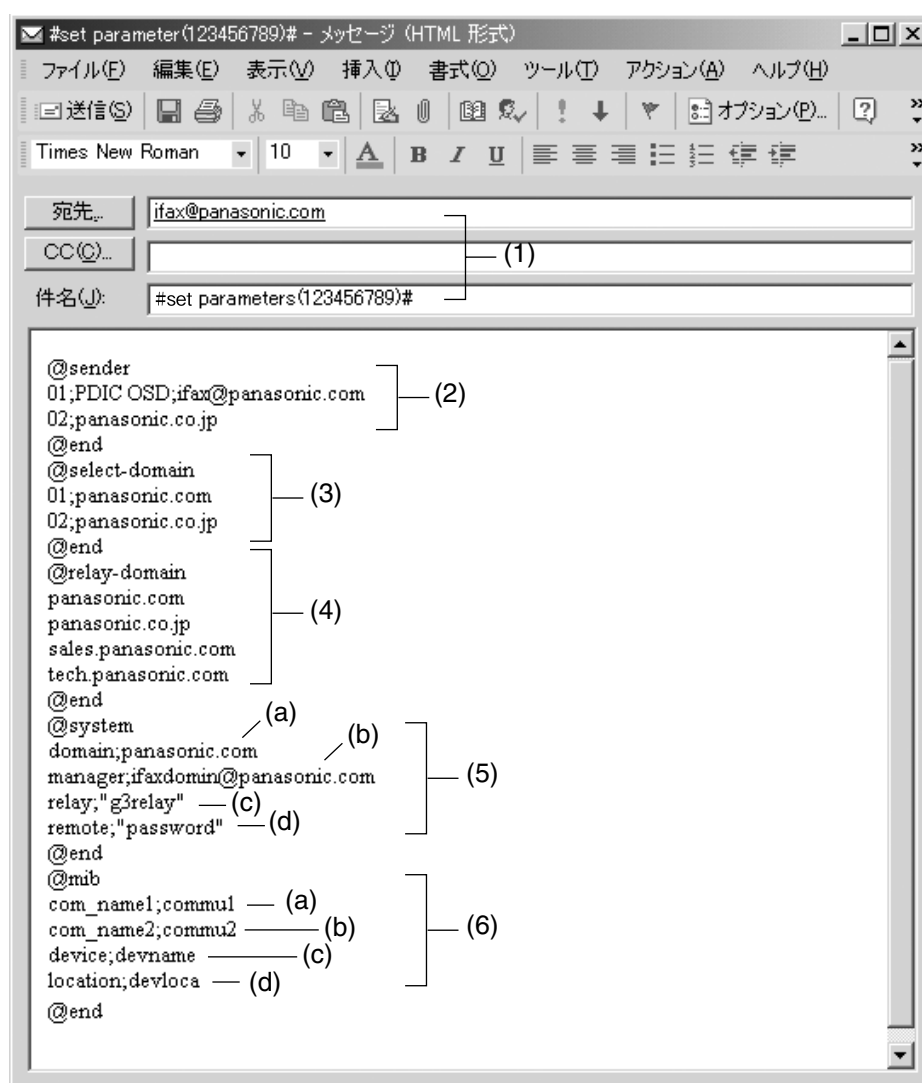
お知らせ

1. 本機は、PC からの E メールを受信しますが、受信したデータの内、英数字、ひらがな、カタカナと第 1 、2 水準の漢字が記録可能です。

インターネットパラメーターを初めて登録する

E メール本文にテキストで記述し本機のメールアドレスへ送信します。件名 "Subject" コマンドラインは次の通りです。

#set parameters(password)#
ここでいうパスワードは本機のインターネットパラメーター（自局情報）にあるリモートパスワードのことです。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。set の後には半角ブランクを入力してください。

お知らせ
すでに登録済みデータがある場合は、現在の設定値が上書きされてしまいますので、上記のコマンドを実行しないでください。まず最初に、インターネットパラメーター（自局情報）の取り出しと編集（213～218 ページ）を行って、バックアップした後に実行してください。

(1) 宛先 (To)	:	本機のメールアドレス
差出人 (From)	:	新規メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

メール経由でのパラメーター設定 / 検索

件名 (Subject) : データを登録するには #set parameters (password)# と記述してください。
(set の後には半角ブランクを入力してください。)

(2) @sender ～ @end : 発信者（FROM ）情報を (2) の @sender ～ @end の間に記述します。
24 個以内で発信者選択用ユーザー名称、メールアドレスを登録します。
各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン (;) を挿入します。
各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。
構文は＜発信者選択番号＞；＜ユーザー名称＞；＜メールアドレス＞
(a) 01 ～ 24 ：発信者選択番号の表示
(b) ユーザー名称（カナ英数字 20 文字）
(c) メールアドレス（最大 60 桁）

(3) @select-domain ～ @end : 設定されているセレクトドメイン名を (3) の @select-domain ～ @end の部分へ記述します。
最大１０個までのセレクトドメイン名を表示します。（最大３０文字）
構文は＜番号＞；＜ドメイン名＞

(4) @relay-domain ～ @end : 中継許可ドメイン名を (4) の @relay ～ @end の部分へ記述します。
中継局のドメイン名を最大 10 個まで登録します。

(5) @system ～ @end : インターネットパラメーターを ((4)の @system ～ @end の部分へ設定します。
登録するインターネットパラメーターは次の通りです。
(a) デフォルトドメイン（最大 50 桁）
　構文は domain ；＜デフォルトドメイン＞
(b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁）
　構文は manager ；＜管理者のメールアドレス＞
(c) 中継用パスワード（最大 10 文字）
　構文は relay ；＜中継用パスワード＞
　例にならって "" で中継用パスワードを囲む必要があります。
(d) リモートパスワード（最大 10 桁）
　構文は remote ；＜リモートパスワード＞
　例にならって "" でリモートパスワードを囲む必要があります。

(6) @mib ～ @end : @mib から @end　までの区画で、設定する MIB です。以下のインターネット・パラメーターを登録して下さい。
(a) コミュニテイ名 (1)(最大 32 文字)
　構文：com_name1;< コミュニティー名 (1)>
(b) コミュニテイ名 (2)(最大 32 文字)
　構文：com_name2; < コミュニティー名 (2)>
(c) デバイス名 (最大 32 文字)
　構文：device;< デバイス名 >
(d) デバイス位置 (最大 32 文字)
　構文：location;< デバイスロケーション >

お知らせ

1.「ユーザー名称」以外は半角文字で入力してください。

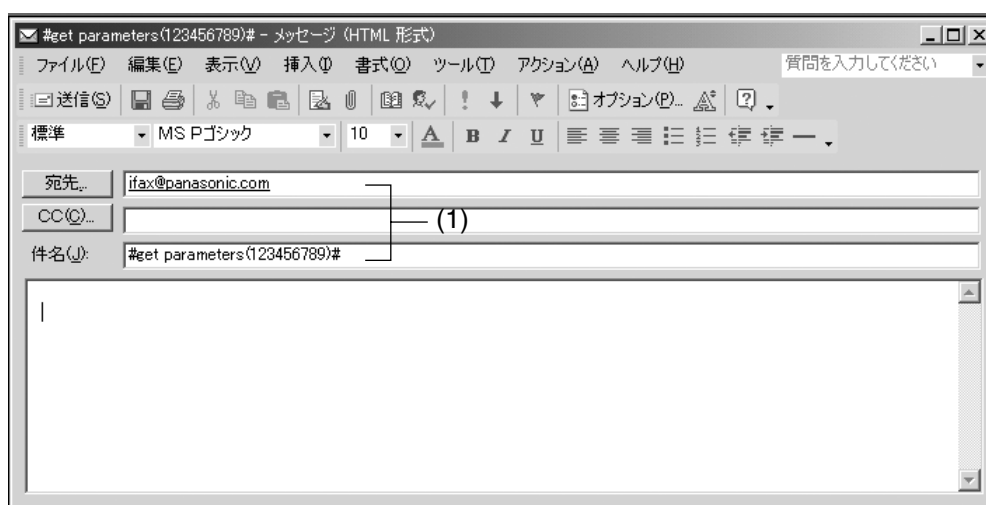
2. 以下の場合、E メール経由での登録はできません。
·通信予約がある場合
·LAN ボードが動作中の場合

3. ご利用のメールアプリケーションによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、一行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

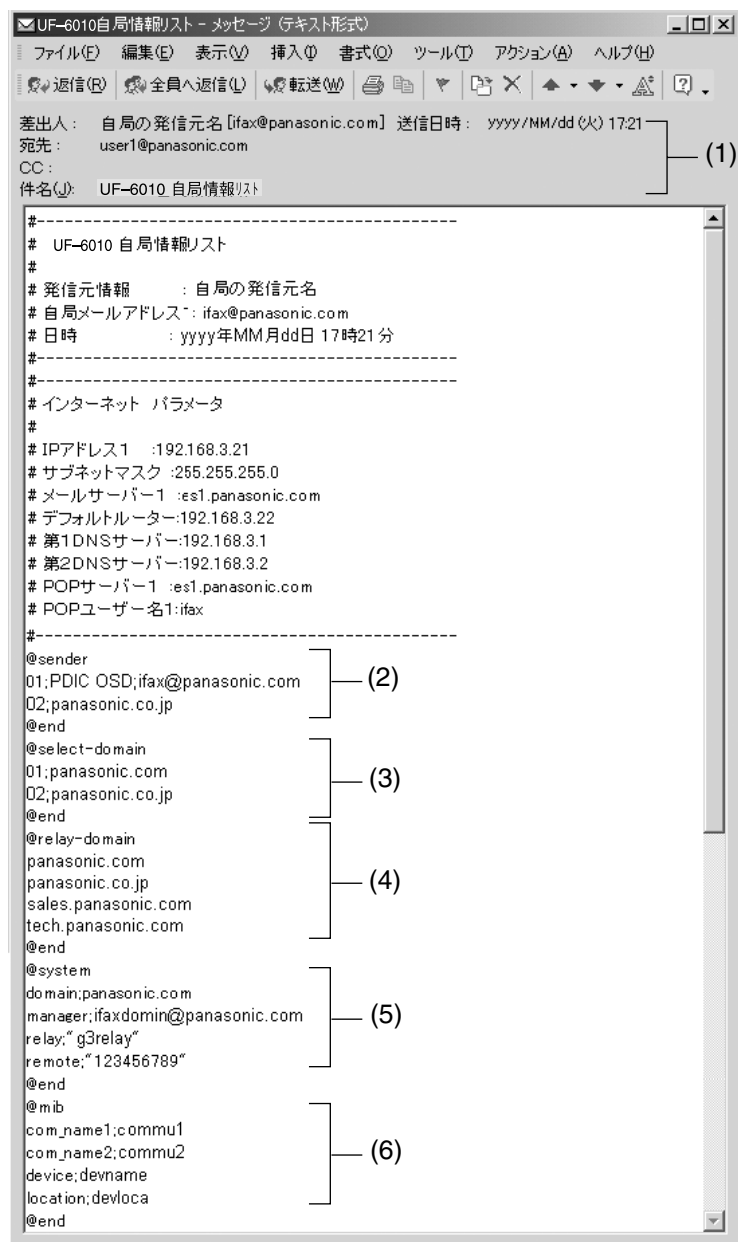
インターネットパラメーターの取り出し

現在のインターネットパラメーターの取り出しをするには、本機のメールアドレスへ、以下に示すコマンドラインを件名 "Subject" に記述してテキストメールを送信します。

#get parameters(password)#
パスワードは、本機のインターネットパラメーター（自局情報）へ登録されたリモートパスワードのことです。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。CC 、Bcc などの欄は空欄で送信してください。get の後には半角ブランクを入力してください。

インターネットパラメーター（自局情報）の E メール例

(1)	宛先 (To)	:	本機のメールアドレス
	差出人 (From)	:	新規のメールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルトメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
	件名 (Subject)	:	データの取り出しをするには #get parameters(password)# と記述してください。(get の後には半角ブランクを入力してください。)

インターネットパラメーターの取り出し要求を受信した後、本機は "From" の内容を参照して E メールにてインターネットパラメーターをテキストメッセージとして返信します。

インターネットパラメーター E メール例

(1)	宛先 (To)	:	PC のメールアドレス
	差出人 (From)	:	本機のメールアドレス
	件名 (Subject)	:	自局情報リスト
(2)	@sender ～ @end	:	発信者情報を (2) の @sender ～ @end の部分へ表示します。 登録された 24 個以内の発信者選択用ユーザー名、メールアドレスを表示します。
(3)	@select-domain ～ @end	:	設定されているドメイン名を (3) の @select ～ @end の部分へ表示します。 最大 10 個までのインターネット FAX から一般の FAX へ中継送信を許可するドメイン名を表示します。
(4)	@relay-domain ～ @end	:	ドメイン名を (4) の @relay@end の部分へ表示します。 中継局のドメイン名を最大 10 個まで登録します。
(5)	@system ～ @end	:	設定されているインターネットパラメーターを (5) の @system ～ @endの部分へ表示します。 (a) デフォルトドメイン (b) 管理者用メールアドレス (c) 中継用パスワード (d) リモートパスワード
(6)	@mib ～ @end	:	各設定されている MIB (Management Information Base) 情報を (6) の @mib ～ @end の部分へ表示します。 (a) コミュニテイ名 (1) (b) コミュニテイ名 (2) (c) デバイス名 (d) デバイスロケーション

バックアップ用または取り出したインターネットパラメーターの編集

インターネットパラメーターを取り出した後、バックアップの目的でテキスト形式（.txt）のファイルで保存します。

インターネットパラメーターの変更を行うには以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、宛先、差出人、件名の各欄へ (1) のように記入します。

宛先 (To)	:	本機のメールアドレス
差出人 (From)	:	新規メッセージを作成する時は表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトのメールアドレスが入ります。
件名 (Subject)	:	データ登録のためには #set parameters(password)# と記述してください。(set の後には半角ブランクを入力してください。)

2. バックアップされたインターネットパラメーターのテキストファイルを開いて、新規メッセージの本文へ貼り付けます。
3. エラーにならないように、E メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#" に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。
4. 設定内容の編集を行います。
5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存を選択して、拡張子 .txt でバックアップ用として保存してください。
6. 編集されたインターネットパラメーターを本機へ E メールにて送信します。

本機のインターネットパラメーター E メール例

登録編

メール経由でのパラメーター設定 / 検索

(1) 宛先 (To) : 本機のメールアドレス

差出人 (From) : 新規メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

件名 (Subject) : データを登録するには #set parameters(password)# と記述してください。(set の後には半角ブランクを入力してください。)

(2) @sender ～ @end : 発信者（From ）情報を (2) の @sender ～@end の間に記述します。
24 個以内で発信者選択用ユーザー名称、メールアドレスを登録します。
各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン (;) を挿入します。
各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。
構文は＜発信者選択番号＞ ; ＜ユーザー名称＞ ; ＜メールアドレス＞
(a) 01 ～24 ：発信者選択番号の表示
(b) ユーザー名称（カナ英数字 20 文字）
(c) メールアドレス（最大 60 桁）

(3) @select-domain～ @end : select ドメイン名を (3) の @select-domain ～ @end の部分へ記述します。
インターネット FAX から一般 FAX へ中継送信を許可するドメイン名を最大 10 個まで登録します。

(4) @relay-domain ～ @end : 中継許可ドメイン名を(4)の@relay-domain ～ @endの部分へ記述します。LAN 中継通信を許可するドメイン名を 10 件まで登録できます。（最大 30 桁）

(5) @system ～ @end : インターネットパラメーターを (4) の @system ～@end の部分へ設定します。
登録するインターネットパラメーターは次の通りです。
(a) デフォルトドメイン（最大 50 桁）
  構文は domain: ＜デフォルトドメイン＞
(b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁）
  構文は manager: ＜管理者のメールアドレス＞
(c) 中継用パスワード（最大 10 文字）
  構文は relay: ＜中継用パスワード＞
  例にならって " " で中継用パスワードを囲む必要があります。
(d) リモートパスワード（最大 10 桁）
  構文は remote: ＜リモートパスワード＞
  例にならって " " でリモートパスワードを囲む必要があります。

(6) @mib ～ @end : MIB 情報を @mib ～ @end の部分へ記述します。
(a) コミュニテイ名 (1)(最高 32 文字)
構文：com_name1;<Community Name(1)>
(b) コミュニテイ名 (2)(最高 32 文字)
構文：com_name2; <Community Name(2)>
(c) デバイス名 (最高 32 文字)
構文：device;<Device Name>
(d) デバイスロケーション (最高 32 文字)
構文：location;<Device Location>

(7) : 本機へメールを送信してインターネットパラメーターを再設定する前に、このヘッダーを削除する必要があります。"#" に続く情報は、本機は無視します。そのままの状態で残すか、削除することができます。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのメールリモート登録

この機能を使用して、ご使用の PC から本機へ E メールを送信することにより、ワンタッチと短縮ダイヤルの変更、バックアップ、または再設定を簡単に行うことができます。

本機は、PC による E メールの件名 "Subject" の行に入力されたコマンドを解析し、ワンタッチまたは短縮ダイヤルの登録または取り出しを実行します。

E メールの件名 "Subject" の行には、次の 2 種類のコマンドを入力できます。

1. データを設定するには、#set abbr(password)# と入力します。set の後には半角ブランクを入力してください。
   このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです (例 : 123456789)。このコマンドを初めて使用するときは、未使用のワンタッチ／短縮ダイヤルを自由に設定できます (その前にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータリストを受信する必要はありません)。希望のワンタッチ／短縮ダイヤルにすでにデータが登録されている場合は、このコマンドを送信すると、既存の設定値が上書きされます。したがって、既存のワンタッチ／短縮ダイヤルを編集する場合は、このコマンドではなく、以下に説明する受信コマンドを使用することをお勧めします（224 ～ 225 ページ）。

2. データを受信するには、#get abbr(password)# と入力します。g et の後には半角ブランクを入力してください。

お知らせ

1. この機能を有効にするには、システム登録の No.158 （メールリモート登録）を「アリ」に変更する必要があります（☛244 ページ）

ワンタッチ／短縮ダイヤル全体の削除

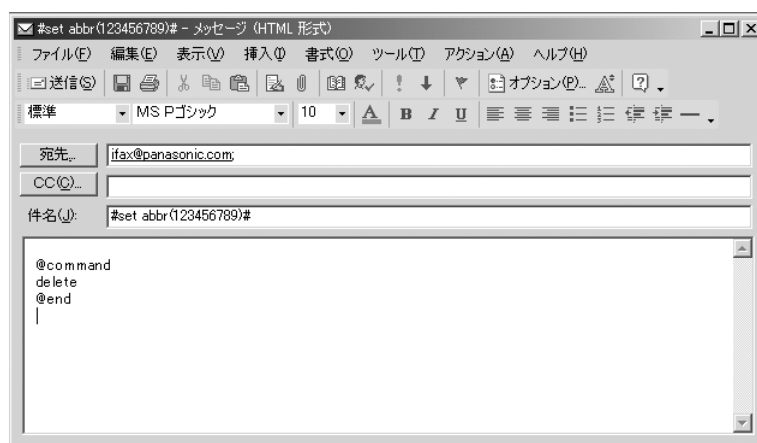
本機のワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除する場合は、E メールの本文に以下のコマンドを入力します。

@command
delete
@end

このコマンドを @begin ～ @end ブロックの前に挿入して、ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除し、新しいデータでワンタッチ／短縮ダイヤルを再設定することもできます。

この方法を使用すれば、本機から返信される E メールに「上書き警告メッセージ」は表示されません。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除するには、E メールの件名 ""Subject" の行に以下のコマンドを入力します。

#set abbr(password)#
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです。(set の後には半角ブランクを入力してください。) このコマンドを送信する前に、224 ～ 228 ページで説明するデータの取り出しと編集の手順に従って、PC への既存データの受信とバックアップを実行してください。

お知らせ

1. “delete ” を行った場合、ワンタッチボタンの内容は削除され、お買い上げ時の状態となります。

ワンタッチ／短縮ダイヤルをはじめて登録する

E メールの本文にテキストで記述し、本機のメールアドレスに送信します。E メールの件名 "Subject" の行に、次のように入力します。

#set abbr(password)#
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです。(set の後には半角ブランクを入力してください。)

ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めて登録する場合の記述例を以下に示します。

ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めてリモート登録する場合の記述例

内容説明

(1) 宛先 (To) : 本機のメールアドレス

差出人 (From) : 新規メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

件名 (Subject) : データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。(set の後には半角ブランクを入力してください。)

(2) @list ～ @end : @list と @end の間に @begin ～@end の中に記述する内容を指定します。

(a) entry-number: 登録番号（必ず記述してください）
(b) station-name: 宛先名称（必要なとき入れます）
(c) station-address: メールアドレスまたは電話番号（必ず記述してください）
(d) routing-subaddress: ルーティングサブアドレス（必要なとき入れます）
(e) routing-id-number: ルーティング ID 番号（必要なとき入れます）
(f) routing-hatuid : ルーティング発信者番号（必要なとき入れます）
(g) routing-dialin: ルーティングダイヤルイン（必要なとき入れます）
(h) server-no; サーバー番号（必要なとき入れます）

(3) @begin ～ @end : @begin ～@end の間にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記述します。

各データフィールドの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン (;) を挿入します。

各記述データは、単一行で完結する必要があります。

@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @list ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次の通りになります。

＜登録番号＞ ; ＜宛先名称＞ ; ＜宛先のアドレス＞ ; ＜ルーティングサブアドレス＞ ; ＜ルーティング数字 ID ＞ ; ＜ルーティング発信者番号＞ ; ＜ルーティングダイヤルイン＞ ; ＜サーバー番号＞ ;

(a) 登録されるワンタッチ、短縮ダイヤルまたはプログラムボタン
001 から 100: 001 から 100 までの短縮ダイヤル番号を示します。
1001 から 1028: 01 から 28 のワンタッチを示します。
2001 から 2004: プログラムボタンを示します。
(b) 宛先名称 : 登録される宛先名称（カナ英数字 20 文字）
(c) 宛先のアドレス : メールアドレスまたは電話番号（最大 60 桁）
(d) ルーティングサブアドレス : ルーティングに使用されるサブアドレス。（最大 20 桁）
(e) ルーティング ID 番号 : ルーティングに使用される数字 ID 番号。（最大 20 桁）
またシステム登録「178 デュアルサーバー」が「アリ」のとき、メールアドレス2、メールサーバー2が登録されていれば以下を設定することができます。
(f) 発信者番号 : 最大 20 桁
(g) モデムダイヤルイン番号 : 最大 20 桁
(h) サーバー番号 : s1 : サーバー 1、s2 : サーバー 2
(i) 電話番号の場合、シャープ記号 (#）の後に入力します。

(4) @program ～ @end : @program と@end の間にグループダイヤルまたはPOP 手動受信キーとして登録されるワンタッチのデータを記述します。

(a) プログラム・ボタン P01-P04

(b) グループボタン名 : プログラム中のプログラムボタン名 (最大 15 英数字)

(c) GROUP: グループダイヤルボタンとしてのプログラムボタンを設定するための構文です。

(d) 登録番号 : プログラムするべきワンタッチ / 短縮番号または、プログラムボタンです。

001 から 100: 短縮ダイヤル番号 001 から 100 までを表示します。(最大 100 宛先)

1001 から 1028: 01 から 28 のワンタッチを表示します。

2001 から 2004: プログラムボタンを表示します。

(e) POP: プログラムボタンを POP アクセスボタンとして設定するのに用いる構文です。

(f) POP ユーザ名 : 登録される POP ユーザー名 (最大 40 桁の英数字)

(g) POP パスワード :POP パスワード (最大 10 桁の英数字)

(h) メールの受信後に POP サーバー上のメールを削除するかどうかを設定します。(off: 削除しません、on: 削除します)

お知らせ

1. POP ユーザーが P1 から P4 に登録されているときは、削除コマンドを実行しても削除できません。

2.「宛先名称」以外は半角文字で入力してください。

3. 以下の場合、E メール経由での登録はできません。
   - 通信予約がある場合
   - LAN ボードが動作中の場合

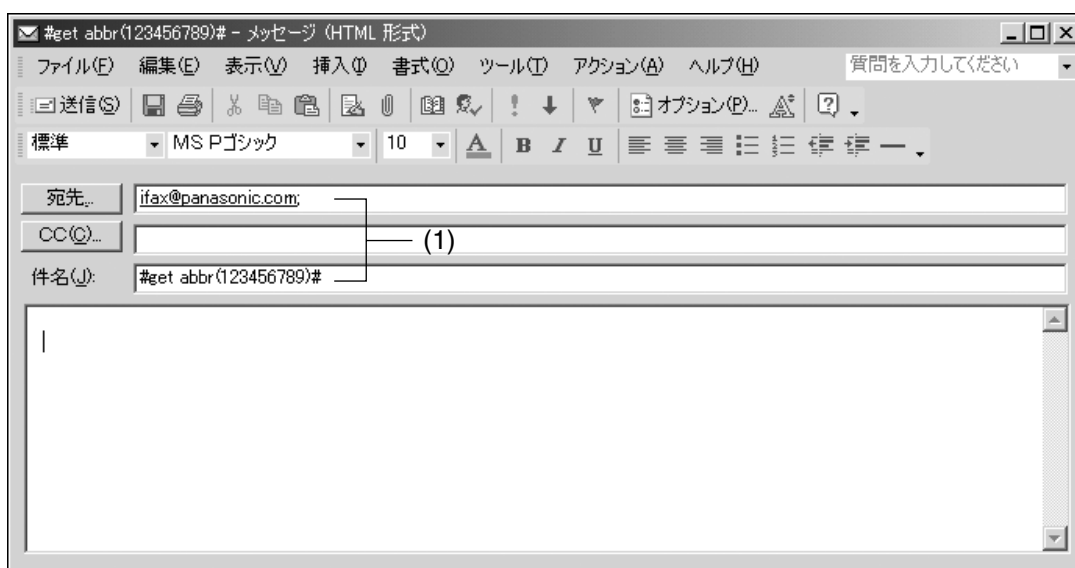
4. E メールで登録を行った後、登録結果のメールが返信されます。

5. ご利用のメールアプリケーションによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、一行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

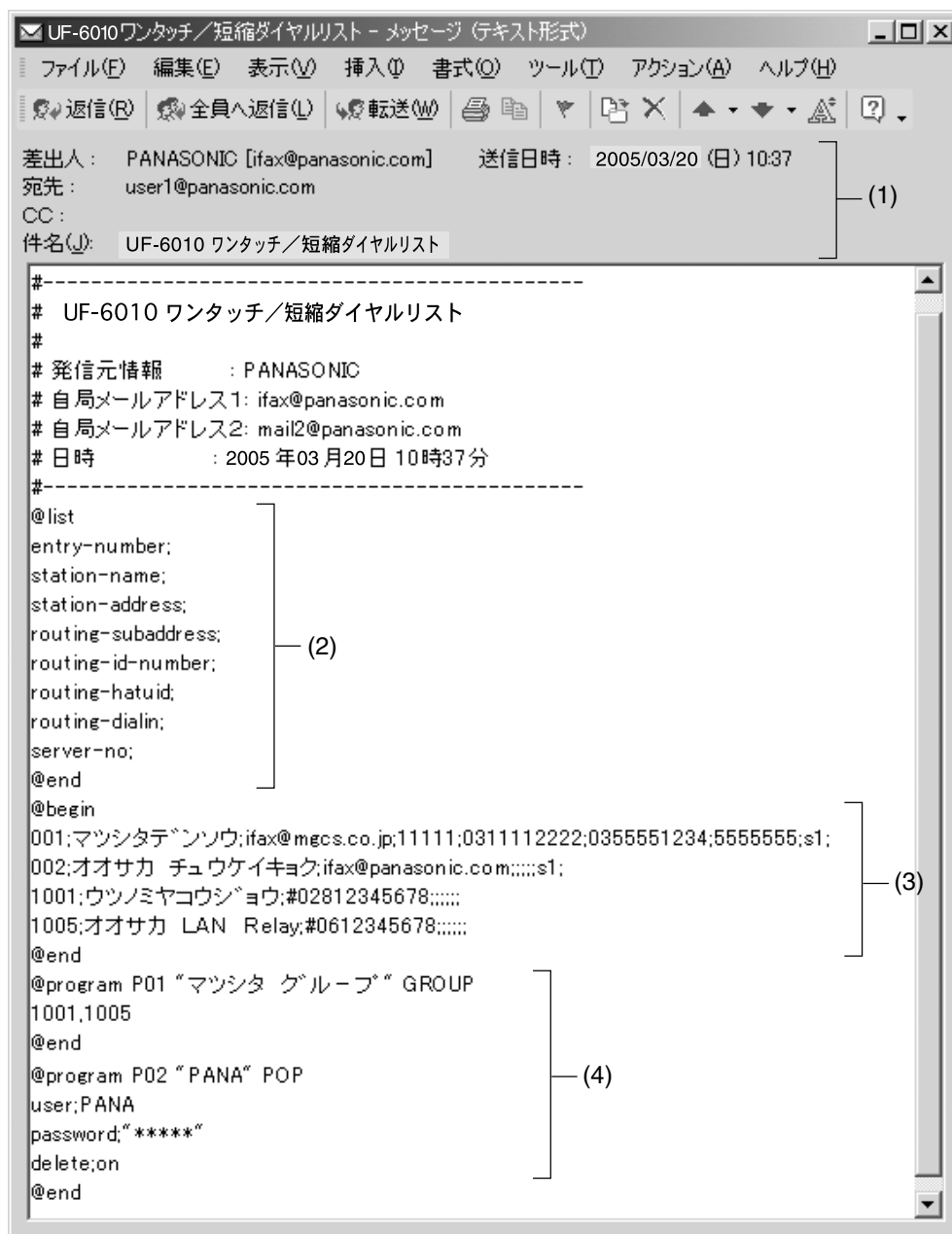
ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出し

現在のワンタッチ／短縮ダイヤル取り出しをするには、件名 "Subject" に以下のコマンドを入力した E メールを、本機のメールアドレスに送信します。

#get abbr(password)#
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです (例 :123456789)。
CC 、Bcc と E メールの本文は空欄にしてください。(get の後には半角ブランクを入力してください。)

ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出しをする場合の電子メールの例

(1) 宛先 (To) : 本機のメールアドレス
差出人 (From) : 新規のメールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject) : データの取り出しをするには、#get abbr(password)# と入力します。

現在のワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出しを要求する E メールの受信後、本文にワンタッチ／短縮ダイヤルの情報が記述された E メールを、" 差出人 :" の行で指定されたアドレスに返信します。

本機のワンタッチ／短縮ダイヤルの E メール例

(1)	宛先 (To)	:	PC のメールアドレス。
	差出人 (From)	:	本機のメールアドレス
	件名 (Subject)	:	ワンタッチ／短縮ダイヤルリスト
(2)	@list 〜 @end		(2) の部分の @list と @end の間に、@begin 〜 @end で使用している構文を表示します。
(3)	@begin 〜 @end	:	(3) の部分の @begin と @end の間に、本機に登録されている、ワンタッチ／短縮ダイヤルを表示します。
(4)	@program 〜 @end	:	(4) の部分の @program と @end の間に、本機にグループダイヤルまたは POP 手動受信として登録されているワンタッチを表示します。

バックアップまたは取り出しをしたワンタッチ／短縮ダイヤルの編集

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記録した E メールを本機から受信した後、バックアップのために、その E メールをテキストファイル (.txt) として PC 上に保存してください。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを変更するには、以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、宛先、差出人、件名 の各欄へ (1) のように記入します。

宛先 (To)	:	本機のメールアドレス
差出人 (From)	:	新規メッセージを作成する時は表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトのメールアドレスが入ります。
件名 (Subject)	:	データの登録のためには、#set abbr(password)# と記述してください。(set の後には半角ブランクを入力してください。)

2. バックアップされたワンタッチ／短縮ダイヤルのテキストファイルを開いて、新規メッセージの本文へ貼り付けます。
3. エラーとならないように、E メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#" に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。
4. ワンタッチ／短縮ダイヤルの編集を行います。
5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存して、拡張子 .txt でバックアップ用として保存してください。
6. 編集されたワンタッチ／短縮ダイヤルを本機へ E メールにて送信します。

ワンタッチ／短縮ダイヤルの電子メールのサンプル

(1) 宛先 (To) : 本機のメールアドレス

差出人 (From) : 新規メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

件名 (Subject) : データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。(set の後には半角ブランクを入力してください。)

(2) @list ～ @end : @list と @end の間に @begin ～ @end の中に記述する内容を指定します。
(a) entry － number：登録番号（必ず記述してください）
(b) station － name：宛先名称（必要なとき入れます）
(c) station － address：メールアドレスまたは電話番号（必ず記述してください）
(d) routing － subaddress：ルーティングサブアドレス（必要なとき入れます）
(e) routing － id － number：ルーティング ID 番号（必要なとき入れます）
(f) routing-hatuid：ルーティング発信者番号（必要なとき入れます）
(g) routing-dialin：ルーティングダイヤルイン（必要なとき入れます）
(h) server-no;：サーバー番号（必要なとき入れます）

(3) @begin ～ @end : @begin ～ @end の間にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記述します。
情報を編集、削除します。
各データフィールドの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン (;) を挿入します。
各記述データは、単一行で完結する必要があります。
@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @list ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次の通りになります。
＜登録番号＞;＜宛先名称＞;＜宛先のアドレス＞;＜ルーティングサブアドレス＞;＜ルーティング数字 ID ＞;＜ルーティング発信者番号＞;＜ルーティングダイヤルイン＞;＜サーバー番号＞;
(a) 登録番号：登録されるワンタッチ。短縮ダイヤル番号
001 ～ 100 ：01 ～ 100 の短縮ダイヤル番号を示します。（最大 100 個）
1001 ～ 1028 ：01 ～ 28 のワンタッチ番号を示します。
2001 ～ 2004：プログラムボタンを示します。
(b) 宛先名称：登録される宛先名称（カナ英数字 20 文字）
(c) 宛先のアドレス：メールアドレスまたは電話番号（最大 60 桁）
(d) ルーティングサブアドレス：ルーティングに使用されるサブアドレス。（最大 20 桁）
(e) ルーティング数字 ID ：ルーティングに使用される数字 ID 番号。（最大 20 桁）
(f) ルーティング発信者番号：ルーティングに使用される発信者番号（最大 20 桁）
(g) ルーティングモデムダイヤルイン番号：ルーティングに使用されるダイヤルイン番号（最大 20 桁）
(h) サーバー番号：s1 ：サーバー 1、s2：サーバー 2
(i) 電話番号の場合、シャープ記号 (#）の後に入力します。

(4) @program ～ @end : @program と @end の間にグループダイヤルまたは POP 手動受信キーとして登録されるプログラムのデータを記述します。
(a) プログラムボタン：P01 ～ P04
(b) グループダイヤル名称：登録されるグループダイヤル名称（カナ英数字 15 文字）
例にならって”” で囲む必要があります。
(c) GROUP ：プログラムボタンをグループダイヤルとして設定するための構文
(d) 登録番号：登録されるワンタッチ、短縮ダイヤル番号
001 ～ 100 ：01 ～ 100 の短縮ダイヤル番号を示します。（最大 100 個）
1001 ～ 1028 ：01 ～ 28 のワンタッチ番号を示します。
2001 ～ 2004：P1 ～ P4 のプログラムボタン番号を示します。
(e) POP ：ワンタッチを POP 手動受信キーとして登録するための構文。
(f) POP ユーザー名：登録される POP ユーザー名（最大 40 桁の英数字）
(g) POP パスワード：登録される POP パスワード（最大 10 桁の英数字）
(h) 電子メールの受信後に POP サーバー上の E メールを削除するかどうかを設定します。（off ：削除しません、on ：削除します）

(5) これらの 2 つのワンタッチボタンがリストに追加されました。

(6) 本機に E メールを送信してもワンタッチ／短縮ダイヤルを再設定する前に、このヘッダを削除する必要があります。“#”記号に続く情報は無視されます。したがって、“#”以降は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

通信管理レポートの取り出し

通信管理レポートの取り出しをするには、件名 "Subject" に以下のコマンドを入力したＥメールを、本機のメールアドレスに送信します。

#get jnl(password)#
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです (例 :123456789)。getの後には半角ブランクを入力してください。

通信管理レポートは、このＥメールを送信した PC に返信されます。

通信管理レポートの取り出しをした後、固定幅のフォント（例えば、ターミナルやクーリエ）に変換して、取り出した通信管理レポートの内容をPC 上で位置合わせしてください。

本機の自局情報に登録された管理者のメールアドレスに、通信管理レポートを送信したことを知らせる別のＥメール（"Internet Fax Return Receipt"）が送信されます。

お知らせ

1. この機能を有効にするには、システム登録の No.158 (メールリモート登録) を「アリ」に変更する必要があります（☛244 ページ)。
2. システム登録の No.13 （通信管理レポート）と No.157 （管理レポート送信）の設定が共に「アリ」の場合、通信管理レポートは自動で No.157 （管理レポート送信）にて登録した宛先に送信されます。
3. ルーティングサブアドレス、数字 ID、発信者、モデムダイヤルイン、サーバー番号の登録は、システム登録の No. 152、153、175、176、178 それぞれが「アリ」の場合、登録が可能となります。

ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録

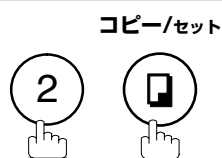
概要

ワンタッチ／短縮ダイヤルに、電話番号またはメールアドレスを登録することで、簡単な操作でダイヤルすることができます。これらの自動ダイヤルをお使いになるには、最初に電話番号またはメールアドレスをワンタッチ／短縮ダイヤルに登録する必要があります。

ワンタッチボタンを登録する

1

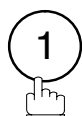
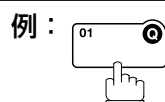
トウロク モード　　　(1-4)
ハ゛ンコ゛ウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

1: ワンタッチ トウロク
2: タンシュク トウロク

3

ワンタッチ <　>
ワンタッチ ヲ オシテクタ゛サイ

4

例：

<01>
メール アト゛レス ヲ イレテクタ゛サイ

または

<01>
テ゛ンワ ハ゛ンコ゛ウ ニュウリョク

入力モード変更には、

を押します。

5

メールアドレスを文字ボタンを使って入力する

例：「abc@panasonic.com」を入力します。（最大 60 桁）

または

電話番号を入力する（ポーズやスペースを含み、最大 36 桁）

例：「9-555 1234」を入力します。

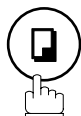
<01>
abc@panasonic.com▮

または

<01>
9-555 1234▮

6 コピー/セット

```
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ   < ｶﾅ
abc@panasonic.com
```

または

```
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ   < ｶﾅ
9-555 1234
```

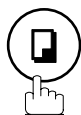
7 文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「エイギョウブ」を入力する。（☛237 ページ）

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ ▮   < ｶﾅ
abc@panasonic.com
```

または

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ ▮   < ｶﾅ
9-555 1234
```

8 コピー/セット

```
ﾜﾝﾀｯﾁ <  >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

続けてワンタッチボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには[ストップ]を押します。

お知らせ

1. システム登録 No. 172（ダイレクト IFAX 送信）を「アリ」に設定することで、ダイレクト IFAX の送信指定を登録できるようになります。（☛245 ページ）
2. 外線につなぐために、特別なアクセス番号が必要な場合は、まずその番号を入力し、[ポーズ]を押します。ポーズは、「－」が表示されます。
3. 回転ダイヤル式回線を使っていて、通話中にトーンダイヤルに変更したい時は、[トーン]（“/”で表示される）を押します。ダイヤル方法は、パルスからトーンに変わります。
   例：9 [ポーズ] ✱ 5551234
4. 誤った操作をした場合は、[◀] または [▶] を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、[クリアー] を押して、新しい番号を再入力します。
5. 手順 5 で電話番号入力のとき、[フック／ F コード] を押すと” s ”が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。

短縮ダイヤルを登録する

1

ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ　　　(1-8)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

コピー/セット

1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ

3

ﾀﾝｼｭｸ [▮　]
ﾀﾝｼｭｸ NO. ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

4

例：「 022 」を選択する
（001 から 100 の、100 件までの宛先）

入力モード変更には、 Eメール を押します。

[022]
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

または

[022]
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ

5

メールアドレスを文字ボタンを使って入力する

例：「abc@panasonic.com」を入力する。（最大 60 桁）

または、

電話番号を入力する（最大 36 桁）

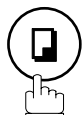
例：「9-555 2345」を入力します。

[022]
abc@panasonic.com▮

または

[022]
9-555 2345▮

6

コピー/セット

[022]ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ　<ｶﾅ
abc@panasonic.com

または

[022]ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ　<ｶﾅ
9-555 2345

7 文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「ケイリブ」を入力する。（☛237 ページ）

```
[022] ｹｲﾘﾌﾞ ▮      ＜ｶﾅ
abc@panasonic.com
```

または

```
[022] ｹｲﾘﾌﾞ ▮      ＜ｶﾅ
9-555 2345
```

8 **コピー/セット**

```
ﾀﾝｼｭｸ [▮  ]
ﾀﾝｼｭｸ NO. ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには **ストップ** を押します。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号が必要な場合は、まずその番号を入力し、**ポーズ** を押します。ポーズは、「－」が表示されます。

2. 回転ダイヤル回線を使っていて、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、✱（“/”で表示される）を押します。ダイヤル方法は、パルスからトーンに変わります。

   例：9 **ポーズ** ✱ 5551234

3. システム登録No. 172(ダイレクトIFAX 送信)を「アリ」に設定することで、ダイレクトIFAX の送信指定を登録できるようになります。（☛245 ページ）

4. 誤った操作をした場合は、◀ または ▶ を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、**クリアー** を押して、新しい番号を再入力します。

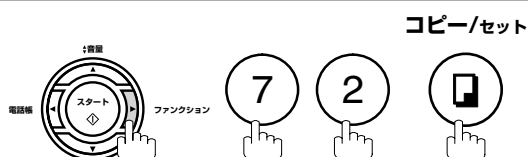
5. 手順 5 で電話番号入力のとき、［フック／ F コード］を押すと” s ”が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。

ワンタッチ／短縮ダイヤルの変更をする

ワンタッチ／短縮ダイヤルのいずれかを、変更または消去する必要がある場合は、以下の手順に従って下さい。

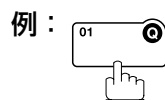
ワンタッチ／短縮ダイヤルの変更をする

1

ファンクション　7　2　コピー/セット

1: ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2: ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ

2

ワンタッチの変更をするときは、① を選択する

短縮ダイヤルを変更するときは、② を選択する

例：①

ﾜﾝﾀｯﾁ < >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

3

変更したい宛先を入力する

例：01

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
abc@panasonic.com

または

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
9-555 1234

4

クリアー

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

または

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ

5

「メールアドレス入力」と「電話番号入力」のモードを変更するには、

を押します。

6 メールアドレスを入力する

例：「xyz@panasonic.com」を入力します。(最大60桁)

または

電話番号を入力する（ポーズやスペースを含み、最大 36 桁）

例：「9-555 3456」を入力します。

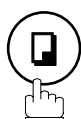
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
xyz@panasonic.com▮

または

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
9-555 3456▮

7 **コピー/セット**

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
xyz@panasonic.com

または

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
9-555 3456

8 **クリアー**

新しい宛先名を入力します。（☛ お知らせ 1）

例：「パナソニック」を入力します。（☛237 ページ）

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ　<ｶﾅ
xyz@panasonic.com

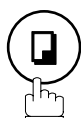
または

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ　<ｶﾅ
9-555 3456

<01> ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ▮　<ｶﾅ
xyz@panasonic.com

または

<01> ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ▮　<ｶﾅ
9-555 3456

9 **コピー/セット**

ﾜﾝﾀｯﾁ<　>
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

待機状態に戻るには **ストップ** を押します。

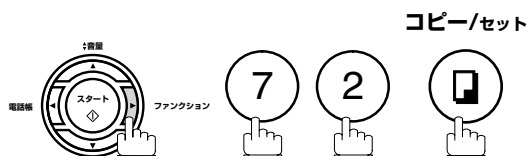
お知らせ

1. 誤った操作をした場合は、◀ または ▶ を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、**クリアー** を押して、新しい番号を再入力します。

登録編

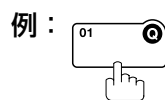
ワンタッチ／短縮ダイヤルの消去をする

1

7 2

```
1: ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2: ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

2 ワンタッチを消去するときは、①を選択する

短縮番号を消去するときは、②を選択する

例： ①を選択する。

```
ﾜﾝﾀｯﾁ <   >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3 消去したい宛先を入力する

例： 01

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
abc@panasonic.com
```

または

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
9-555 1234
```

4 **クリアー**

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

または

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

5 **コピー/セット**

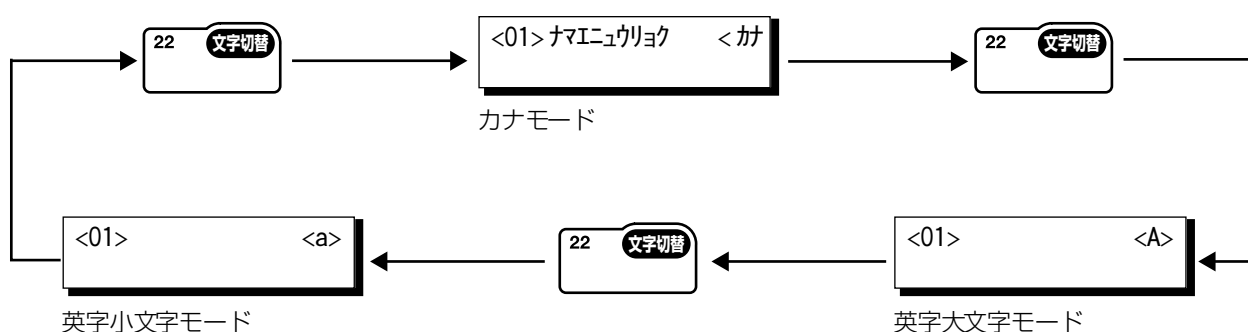
```
ﾜﾝﾀｯﾁ <   >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

文字入力のしかた

発信元情報や、ワンタッチボタン、短縮ダイヤルなどを登録するときには、文字を入力することができます。本機ではテンキーボタンとワンタッチボタン（文字ボタン）を使って、カタカナ、英字、数字の入力ができます。

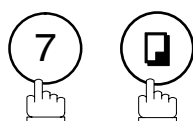
入力モードの切替

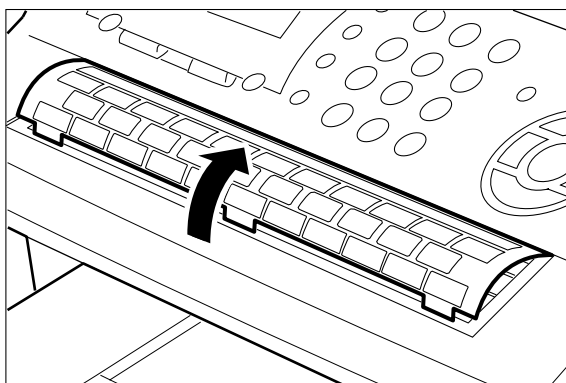
文字入力時は「ワンタッチボタン 22」が文字切替ボタンとなり、以下のように押すごとに入力モードが切り替わります。待機状態では「カナモード」に設定されています。「カナモード」ではワンタッチボタンを使って、ローマ字カタカナ変換機能を使ってカタカナ入力できます。

お知らせ

1. 待機状態では、「カナモード」に設定されています。

宛先シートの印刷

ワンタッチボタンの登録をした後で、宛先名の 12 文字を、宛先シートに印刷できます。

点線にそって印刷された用紙を切り、宛先シートカバーの下にセットします。

宛先シートを印刷します。

```
**************** －ｱﾃｻｷ ｼｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ－ ********************** 2005-03-15*********** 15:00 ************************

  201 555 1234                                        fax@mgcs.co.jp

  ｱﾒﾘｶ    ｱﾌﾘｶ       ........

      ｱｼﾞｱ      ｶﾅﾀﾞ            ........

  ﾌﾞﾗｼﾞﾙ    ｺｸﾅｲ          ........

                                                        － PANASONIC －
************************************ －ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ－  － ****** － 201 555 1212 － ***********************************
```

お知らせ　1. メールアドレスをワンタッチに登録している場合、宛先名の上に「E メール」と印刷されます。

システム登録

概要

本機には様々なシステム登録の設定が可能となっています。

これらのシステム登録は、前もって調整してあり、変更する必要はありません。

また、文字サイズ、濃度などの設定は適時変更可能です。通信やコピー前に変更できます。

動作が終了すると、設定はホーム・ポジションに戻ります。

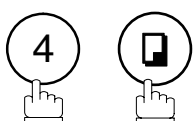
その他の設定は、以下の方法でのみ変更可能です。

システム登録の設定

1

↕音量　電話帳　スタート　ファンクション　7

トウロク モードﾞ　　(1-4)
バﾞンゴﾞウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

コピー/セット

シスﾃム トウロク　　(1-181)
NO.=▮

3 システム登録表を参照して選択する

例：「001」を選択する。

シスﾃム トウロク　　(1-181)
NO.=001

4

コピー/セット

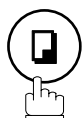
01 ノウドﾞ キリカエ
1：フツウ

5 新しい設定数値を入力する

例：「２」を選択する。

01 ノウドﾞ キリカエ
2：ウスク

登録編

6 コピー/セット

```
02 ﾓｼﾞｻﾞｲｽﾞ
 2:ﾁｲｻｲ
```

続けてシステム登録の設定ができます。▼または▲で設定する項目を選択し、手順３からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

お知らせ

1. 手順３または４でスクロールするには▼または▲を押します。

2. システム登録リストをプリントするには 258 ページを参照ください。

システム登録表

設定	設定項目	設定値	設定	説明
001	濃度切替	1	普通	通常、使用する原稿の濃さに合わせます。
		2	薄く	
		3	濃く	
002	文字サイズ	1	普通	通常、使用する原稿の文字の大きさに合わせます。
		2	小さい	
		3	細密	
		4	ハーフトーン（小さい）	
		5	ハーフトーン（細密）	
004	済スタンプ	1	オフ	ダイレクト送信時に済スタンプの設定状態を選びます。
		2	オン	
005	メモリー優先	1	オフ	「オフ」にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
		2	オン	
006	ダイヤル切替	1	10PPS	ダイヤル種別を選びます。
		2	20PPS	
		3	プッシュ (PB)	
007	発信元印字	1	画面内	相手用紙にプリントする発信元の位置を設定します。「ナシ」にすれば、発信元をプリントしません。
		2	画面外	
		3	ナシ	
008	発信元 フォーマット	1	発信元 ID	相手用紙にプリントする発信元のフォーマットを設定します。
		2	FROM TO	
009	受信時刻プリント	1	ナシ	「アリ」にすれば、受信した時刻を用紙にプリントします。
		2	アリ	
010	ブザー音量	1	オフ	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
		2	小さい	
		3	大きい	
012	通信結果レポート	1	オフ	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
		2	全て	
		3	未通信	
013	通信管理レポート	1	ナシ	通信管理レポートのプリント方法を設定します。「ナシ」にしたときはパネル操作でレポートをプリントします。
		2	アリ	
017	受信モード	1	手動	ファクスの受信のしかたを選びます。
		2	FAX 専用	
		3	FAX/TEL 切替	
		4	留守録接続	
018	F/T ベル回数	1	3 回	受信モードを“FAX/TEL 切替”にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音を鳴らす回数を設定します。
		2	6 回	
		3	9 回	
		4	12 回	

システム登録

設定	設定項目	設定値	設定	説明
019	応答メッセージ時間	1	1 秒	外付けの留守番電話機の応答メッセージの長さに合わせて設定します。
		～	～	
		60	60 秒	
020	無音検知	1	ナシ	「アリ」にすると、用件を録音している間に約 6 秒の無音があると、ファクスの受信に切り替わります。
		2	アリ	
021	着信ベル回数	0	0 回	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。
		～	～	
		9	9 回	
022	代行受信	1	ナシ	用紙が切れたり、トナーが無くなったり、紙づまりとなった場合、メモリーで代行受信をするとき「アリ」にします。
		2	アリ	
023	用紙サイズ	1	A4	用紙カセットにセットする用紙サイズを設定します。
		2	レター	
		3	リーガル	
024	縮小受信	1	固定	縮小受信の設定をします。 **固定**： No. 025 の設定した縮小率で受信します。 **自動**： 受信した原稿の長さに合わせて縮小します。
		2	自動	
025	固定縮小率	70	70%	No. 024 で縮小受信を「固定」にしたときの縮小率を設定します。
		～	～	
		100	100%	
026	ポーリングパスワード		(---)	ポーリング通信をするときに使う4桁のパスワードです。
027	ポーリングファイル保存	1	ナシ	「アリ」にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
		2	アリ	
028	メモリー済スタンプ	1	ナシ	「ナシ」にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。
		2	アリ	
031	未通信ファイル保存	1	ナシ	「アリ」にすると未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。
		2	アリ	
032	縮小コピー	1	手動	コピーするときの縮小設定を選択します。 **手動**：縮小率を指定します。（70 ～ 100%） **自動**：原稿の長さに合わせて縮小します。
		2	自動	
034	節電モード	1	オフ	節電モードの設定を行ないます。「低電力モード」を選択した場合、待機状態から低電力モードに移行するまでの時間を設定できます。（1 ～ 120 分 ）
		2	低電力モード	
037	メモリー受信		(----)	セレクトモードのメモリー受信（F8-5）を設定している場合、受信した原稿を印刷するときのパスワードを設定します。メモリー受信を設定すると、この設定は画面上に表示されません。(☛128 ページ)
038	アクセスコード		(----)	第 3 者の使用を制限するときに、4 桁のアクセスコードを設定します。
042	親展ファイル保存	1	ナシ	親展文書をポーリングされた後もメールボックスに残すときに「アリ」にします。
		2	アリ	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
043	パスワード送信	1	オフ	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。(☛162 ページ)
		2	オン	
044	パスワード受信	1	オフ	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。(☛163 ページ)
		2	オン	
046	セレクト受信	1	ナシ	「アリ」にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。(☛159 ページ)
		2	アリ	
047	リモート受信	1	ナシ	「アリ」にすると、接続した外部電話機から、ファクスをリモート受信できます。(☛75 ページ)
		2	アリ	
051	遠隔診断	1	ナシ	遠隔操作などにより各種の診断を行う機能です。
		2	アリ	
053	サブアドレスパスワード		(----)	サブアドレス通信を行なうときのパスワードを設定します。(最大 20 桁)
054	メモリー転送	1	ナシ	「アリ」にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先をセットできます。(☛135 ページ)
		2	アリ	
056	カバーシート	1	オフ	カバーシートの通常お使いになる設定を選択します。(☛132 ページ)
		2	オン	
065	正順プリント	1	ナシ	正順プリントを行なう場合は「アリ」にします。(☛84 ページ)
		2	アリ	
072	音声応答	1	ナシ	“FAX/TEL 切替”にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音だけ相手に流したいときに「ナシ」にします。
		2	アリ	
075	オプションハンドセット	1	ナシ	オプションハンドセットをお使いのときに設定します。
		2	アリ	
082	クイックメモリー送信	1	ナシ	クイックメモリー送信の設定(☛52ページから 55 ページ)
		2	アリ	
099	メモリーサイズ	-	-	(設定はありません。)
123	リルート機能	1	ナシ	IP 電話を使っての送信機能を使うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
124	プレフィクス機能	1	ナシ	電話番号に付与する番号を登録します。また、登録した番号を付与してダイヤルするときは「アリ」にします。付与する番号を指定したあと、設定を行います。
		2	アリ	
125	複数宛先確認	1	ナシ	複数宛先指定時に確認画面を表示するときに「アリ」にします。
		2	アリ	
140	LAN 中継指示	1	ナシ	「アリ」にすると、LAN 経由の中継送信の指示を行います。
		2	アリ	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
141	LAN 縮小送信	1	ナシ	「アリ」にすると、LAN 経由にて送信するときに A4 サイズに縮小されて送信します。
		2	アリ	
142	LAN 中継	1	ナシ	「ナシ」にすると、LAN 中継動作を行いません。
		2	アリ	
143	中継結果返送	1	オフ	LAN 中継の結果を指示元に返送するときの条件を選びます。
		2	全て	
		3	未通信	
145	From 欄選択	1	ナシ	発信元やメールのFrom 欄の内容を選べるようにするときに、「アリ」にします。24 個のユーザー名称（最大 25文字）とメールアドレス（最大 60 桁）を登録できます。
		2	アリ	
146	POP 取得間隔	0	0 分	POP サーバーへメールの到着の確認をする間隔を設定します。
		～	～	
		60	60 分	
147	POP 自動受信	1	ナシ	「ナシ」にすると、POP 取得時、自動受信しません。
		2	アリ	
148	POP 後メール削除	1	ナシ	「ナシ」にすると、POP 受信後メール削除しません。
		2	アリ	
149	POP エラーメール削除	1	ナシ	「アリ」にすると、POP サーバーに受信できないメールが来たときにこのメールを削除します。
		2	アリ	
150	送達確認返送	1	ナシ	LAN 受信時の結果を送信元に返送するとき「アリ」に設定します。
		2	アリ	
151	メールヘッダ表示	1	全て	メールを受信したときにプリントするヘッダーの内容を設定します。
		2	編集	
		3	オフ	
152	SUB ルーティング	1	ナシ	サブアドレスによるルーティングを行うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
153	数字 ID ルーティング	1	ナシ	数字 ID によるルーティングを行うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
154	ルーティング時 From 欄	1	指示局	ルーティングにより、LAN へメールを送るときの From 欄の内容を選びます。
		2	中継局	
155	ルーティング時プリント	1	未通信	ルーティング時に、受信した原稿を自局でプリントする設定を選びます。
		2	全て	
156	メモリー転送時プリント	1	未通信	メモリー受信したファクス、またはメールを転送する際、常に印刷するか、または転送が未通信の場合のみ、印刷するかを選択します。
		2	全て	
157	管理レポート送信	1	ナシ	「アリ」にすると、管理レポートを登録された宛先へ送信します。
		2	アリ	
158	メールリモート登録	1	ナシ	PC からメールにより登録取出しを行うとき「アリ」にします。
		2	アリ	
159	サブジェクト登録	1	ナシ	送信の度に件名（Subject）を記入できるようにするかどうかを選択します。
		2	アリ	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
160	デフォルト ドメイン	1	ナシ	直接ダイヤルで送るとき、ドメイン名を入れて送信するとき「アリ」にします。
		2	アリ	
161	DNS サーバー	1	ナシ	インターネット通信を行うときに DNS サーバーを使うときは「アリ」にします。
		2	アリ	
162	TIFF ビューア URL	1	ナシ	メールのメッセージ中に URL アドレスを入れるときに言語の設定します。
		2	日本文	
		3	英文＋日本文	
163	ルーティング ヘッダー	1	ナシ	ルーティング時に、ルート局のヘッダー情報を付けるときに「アリ」にします。
		2	アリ	
164	LAN 送信ヘッダー	1	付加	デフォルト・ドメインに登録されている同ドメイン内に原稿を送信する場合、ヘッダを印刷するかどうかを選択します。（スキャナーとして使う場合に便利です。）ただし、デフォルト・ドメイン以外のドメインへ送信する場合は、設定が「ナシ」になっていてもヘッダーは付加されます。
		2	ナシ	
169	DHCP クライアント	1	ナシ	起動時に自動的に DHCP サーバーが IP アドレスなどを割り当てる設定をするかどうかを選択します。この設定の変更を行なうと、自動的に再起動されます。
		2	アリ	
170	SMTP認証 （☛お知らせ１）	1	ナシ	SMTP 認証が必要かどうかを選択します。設定を「アリ」にした場合、ユーザー名とパスワードを入力できます。
		2	アリ	
171	SMTP 時 POP 確認	1	ナシ	POP での SMTP 認証が必要かどうかを選択します。（ネットワーク管理者にご相談ください）
		2	アリ	
172	ダイレクト IFAX 送信	1	ナシ	ワンタッチ／短縮ダイヤルへの登録時、インターネット通信時にダイレクト IFAX 送信を行なうかどうかを選択できます。
		2	アリ	
173	送達確認要求	1	オフ	インターネットファクスで送信するときに、送達確認要求（MDN）をするかどうかのデフォルト設定を選択できます。送達確認要求の設定はセレクトモード（F8-2）で送信毎に設定が可能です。送達確認が宛先側から返信されると、通信管理レポートに通信結果を記録します。
		2	オン	
174	APOP 認証	1	ナシ	APOP による認証を行なうかどうかを選択します。（この設定はサーバーに依存するものです。ネットワーク管理者にご相談ください）
		2	アリ	
175	発番号 ルーティング	1	ナシ	発信者番号によるルーティングを行うときは「アリ」にします。
		2	アリ	
176	ダイヤルイン ルーティング	1	ナシ	モデムダイヤルイン・ルーティングを行うときは「アリ」に設定し、モデムダイヤルイン番号の登録を行ないます。（最大２０桁、５０件まで登録可能）登録したモデムダイヤルイン番号は、システム登録リストのプリント（F6-4）でプリントできます。（☛258 ページ）
		2	アリ	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
177	送信ファイルタイプ	1	TIFF	送信ファイルタイプのデフォルト値を設定します。送信ファイルタイプの設定はセレクトモード（F 8－6）で送信毎に設定の変更が可能です。
		2	PDF	
178	デュアルサーバー	1	ナシ	デュアルサーバーの設定を行なうときは「アリ」にします。
		2	アリ	
179	SMTP 認証 (2)	1	ナシ	サーバー2に対して SMTP 認証が必要かどうかを選択します。設定を「アリ」にした場合、ユーザー名とパスワードを入力できます。
		2	アリ	
180	SMTP 時 POP 確認 2	1	ナシ	サーバー2に対して POP での SMTP 認証が必要かどうかを選択します。（ネットワーク管理者にご相談ください）
		2	アリ	
181	APOP 認証 (2)	1	ナシ	サーバー2に対して APOP による認証を行なうかどうかを選択します。（この設定はサーバーに依存するものです。ネットワーク管理者にご相談ください）
		2	アリ	

お知らせ

1. SMTP サーバーまたは POP サーバーが機能をサポートする場合、「アリ」を選択できます。

リスト・レポート編

リスト・レポートのプリント

概要

本機で送受信した通信記録や各登録内容をプリントできます。：通信管理レポート、送信レポート、通信結果レポート、ワンタッチ／短縮リスト、クイックダイヤルリスト、プログラムリスト、システム登録リスト

通信管理レポート

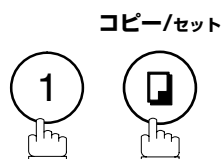
「通信管理レポート」には、最新の40通信が記録されます。(文書を送受信するたびに、その通信は記録されています)これは40通信を行うごとに自動的にプリントされますが(☛ お知らせ 1)、以下の手順に従い手動でプリント、または LCD 画面上で確認することもできます。

1

リスト プリント　　　(1–7)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

コピー/セット

1

ツウシン カンリ カクニン
1:プリント 2:ガメン ヒョウジ

3a プリントする場合は①を押す

* プリント シテイマス *
ツウシン カンリ レポート

3b 画面表示する場合は、②を押す

ツウシン カンリ ガメン ヒョウジ
1:ソウシン ノミ 2:スベテ

4 画面表示するモードを選択する

送信ファイルのみを画面表示する場合は① を押します。

全ての通信を画面表示する場合は② を押します。

例：②

▼ または ▲を押しジャーナルに記録された通信結果を見ることができます。待機状態に戻るには ストップ を押します。

ナイヨウ ハ ∨ ∧ ボタン デ
カクニン シテクダサイ

通信管理レポートサンプル

(1) (2)
******************** -ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ- **************************** 2005-03-15 ***** 15:00 ***** P.01

(3) NO.	(4) ｹｯｶ	(5) ﾏｲｽｳ	(6) ﾌｧｲﾙ	(7) ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ	(8) ﾓｰﾄﾞ	(9) ｱｲﾃｻｷ（ID/TEL NO.）	(10) ﾋﾂﾞｹ	(11) ｼﾞｺｸ	(12) ﾂｳｼﾝｺｰﾄﾞ
01	OK	001/001	149	00:00:52	ｿｳｼﾝ	☎215	03-15	20:04	C8444B0577000
02	--	001/001	151	00:00:02	ｿｳｼﾝ	TEST	03-15	20:07	01 ｷｮｸ LAN
03	--	003/003	153	00:00:20	ｿｳｼﾝ	fax@nwfax1	03-15	20:09	01 ｷｮｸ LAN
04	OK	003	154	00:00:21	ｼﾞｭｼﾝ	fax@nwfax1.rdmg.mgc	03-15	20:10	LAN
05	OK	001	155	00:00:19	ｼﾞｭｼﾝ	215	03-15	20:11	C0542B0577000
06	0634	000/003	156	00:00:00	ｿｳｼﾝ	☎216	03-15	20:14	0800420000000
07	0408	* 003		00:02:14	ｿｳｼﾝ	☎217	03-15	21:17	0040440A30080
39	OK	000/001	159	00:00:07	ｿｳｼﾝ	TEL XMT	03-15	20:18	CA40462000000
40	OK	001/001	160	00:00:16	ｿｳｼﾝ	TEL XMT	03-15	20:19	C8444B0577000

(13)
-PANASONIC -

************************************ -HEAD OFFICE - ***** - 201 555 1212- *********
(15) (14)

お知らせ

1. 通信管理レポートの自動プリントを解除したい場合は、システム登録の「013　通信管理レポート」を「ナシ」に変更してください。(☛241 ページ)

送信レポート

送信レポートには最新の通信結果を表示します。

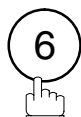
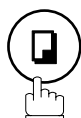
1

```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

6

```
6: ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3

コピー/セット

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

送信レポートサンプル

```
                                                        (1)           (2)
************** -ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ- ****************************** 2005-03-15 ***** 15:00 *********

(10)(11)     ﾋﾂﾞｹ            = 2005-03-15 09:00

    (3)      ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ No.    = 21

    (4)      ｹｯｶ             = OK

    (5)      ﾏｲｽｳ            = 001/001

    (7)      ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ        = 00:00:16

    (6)      ﾌｧｲﾙ No.        = 010

   (16)      ﾓｰﾄﾞ            = ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ

   (17)      ｱｲﾃｻｷ           = [001] / 555 1234 /ABCDEFG

   (18)      ｱｲﾃｻｷ ID        =

   (19)      ﾓｼﾞｻｲｽﾞ         = ﾌﾂｳ

                                          (13)
                                         -PANASONIC                -

******************************-HEAD OFFICE     -*******-       201 555 1212- *****************
                              (15)                            (14)
```

通信管理レポート／送信レポートの内容説明

(1)	プリントした日付	
(2)	プリントした時刻	
(3)	レポート番号	
(4)	通信結果	: OK：通信完了 OK1：IP 回線を使って通信完了 OK2：IP-PSTN（一般回線）を使って通信完了 OK3：PSTN-PSTN を使って通信完了 ビジー：回線使用中 テイシ：通信中に **STOP** ボタンが押された 。 P − OK：原稿読取中のメモリーオーバーフローもしくは原稿詰まり。読込済み原稿の送信は完了。 R − OK：LAN 中継または親展通信完了 ——：LAN 送信 (☛ お知らせ 2) 4 桁エラーコード：通信エラー（☛268 ページ）
(5)	送受信したページ数	: 3 桁の数字は送信枚数。 * 印は相手機異常。
(6)	ファイル番号	: 001 ～ 999(通信がメモリーに蓄積されると、それぞれの通信にファイル番号が付与されます。)
(7)	通信時間	
(8)	通信の種類	: ソウシン ：送信 ジュシン ：受信 ポーリング：ポーリング テンソウ ：メモリー転送
(9)	宛先	: 宛先名または電話番号／メールアドレス ☎ 番号：直接ダイヤル番号 番号のみ：相手の ID ナンバー (電話番号) メールアドレス
(10)	通信日	
(11)	通信開始時刻	
(12)	診断	: サービスマンが使用します 2 桁の番号は最終宛先です STN(S)LAN：LAN 送信 (MDN)LAN：送達確認付き LAN 送信
(13)	ロゴ	: 25 文字まで
(14)	IDナンバー	: 20 桁まで
(15)	文字 ID	: 16 文字まで
(16)	通信の種類	: 送信またはメモリー送信
(17)	宛先	: ワンタッチ、短縮ダイヤル／メールアドレス、電話番号／記録された名前 上記以外：メールアドレスまたは電話番号
(18)	受信した相手の ID	: 文字 ID または ID ナンバー
(19)	文字サイズ	

お知らせ

1. メールによる同報送信は 1 回の送信として記録されます。
2. 送達確認要求を付加して送信した場合、送達確認が返送されてくるまでは通信結果欄には " ――" が表示されます。送達確認を受け取ると "OK" と表示されます。ダイレクト IFAX 送信時は通信が完了したときは "OK" と表示されます。

通信結果レポート

通信結果レポートで、送信またはポーリングが成功したかどうかを確認することができます。システム登録の「012 通信結果レポート」でプリント状況(オフ／スベテ／未通信)を選択します。

通信結果レポートサンプル

```
**************** -- ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ - **************** 2005-03-15 **** 15:00 *********

 (1)                           (2)                  (3)
 ﾓｰﾄﾞ = ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ                ｽﾀｰﾄ = 03-15 14:50      ｴﾝﾄﾞ = 03-15 15:00

  ﾌｧｲﾙ NO.= 050 (4)
 (5)   (6)   (7)         (8)                           (9)       (10)
ﾂｳｼﾝ   ｹｯｶ   ﾜﾝﾀｯﾁ /      ｱﾃｻｷ ﾒｲ / ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ   ﾏｲｽｳ      ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ
NO.          ﾀﾝｼｭｸ NO.

001   OK      <01>        SERVICE DEPT.                 001/001   00:01:30
002   OK      <02>        SALES DEPT.                   001/001   00:01:25
003   0407    <03>        ACCOUNTING DEPT.              000/001   00:01:45
004   BUSY     ☎          021 111 1234                  000/001   00:00:00

                                         - PANASONIC -
********************************** - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ -       - ***** - 201 555 1212 - *****
```

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC 18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd

...variations of print density ...
cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

通信結果レポート

(1)	通信モード表示			
(2)	通信開始時刻			
(3)	通信終了時刻			
(4)	ファイル番号	:	001 ～ 999(通信がメモリーに蓄積されると、それぞれの通信にファイル番号が付与されます)。	
(5)	レポート番号	:	宛先 No.	
(6)	通信結果	:	OK：	通信完了
			OK1：	IP 回線を使って通信完了
			OK2：	IP-PSTN（一般回線）を使って通信完了
			OK3：	PSTN-PSTN を使って通信完了
			ビジー：	回線使用中
			テイシ：	通信中に STOP ボタンが押された。
			P − OK：	原稿読取中のメモリーオーバーフローもしくは原稿詰まり。読込済み原稿の送信は完了。
			R − OK：	LAN 中継または親展通信完了
			――：	LAN 送信 (☛251 ページのお知らせ 2)
			4 桁エラーコード：	通信エラー（☛268 ページ） この場合、前頁に示すように、送信文書の最初のページをプリントします。
(7)	ワンタッチ／短縮ダイヤル番号または ☎ マーク	:	☎ マーク：	直接ダイヤル番号
(8)	宛先名、直接ダイヤルでの電話番号／メールアドレス			
(9)	送受信したページ数	:	送受信枚数	
(10)	通信時間			

ワンタッチ／短縮ダイヤルおよび電話帳リスト

登録されているワンタッチ／短縮ダイヤルおよび電話帳リストをプリントする。

1

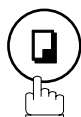
```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

2

```
2: ﾜﾝﾀｯﾁ･ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3

コピー/セット

```
1: ﾜﾝﾀｯﾁ･ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ
2: ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ
```

4

ワンタッチ／短縮ダイヤルリストをプリントする場合は

1 を押します。

電話帳リストをプリントする場合は

2 を押します。

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾜﾝﾀｯﾁ･ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ
```

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ
```

ワンタッチリストサンプル

```
******************** －ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ－ ****************** 2005-03-15 *****  11:11 ********
 (1)      (2)              (3)                                            (7)
ﾜﾝﾀｯﾁ    ｱﾃｻｷ ﾒｲ           ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ/ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
No.                        ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)    ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)        ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                           ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ         ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ

<01>  Jane Smith           ☎201 555 3456                                       [001]
                           4452                   +1 201 123 4567               ---
                           ---                    ---
<02>  John Smith           ☎201 555 1212                                       [002]
                           1212                   212 555 1234                  ---
                           ---                    ---
<03>  Bob Jones            jonesb@abcdefg.com                                   ---
                           123456                 201 555 1212                  ---
                           ---                    ---
<04>  Panafax1             panafax1@rdmg.mgcs.mei.co.jp                         ---
                           4827                   +81 03 5251 1234              ---
                           ---                    ---
<05>  Panafax2             panafax2@rdnn.mgcs.mei.co.jp                         ---
                           1773                   +81 0467 5251 1234            ---
                           ---                    ---
   ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 05 (4)
                                               -PANASONIC              -
************************************************-ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ- ***** - 201 555 1212- *********
```

短縮ダイヤルリストサンプル

```
******************** －ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ－ ******************* 2005-03-15 *****  11:11 ********
 (1)      (2)              (3)                                           (7)
ﾀﾝｼｭｸ     ｱﾃｻｷ ﾒｲ          ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
NO.                        ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)    ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)        ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                           ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ         ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ

[001]  Jane Smith          ☎201 555 3456                                       [009]
                           4452                   +1 201 123 4567               ---
                           ---                    ---
[002]  John Smith          ☎201 555 1212                                       [010]
                           1212                   212 555 1234                  ---
                           ---                    ---
[003]  Bob Jones           jonesb@abcdefg.co
                           123456                 201 555 1212                  ---
                           ---                    ---                           ｻｰﾊﾞｰ1
[004]  Panafax1            panafax1@rdmg.mgcs.mei.co.jp
                           4827                   +81 03 5251 1234              ---
                           ---                    ---                           ｻｰﾊﾞｰ1
[005]  Panafax2            panafax2@rdnn.mgcs.mei.co.jp
                           1773                   +81 0467 5251 1234            ---
                           ---                    ---                           ｻｰﾊﾞｰ2
    ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 005 (4)
                                               -PANASONIC              -
**************************************************-ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ - ***** - 201 555 1212- ********
```

電話帳リストサンプル

```
********************** －ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ－ ******************* 2005-03-15 *****  11:11 ******
(8)   (2)              (1)          (3)                                                (7)
      ｱﾃｻｷ ﾒｲ           ﾜﾝﾀｯﾁ/       ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ/ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
                       ﾀﾝｼｭｸ NO.    ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)  ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)      ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                                    ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ       ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ

[B]   Bob Jones        [003]        jonesb@abcdefg.com                             ---
                                    123456                 201 555 1212            ｻｰﾊﾞｰ1
                                    ---                    ---
[J]   Jane Smith       [001]        ☎201 555 3456                                  [009]
                                    4452                   +1 201 123 4567         ---
                                    ---                    ---
       John Smith      [002]        ☎201 555 1212                                  [010]
                                    1212                   212 555 1234            ---
                                    ---                    ---
[K]   Panafax1         [004]        panafax1@rdmg.mgcs.mei.co.jp
                                    4827                   +81 03 5251 1234        ---
                                    ---                    ---                     ｻｰﾊﾞｰ1
[M]   Panafax2         [005]        panafax2@rdnn.mgcs.mei.co.jp
                                    1773                   +81 0467 5251 1234      ---
                                    ---                    ---                     ｻｰﾊﾞｰ2
          ﾄｳﾛｸ ｽｳ  = 005 (4)

                                                          -PANASONIC               -
*********************************************-ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ - ***** - 201 555 1212- *********
```

(1)　ワンタッチまたは短縮ダイヤル番号　：<nn>= ワンタッチ番号、[nnn]= 短縮ダイヤル番号
(2)　宛先名　：15 文字まで

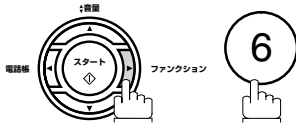
(3)　電話番号／メールアドレス　：38 桁まで (電話番号)
：60 文字まで (メールアドレス)
：ワンタッチ／短縮ダイヤルにプログラムされる電話番号
(IP 電話番号は、@ 電話番号で示されます)

(4)　登録数
(5)　ルーティングサブアドレス、
ルーティングモデムダイヤルイン
(6)　ルーティング数字 ID、
ルーティングモデムダイヤルイン
(7)　中継アドレス、メールサーバー
(8)　本機に登録した宛先名の最初の文字

プログラムリスト

登録されているプログラムリストをプリントします。

1

```
リスト プリント        (1-7)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
3: プログラム リスト ?
セット デ プリント
```

3 コピー/セット

```
* プリント シテイマス *
プログラム リスト
```

プログラムリストのサンプル

```
*************** -プログラム リスト- ******************* 2005-03-15 *****  15:00 *******

(1)        (2)                   (3)        (4)        (5)
プログラム  プログラム メイ            タイプ       ヨヤク ジコク  トウロクワンタッチ タンシュク NO

   [P1]    TIMER XMT             ソウシン      12:00      [001]
   [P2]    TIMER POLL            ポーリング     19:00      [002]
   [P3]    PROG. A               ポーリング     -----      [001] [002]

                                                                -PANASONIC-

************************************ -パナソニック- ***** - 201 555 1212- *************
```

リストの内容説明

(1) プログラムボタン
(2) プログラム名 ： 15 文字まで
(3) プログラムの種類 ： ソウシン：送信
ポーリング：ポーリング
タンシュク／グループ：プログラムボタンをグループボタンとして登録
ワンタッチ：プログラムボタンをワンタッチボタンとして登録
(4) 予約時刻 ： 開始時刻
(5) 登録宛先 ： ワンタッチ／短縮ダイヤル番号

システム登録リスト

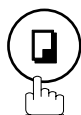
システム登録の設定をプリントします。

1

```
リスト プリント        (1-7)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
4: システム トウロク リスト ?
セット デ プリント
```

3 コピー/セット

```
* プリント シテイマス *
プログラム リスト
```

システム登録リストのサンプル

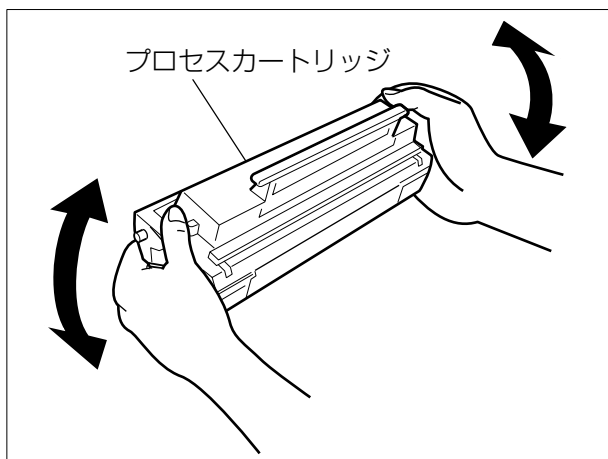
```
*************** - システム トウロク リスト - ************************ 2005-03-15 ***** 15:00 ********** P.01

                                                                   (4)              (5)
                                                                   ゲンザイ ノ セッテイ  ヒョウジュン セッテイ

     (1) (2)         (3)
(7)  001 ノウド キリカエ  (1: フツウ          2: ウスク          3: コク )          1              1
 *   002 モジ サイズ    (1: フツウ          2: チイサイ         3: サイミツ )        3              2
                      4: ハーフトーン ( チイサイ ) 5: ハーフトーン ( サイミツ )

     099 メモリーサイズ                                                    (8MB) (6)

                                                               - PANASONIC -

*********************************************** - パナソニック - ******** - 201 555 1212- ***********
```

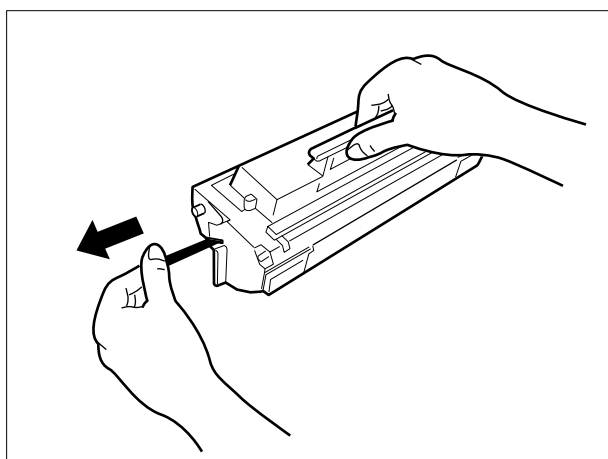
リストの内容説明

(1)	設定番号		
(2)	設定項目		
(3)	設定値		
(4)	現在の設定	:	――：設定値またはパスワードが設定されていません。設定値またはパスワードが設定されると、() 内に記述されます。
(5)	標準設定	:	お買い上げ時の設定です。
(6)	メモリーサイズ		
(7)	設定の変更	:	* 印は標準設定から変更されたものです。

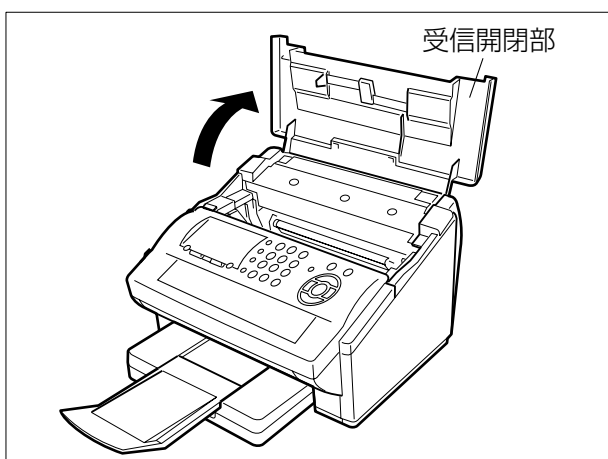
必要なときに
お読みください

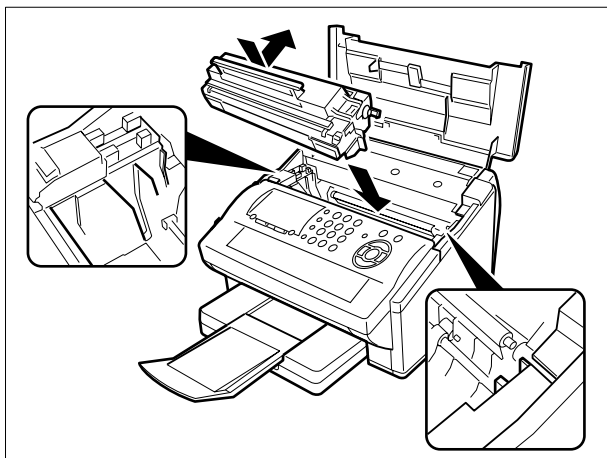
プロセスカートリッジのセット

1

プロセスカートリッジを開封し、内部のトナーが均一になるように5、6 回振ります。

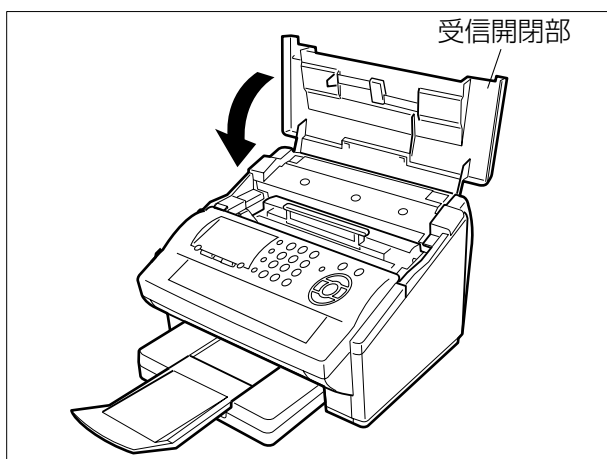
2

保護用のシールを引き抜きます。

お願い： ゆっくりとシールを引っぱり、まっすぐに抜き出します。

3

受信開閉部を開けます。

4

プロセスカートリッジの両端にある突起を本体の溝に入れます。

お願い： ハンドルを押し下げてプロセスカートリッジをロックし、その後、本体後部に向けて押しつけます。

5

受信開閉部を確実に閉じます。

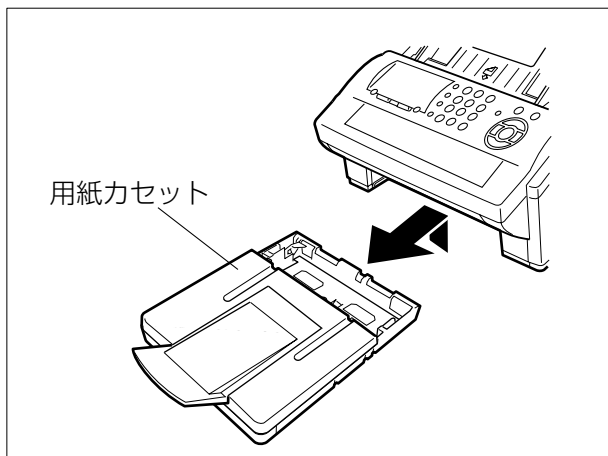
お知らせ

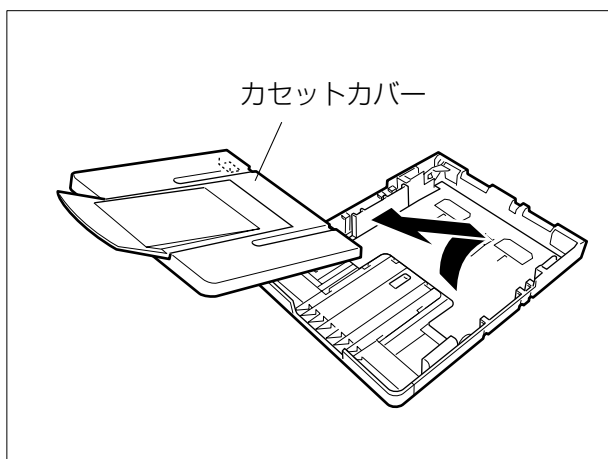
1. プロセスカートリッジのドラム部（青緑色部）には手を触れないでください。ドラムの表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
2. プロセスカートリッジのドラム部（青緑色部）の保護カバーは、セットするとき、無理な力が加わるとはずれます。これは破損を防ぐためです。はずれた場合は、元の状態に戻してください。
3. 受信開閉部を閉めるときは、確実にしまっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

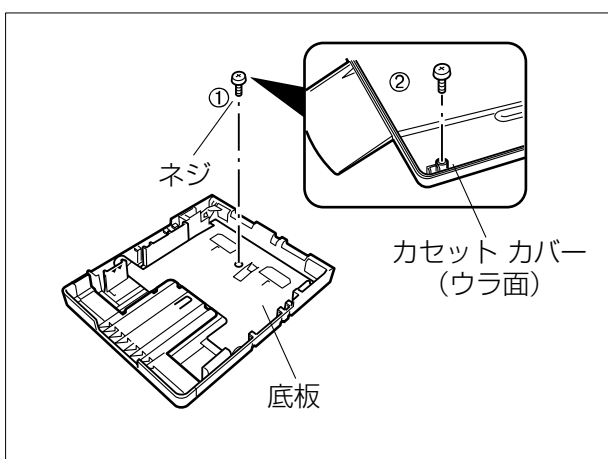
用紙の補充

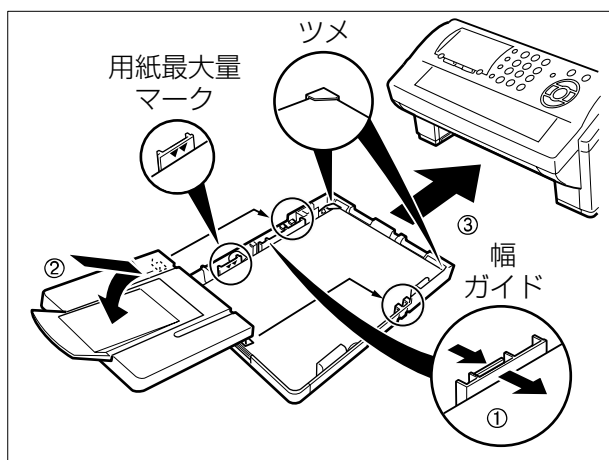
用紙の補充のしかた

用紙の補充

1

用紙カセットを少し持ち上げ、本体から引き出します。

2

用紙カセットカバーをはずします。

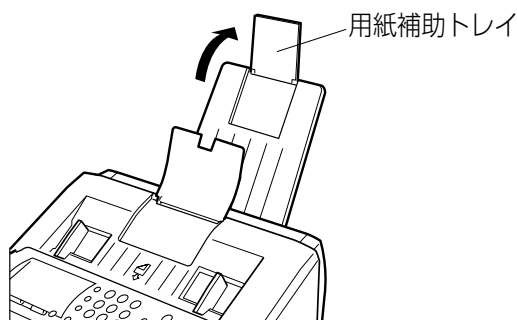
3

1. お買い上げ時は輸送時の破損などを防ぐため、カセットの底板に輸送固定ネジが取り付けられています。ご使用の際はネジをまわして取ります。
2. 用紙カセットカバーのウラ面にある専用の場所に取り付けて保管します。

4

1. 用紙カセットに用紙をセットします。
   用紙幅ガイドを右方にスライドさせ、用紙の側面に軽く触れるようにさせます。用紙はたるまないようにしてください。用紙はカセット右側面と幅ガイドの間にぴったり収まっていることを確認してください。正しくセットされていないと、紙づまりの原因になります。

   お願い： 用紙が金属製のツメ（2カ所）下にセットされていることをご確認ください。また、用紙厚が用紙最大量マークを越えないようにご注意ください。セットできる枚数は約250枚です。

2. 用紙カセットカバーを元に戻します。
3. 用紙カセットを本体に装着します。

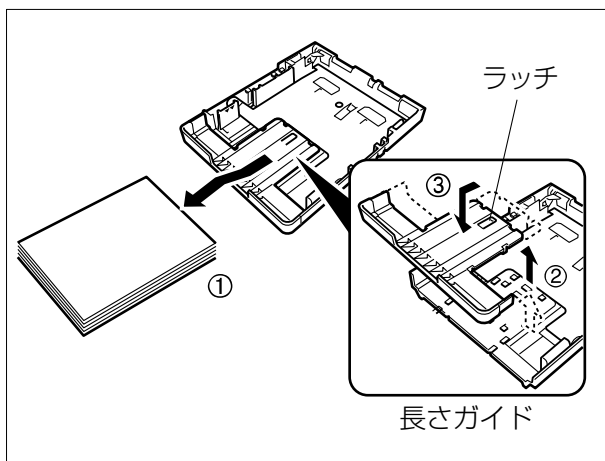
お知らせ

1. A4　サイズを超える用紙をセットする場合は、用紙補助トレイを下図のように開いてください。

2. 用紙がツメ（2ヵ所）の下にセットされ、用紙最大量マークを超えていないことを確認してください。
3. 用紙カセットには、適応サイズ以外の用紙はセットしないでください。
4. しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。
5. 用紙を追加するときは、残っている用紙を上にしてセットし直してください。いつまでも古い用紙が残っていると、紙づまりの原因となることがあります。
6. プリント中には、用紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因となります。
7. 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少ない直射日光の当たらないところに保管してください。
8. 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

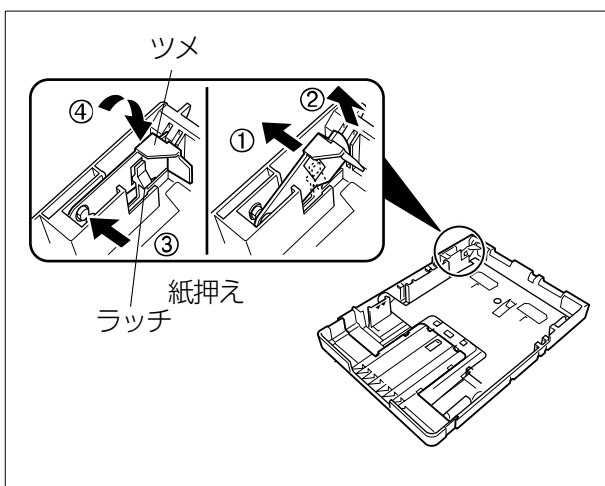
用紙カセットのサイズ変更

用紙カセットの用紙サイズ変更のしかた

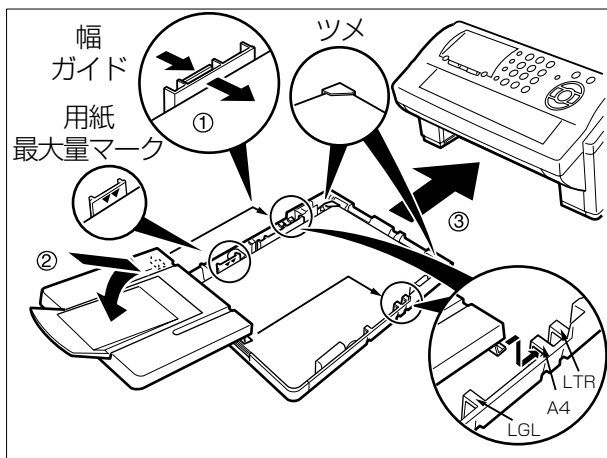
お買い求め時の用紙カセットは A4 サイズ用に設定されています。この用紙サイズをレターまたはリーガルサイズに変える手順は、以下の通りです。

1

<用紙カセットの用紙長の調節のしかた>

1. 用紙カセットから用紙を取り出し、机などの平面上でカセットを裏返します。
2. ラッチを押しながら、長さガイドを引き出します。
3. 長さガイドの左右のツメを使用する用紙サイズのカセットの穴（レターまたはリーガル）に入れ、長さガイドをロックするようスライドさせます。

2

<用紙カセットの用紙幅の調節のしかた>

1. 左方にあるツメのラッチをゆるめます。
2. ツメを引き上げて抜きます。
3. ツメの位置を LTR 側（L の刻印側）の溝に入れます。
4. ツメを下に押し、ラッチがかかるよう押し込みます。

3

1. 用紙を用紙カセットにセットします。幅ガイドを右方にすべらせ、用紙の側面に軽く触れるようにさせます。用紙はたるまないようにしてください。用紙はカセット右側面と幅ガイドの間にぴったり収まっていることを確認してください。正しくセットされていないと、紙詰まりの原因となります。

   お願い： 用紙が金属製のツメ（2カ所）の下にセットされていることをご確認ください。また、用紙厚が用紙最大量マークを越えないようにご注意ください。セットできる枚数は約250枚です。

2. 用紙カセットカバーを長さガイドに合わせます(レターまたはA4またはリーガル)。

3. 用紙カセットを本体に装着します。

4 システム登録の No.23「用紙サイズ」はカセット内の用紙サイズと同一になっていなければなりません。用紙のサイズを変更したときには「用紙サイズ」の設定もそれに合わせて変更してください(☛242ページ)。

お知らせ

1. カセット内の用紙サイズを変更してシステム登録の No.23「用紙のサイズ」の変更をし忘れた場合、本機は受信ファクスの1ページ目をプリントした後、印字を停止し、「用紙サイズが合っていません」という内容のエラーメッセージを表示します。その後、用紙のサイズ設定を自動的に設定し直し、再度1ページ目からの印字を行います。

故障かな？と思ったら

モード	症状	原因と処置	参照ページ
送信中	原稿が送り込まれないか、または複数枚同時に送り込まれる	1. 原稿にホチキスの針やクリップが付いていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2.「セットできない原稿」に一覧表示してある原稿でないことを確認してください。リストに記載してある種類の原稿である場合は、そのコピーをとって原稿の代わりに送信してください。 3. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 4. 自動給紙圧を調整してください。	28 29 278
	原稿づまり	原稿がつまった場合は、エラーコード 0030、0031 がディスプレイに表示されます。	268
	済スタンプがプリントされない	1. 済スタンプの LED が点灯しているか確認してください。 2. システム登録 No.04 および No.28 の設定値を確認してください。	31 241 242
	済スタンプが薄すぎる	済スタンプを交換してください。	279
送信時コピー画質	送信した原稿に縦線が入る	お手元のコピーの画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告してください。コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	277
	送信した原稿が白紙で出てくる	1. 原稿が裏向きにセットしてあることを確認してください。 2. お手元のコピーの画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告してください。コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	277
受信中	用紙切れ	用紙がなくなった場合は、エラーコード 0010 がディスプレイに表示されます。用紙を補充してください。	262
	用紙づまり	用紙がつまった場合は、エラーコード 0001、0002、0007、0008 のいずれかがディスプレイに表示されます。つまった用紙を取り除いてください。	274
	用紙が送り込まれない	用紙カセットに用紙がセットされていることを確認してください。用紙のセット方法については、該当する指示に従ってください。	262
	プリント終了時に用紙が排出されない	用紙が本機内部でつまっていないか確認してください。	275
	用紙が順番に積み重ならない。最終受信ページからプリントされない	1. システム登録の「正順プリント」が「アリ」に設定してあるか確認してください。 2. 受信中にメモリーが一杯になった場合は、最初に受信したページからプリントされます。	243
	原稿自動縮小機能がはたらかない	縮小受信の設定値を確認してください。	81
	トナー切れ	プロセスカートリッジのトナーがなくなった場合は、エラーコード 0041 がディスプレイに表示されます。 プロセスカートリッジを交換してください。	260

モード	症状	原因と処置	参照ページ
プリント時 コピー画質	受信した原稿に縦線が入る	通信管理レポート（例：ファンクション、6、1、セット、1）を出力して画質チェックを行ない、本機に異常がないか確認してください。 レポートの画質に問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している送信側に報告してください。 コピーに問題がある場合は、プロセスカートリッジを交換してください。	248 260
	プリントが不鮮明	1. 推奨の用紙を使用しているか確認してください。 2. 用紙を裏返しにしてみてください。	－－
	プリント領域内に点状や線状に抜けている箇所、または濃度が不均一な箇所がある	1. 推奨の用紙を使用しているか確認してください。 2. プロセスカートリッジを交換してください。	－－ 260
	プリントがうすくなる	プロセスカートリッジのトナーが切れかかっている可能性があります。プロセスカートリッジを交換してください。	260
通信	発信音なし	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 電話回線を確認してください。	18
	自動受信しない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 受信モードの設定値を確認してください。 3. システム登録　No.13（通信管理レポート）を「アリ」（初期値）に設定して、受信した原稿をメモリーからプリントしている場合、通信管理レポートのプリントが完了するまで自動受信は有効になりません。	18 74
	送受信ができない	ディスプレイにエラーコードが表示されます。エラーコード表を参照して原因を特定してください。	268

エラーコード

異常が発生したときに、ディスプレイにエラーコードが表示されます。下表に従って原因を特定し、処置を行なってください。

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0001	1 番目のカセットから給紙されるときに用紙がつまる	つまった用紙を取り除いてください。	274
0002	2 番目のカセットから給紙されるときに用紙がつまる	つまった用紙を取り除いてください。	274
0007	用紙が完全に排出されない	プロセスカートリッジを取り外し、つまった用紙を取り除いてください。	275
0008	給紙されるときに用紙カセットが引き出された	つまった用紙を取り除き、用紙カセットをセットしてください。	274
0010	用紙切れ	用紙をセットしてください。	262
0011	用紙カセットが正しく取り付けられていない	用紙カセットを取り付けてください。	262
0017	適正でないサイズの用紙が用紙カセットにセットされている	適正なサイズ（A4、レター、リーガル）の用紙を用紙カセットにセットしてください。	262
0030	原稿がつまる	1. 原稿を正しくセットし直してください。 2. 原稿づまりを取り除いてください。 3. 自動原稿送り装置を調整してください。	276 278
0031	原稿が長すぎるか、つまっている。原稿の長さが 2m を超えている	1. 原稿を正しくセットし直してください。 2. 原稿づまりを取り除いてください。	276
0041	トナー切れ	プロセスカートリッジを交換してください。	260
0043	トナーの残量が少ない		−−
0045	プロセスカートリッジが取り付けられていない	プロセスカートリッジを取り付けてください。	260
0060	送信開閉部が開いている	送信開閉部を閉じてください。	−−
0061	自動原稿送り装置（ADF）の開閉部が開いている	自動原稿送り装置（ADF）の開閉部を閉じてください。	−−
0400	初期手順の途中で、受信局が応答しなかったか、または通信エラーが発生した	1. 相手先を替えて確認してください。 2. 原稿をセットし直し、再送します。	−−
0401	中継局に受信用パスワードが必要なため、原稿を受信できない。中継局がメールボックスを持たない。中継局が送信側機器の ID 番号（ファクス番号）を要求している	中継局に確認してください。本機の ID 番号（ファクス番号）を登録してください。	−−
0402	初期手順の途中で通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0403	中継局側にポーリング機能がない	「ポーリング＝アリ」を設定するように中継局側に連絡してください。	−−
0404/0405	初期手順の途中で、通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0406	送信用パスワードが一致しない。受信用パスワードが一致しない。不正な相手局からセレクト受信モードで受信した	ワンタッチまたは短縮ダイヤルのパスワードまたは電話番号を確認してください。	159 162

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0407	受信局からのページ送信済み確認信号が得られない	数分後に再送してください。	−−
0408/0409	遠隔側からのページ送信済み確認信号が判読できない	数分後に再送してください。	−−
0410	送信側による通信打切り	相手先を替えて確認してください。	−−
0411	ポーリング用パスワードが一致しない	ポーリング用パスワードを確認してください。	91
0412	送信側からのデータが得られない	相手先を替えて確認してください。	−−
0414	ポーリング用パスワードが一致しない	ポーリング用パスワードを確認してください。	91
0415	ポーリング送信エラー	ポーリング用パスワードを確認してください。	−−
0416/0417 0418/0419	受信データに含まれるエラーが多すぎる	相手先を替えて確認してください。	−−
0420/0421	受信モードにはなるが、送信側からのコマンドが受信できない	1. 相手先のダイヤル間違い。 2. 相手先を替えて確認してください。	−−
0422/0427	インタフェースに互換性がない	相手先を替えて確認してください。	−−
0430/0434	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	−−
0436/0490	受信データに含まれるエラーが多すぎる	相手先を替えて確認してください。	−−
0456	* 本機が以下のいずれかの条件のもとで、親展原稿を受信した、または親展原稿のポーリングを要求した。 1. 親展原稿の受信に必要な空きメモリーがない。 2. 親展メールボックスが一杯である。 3. 受信した原稿をプリント中である。 * 本機が原稿の中継を要求されている場合	1. 通信予約レポートをプリントし、その内容を確認してください。 2. 本機がプリントを完了するまで待ってください。	116
0492/0493/ 0494	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	−−
0495	電話回線が切断された	相手先を替えて確認してください。	−−
0501/0502	内蔵V.34モデムで通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	−−
0540/0541/ 0542/0543/ 0544	送信中に通信エラーが発生した	1. 原稿をセットし直し、再送してください。 2. 相手先を替えて確認してください。	−−
0550	電話回線が切断された	相手先を替えて確認してください。	−−
0552/0553/ 0554/0555	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	−−
0580	サブアドレス機能をもたない機器へのサブアドレス送信	相手先に確認してください。	−−
0581	パスワードサブアドレス機能をもたない機器へのサブアドレスパスワード送信	相手先に確認してください。	−−
0601	ダイレクト送信中に送信開閉部が開けられた	送信開閉部を閉じ、再送してください。	−−
0623	自動原稿送り装置に原稿がセットされていない	原稿をセットし直し、再送してください。	−−

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0630	回線使用中による再ダイヤル失敗	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0631	ダイヤル中に STOP を押した	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0634	相手先からの無応答による、またはダイヤル間違いによる、再ダイヤル失敗。 注：ビジートーンが検出されなかった場合、本機は再ダイヤルを 1 回しか行ないません。	電話番号を確認し、再送してください。	−−
0638	通信中に停電が発生した	電源コードとプラグを確認してください。	18
0712	メールアドレスの誤り	登録されたメールアドレスを確認してください。SMTP サーバーの IP アドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。	−−
0714	LAN にログオンできない	10Base-T/100Base-TX ケーブルの接続を確認してください。予期できない問題が発生しました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	−−
0715	TCP/IP 接続のタイムアウト	インターネットFAXのパラメーター設定値を確認してください。IP アドレス、ゲートウェイ IP アドレスの初期値、SMTP サーバーの IP アドレスを確認してください。	−−
0716	指定したSMTPサーバーにログオンできない	SMTP サーバーの IP アドレス設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	−−
0717	SMTP プロトコル伝送が不完全。SMTP サーバーのハードディスクが一杯の可能性あり	SMTP サーバーに障害があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	−−
0718	プリントデータ受信時のページメモリーオーバフロー。用紙カセットの用紙サイズよりも大きいサイズをアプリケーションで選択した	原稿サイズと文字サイズを確認してください。受信側で対応しているサイズと文字サイズで再送してもらうように送信側に連絡してください。	−−
0719	LAN経由で受信したデータ形式が受信側に対応していない	以下に示すような、対応するファイル添付形式で再送してもらうように送信側に連絡してください。 * TIFF-F 形式。 * 用紙のサイズに合った画像データ	−−
0720	POPサーバーと接続できない(POPサーバーIP アドレスの誤り)。POP サーバーのダウン	POP サーバーの IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	−−
0721	POP サーバーに接続できない(ユーザー名またはパスワードのエラー)。	POP ユーザー名とパスワード、または APOP 設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	−−

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0722	DHCP サーバーからのネットワークパラメーター（例：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトのゲートウェイ IP アドレス）の取得に失敗。	1. LAN ケーブルの接続を確認してください。 2. ネットワーク管理者に問い合わせて、お手元のネットワークで DHCP が使用できるか確認してください。使用できない場合は、システム登録 No.169（DHCP クライアント）を「ナシ」に変更し、他のネットワークパラメーターを手動で設定してください。	－－
00725	DNS　サーバー接続のタイムアウト。DNS サーバーのダウン	DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	－－
0726	DNS サーバーからエラー応答を受信	POP サーバー名を確認してください。SMTP サーバー名を確認してください。	－－
0728	送信したデータ（PDF) 形式が受信側に対応していない。 （PDF 形式での送信は、インターネット FAX から PC への送信時のみご利用になれます)	システム登録 No.177（送信ファイルタイプ）を「TIFF」に設定して送信してください。	246
0729	SMTP サーバーとの接続時に認証（SMTP AUTHENTICATION）に失敗	SMTP AUTHENT ユーザー名とパスワードを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	－－
0730	メール経由で PC から遠隔操作で、ジャーナルを取り出せないし、またインターネットパラメーターやワンタッチ／短縮ダイヤルも登録できない	システム登録 No.158（メールリモート登録 ）が「アリ」に設定してあるか確認してください。	244
0731	中継送信要求を受けたときに手動ダイヤル用ダイアラーバッファが一杯（70 局）	予約通信終了後に中継送信要求を送信し直してもらうように送信元に連絡してください。	－－
0800/0816/0825	原稿または親展通信の中継機能をもたない機器へ出された中継要求	相手先を替えて確認してください。	－－
0815	メールボックスが一杯		166
0870	送信する原稿をメモリーに記憶しているときにメモリーオーバーフローが発生	メモリーに記憶させずに原稿を送信してください。	58

お知らせ

1. 原因を特定し、推奨する処置を実施しても、エラーコードが表示されたままになったり上記リストに記載されていないエラーコードが表示された場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

2. システム登録の「123 リルート機能」が「アリ」のときは、エラーコード先頭の 4 桁目の番号が 3 ～ 5（例：3xxx）となります。(☛243 ページ)「3」、「4」または「5」が付与される場合は、「IP 電話 - IP 電話発呼」、「IP 電話 - 一般電話発呼」または「一般電話 - 一般電話発呼」の場合によって異なります。

リモート登録時のエラーメッセージ

送信元へ送られるエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録時にエラーとなった場合に、本機より送信元へメールでエラーメッセージが送付されます。

	エラーメッセージ	原因と処置
1	554 Data transfer error (broken header)	ヘッダーまたはサブヘッダーの解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
2	554 Data transfer error (broken data)	データ解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
3	554 Data transfer error (FAX module)	LAM モジュールとの通信中に FAX モジュールでデータ転送エラーが発生しました。再送してください。
4	554 MIME attachment not supported (message/file)	サポートしていない MIME の添付ファイルが送られました。テキストデータだけの添付ファイルで再送してください。
5	554 MIME format not supported	サポートしていない MIME タイプが送られました。テキストデータだけで再送してください。
6	554 FAX relay permission denied	中継要求のあったドメイン名は登録されていません。
7	554 Relay address unknown	中継要求のあった最終受信局の電話番号が不明です。
8	554 Memory fully (FAX module)	FAX メモリーが一杯です。あとで再送してください。
9	554 Data transfer error	リストに記載されていないエラーです。あとで再送してください。

リモート登録失敗時のエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録が失敗したときに、本機より送信元へメールでエラーメッセージが送信されます。

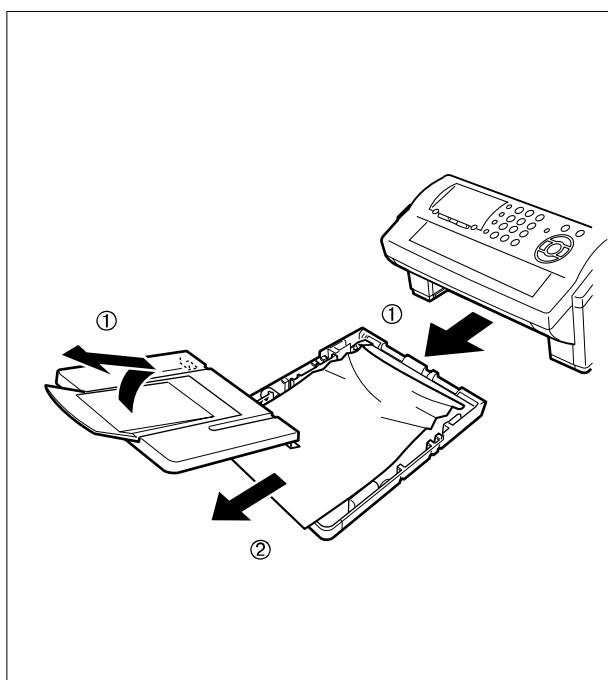
	エラーメッセージ	原因と処置
1	@command ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@command」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
2	@begin コマンドがありません。	ブロック開始コマンド「@begin」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@begin」コマンドを加えて再送してください
3	@begin ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
4	@system ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@system」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
5	@sender ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@sender」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
6	@domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
7	@program ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@program」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
8	@system コマンドがありません。	システム開始コマンド「@system」が「@system」ブロックで記述されていません。「@system」コマンドを加えて再送してください。
9	ＦＡＸ 動作中のためリモート登録できません。	* ファクス通信が予約されている場合、ファクス動作終了後に再送してください。 * 予約レポートを確認し、予約がない状態にして再送してください。

	エラーメッセージ	原因と処置
10	リモート登録パスワードチェックエラー。	パスワードを修正して再送してください。
11	リモート登録が許可されていません。	システム登録の「**158 メールリモート登録**」を「**アリ**」に設定してください。
12	Format Error:< エラー行 >	入力したフォーマットが正しくないか、または各宛先選択用の記述データが一行で完結していないため不完全となっています。修正して再送してください。
13	Warning:< エラー行 >	入力したフォーマットが正しくないか、または入力した文字数が最大桁数を超えています。修正して再送してください。
14	データが長すぎます。	宛先名、ドメイン名、送信元名、プログラム名などの文字数が最大桁数を超えています。
15	@list ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@list」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
16	@select-domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@select-domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
17	以下のデータに上書きされました。：<（上書きされたデータ）>	データが上書きされた場合に返送されます。
18	ダイヤルインデータの登録がありません。：<エラー行>	設定しようとしたモデムダイヤルイン番号に該当するダイヤルが登録されていません。装置のダイヤル設定を確認してください。

用紙がつまったとき

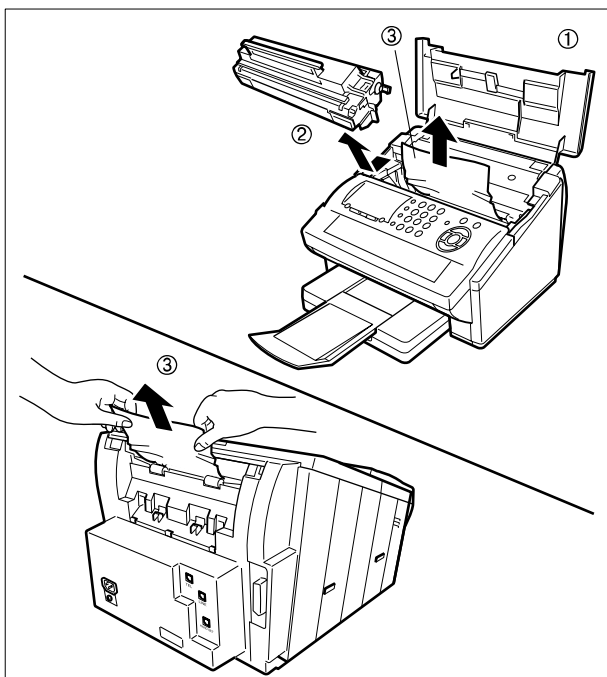
用紙がつまったときは、エラーコード 0001、0002、0007、0008 のいずれかがディスプレイに表示されます。

用紙づまりを解消するには、次の手順に従ってください（エラーコード 0001、0002 または 0008 の場合）。

1

(1) 用紙カセットを引き出し、用紙カセットのカバーを取り外してください。

(2) つまった用紙、またはしわのついた用紙を取り除き、用紙カセットに用紙をセットし直してください。
受信開閉部を開けて再び確実に閉じて、アラームを解除してください。

用紙づまりを取り除くには、次の手順に従ってください（エラーコード 0007 の場合)。

1

(1) 受信開閉部を開いてください。

(2) プロセスカートリッジを取り外してください。

(3) つまった用紙を取り除いてください。

注：1. つまった用紙が本ユニット内部にある場合は受信開閉部を開けて、用紙を取り除いてください（上図参照）。用紙に定着していないトナーがこぼれ落ちる可能性があるため、汚れないように注意して取り除いてください。

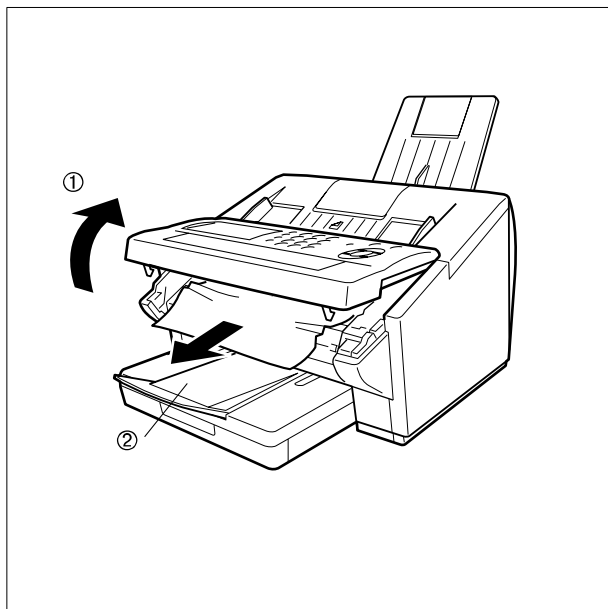
2. つまった用紙が本ユニット背面にある場合は（下図参照）、用紙トレイを取り外してから、つまった用紙を破れないよう注意しながらゆっくりとまっすぐに引き出してください。

(4) プロセスカートリッジを取り付け、受信開閉部を確実に閉じてください。

原稿がつまったとき

原稿がつまったときは、エラーコード 0030 または 0031 がディスプレイに表示されます。

原稿づまりを解消するには、次の手順に従ってください。

1

(1) 送信開閉部を開けます。

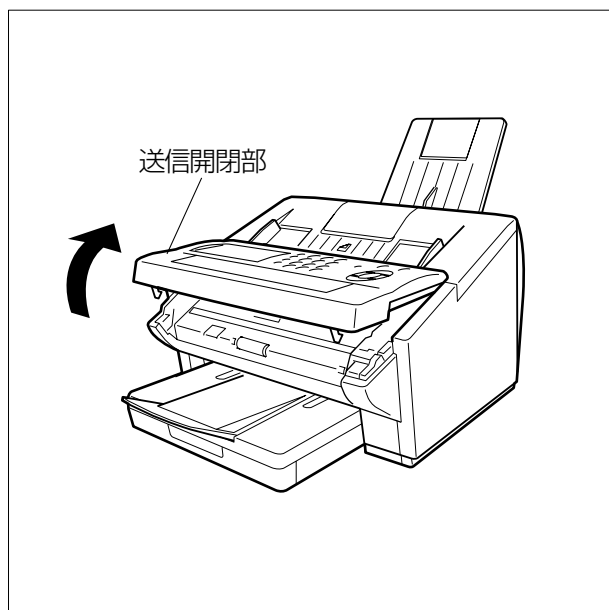
(2) つまっている原稿を取り除きます。

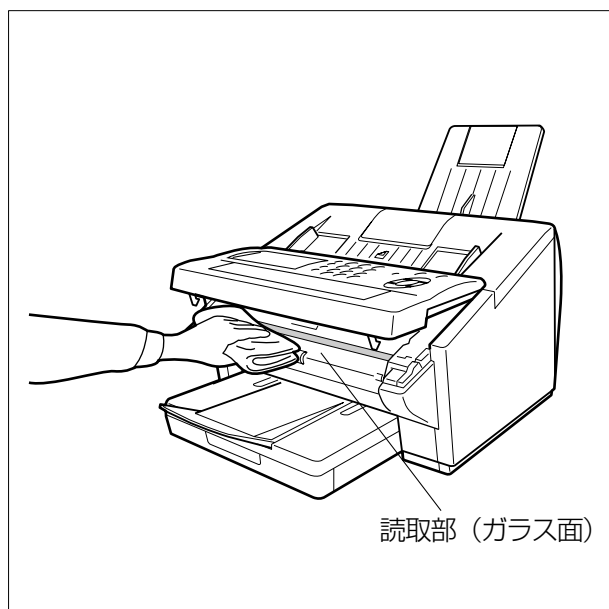
(3) 送信開閉部を確実に閉めます。

読取部のお手入れ

受信側から白紙の原稿、または黒い筋の入った原稿を受信したと報告されたときは、本機でコピーをとって確認してください。コピーに黒い筋が入っている場合は、読取部が汚れている可能性があるためクリーニングしてください。

読取部のお手入れ

1

送信開閉部を開けます

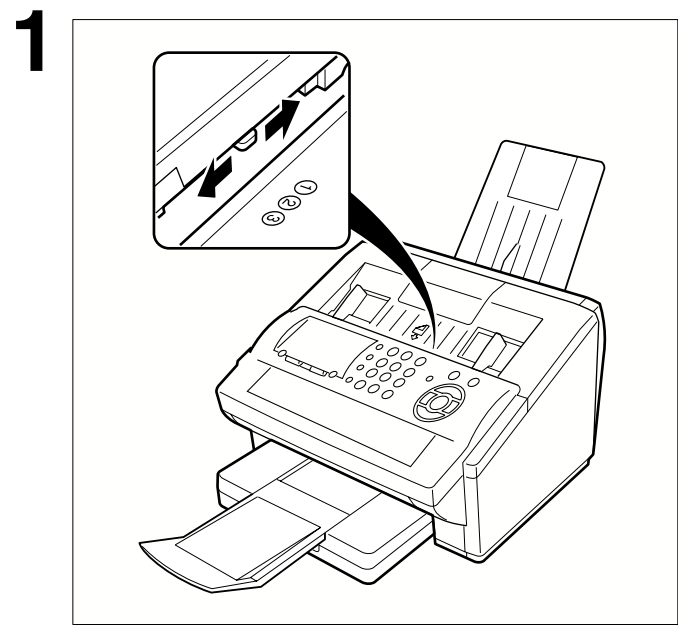
2

やわらかい布かガーゼに水を含ませ、よく絞ってから、読取部（ガラス面）をやさしく拭きます。

- 読取部は傷つきやすいので、必ず清潔な布またはガーゼを使用してください。

自動原稿送り装置（ADF）の調整

原稿づまりが頻繁に起こる場合は、ADF を調整することをお薦めします。

ADF を調整するには、次の手順に従ってください。

1

原稿の厚さなどにより原稿が繰り込まれなかったときや、重なって繰り込まれるときは、自動給紙圧を調整してください。

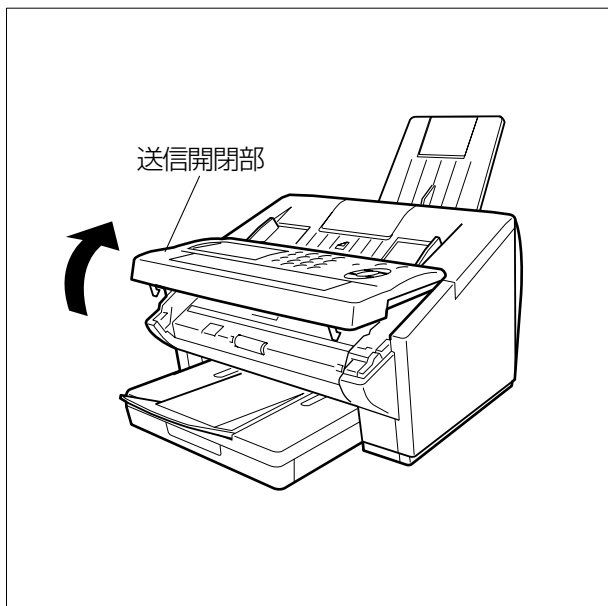
紙圧調整レバー（青色）を、上に持ちあげながらスライドさせます。

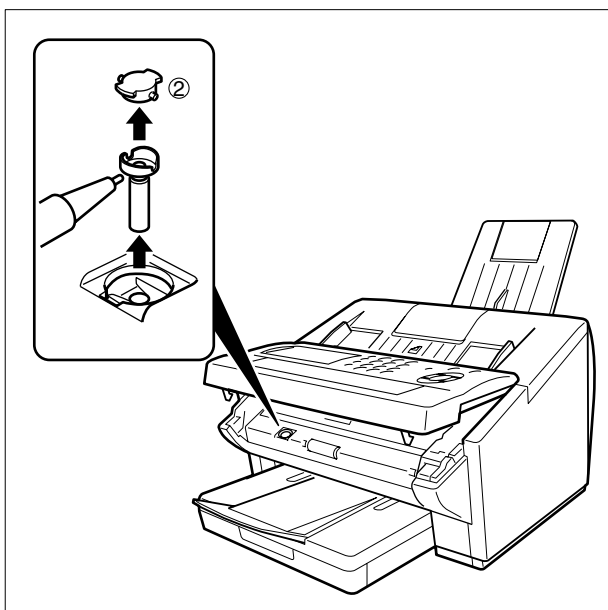
レバーの位置	こんなときには
①	原稿が繰り込まれないとき
②	標準位置（通常はここにしておきます）
③	2 枚以上の原稿が同時に繰り込まれるとき

済スタンプの交換

済スタンプにはインクが入っています。済スタンプの色が薄くなって判別しにくくなったら、済スタンプを交換してください。

済スタンプを取り外すには、次の手順に従ってください。

1

送信開閉部を開いてください。

2

(1) 済スタンプユニットを上方に引き抜いてください。

(2) 済スタンプを取り外し、新しいものと交換してください。

お知らせ

1. 新しい済スタンプをお買い求めになりたいときはお買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。(☛285 ページ)

■停電のとき

停電中はファクスのディスプレイは消えています。ファクスを送ったり受けたりすることはできません。また、オプションのハンドセットをご利用の場合、電話をかけることはできません。

停電になったとき	相手の方とお話し中	そのまま通話できます。
	ファクス送信中	送信は中断されます。停電復旧後、もう一度送信してください。
	ファクス受信中	受信は中断されます。停電復旧後、相手の方にもう一度送信を依頼してください。
停電中	電話をかける	できません。
	電話を受ける	できます。
	ファクスを送る	できません。
	ファクスを受ける	できません。
停電復旧後	メモリーの内容	メモリーに蓄積されている送信および受信データは保持されています。
	ファクスに登録／設定した内容	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの登録内容、その他各種登録は、停電中も消えることなく保持されています。

■チェック＆コール

万一、本機が故障した場合には、本機が自動的に当社指定のサービス実施会社に障害状況を連絡する機能です。詳しくはお買い上げの販売店にまたは、サービス実施会社にお問い合わせください。

1. 原稿を読み取り中に停電した場合は、読み取りは中断されます。停電復旧後、もう一度読み取りをしてください。ファクス送信時、原稿読み取り後のメモリー送信中に停電した場合は、停電復旧後、直ちに再送信されます。

アフターサービスについて

1. **保証書（別に添付してあります。）**
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間 - お買い上げ日から本体 1 年間

2. **修理を依頼されるとき**
266 ページの「こんなときには」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いておいてから、お買い上げの販売店または、サービス実施会社に修理をご依頼ください。

■保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店またはサービス実施会社が出張修理させていただきます。
お買い上げの販売店またはサービス実施会社にご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています電話先へお問合わせください。

連絡していただきたい内容
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日

■保証期間がすぎているときは
お買い上げの販売店または、サービス実施会社へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。
販売店またはサービス実施会社にご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています電話先へお問合わせください。

3. **補修用性能部品の最低保有期間**
本機の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打切り後、7 年間保有しております。

4. **アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき**
お買い上げの販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています電話先へお問合わせください。

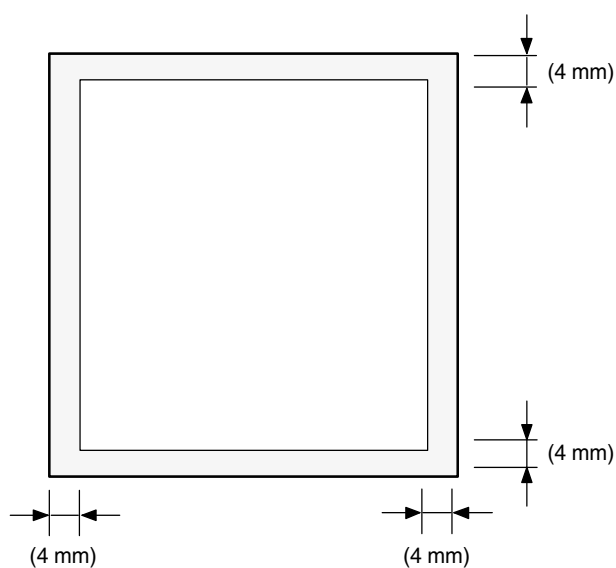
ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客さまよりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客さまの個人情報を、National Panasonic 製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

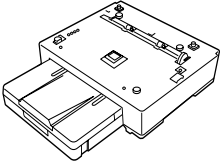
仕様

品番	UF-6010
認証機器名	UF-6010
適合回線 (G3 FAX)	ITU-T Group 3
適合規格 (LAN)	IETF RFC 2305、ITU-T T.37
適合回線 (LAN)	10Base-T Ethernet (IEEE 802.3)、100Base-TX Fast Ethernet (IEEE802.3u)
通信可能機種	G3 （国際規格）
出力可能文字	JIS 第 1 ・第 2 水準
通信プロトコル (LAN)	TCP/IP、SMTP、POP3、MIME
データ形式 (LAN)	RFC2301、TIFF-FX ミニマルセット Profile：TIFF-F 符号化方式：MH/MMR、原稿サイズ：A4/B4
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR (ITU-T 勧告準拠)
通信速度	2400 ～ 33600 bps
原稿サイズ	B4 ～ A5（最大：幅 257 × 長さ 2000 mm、最小：幅 148 × 長さ 128 mm）
読取方式	CCD イメージセンサーによる平面走査
有効読取幅	252 mm（B4） 208 mm（A4）
走査線密度	水平方向 垂直方向 ふつう 8 dot/mm x 3.85 lines/mm 小さい 8 dot/mm x 7.7 lines/mm 細密 16 dot/mm x 15.4 lines/mm(補間)
記録方式	電子写真記録方式
用紙サイズ	A4、レター、リーガル
解像度	ファクス／コピーモード ：406 x 391 dpi プリンターモード ：600 x 600 dpi
対応 OS	Windows® 98/Me/2000/XP、WindowsNT® 4.0、Windows Server™ 2003

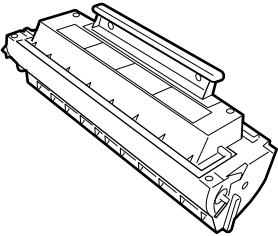
有効記録範囲
(☛ お知らせ 1)

お知らせ

1. レターサイズまたはリーガルサイズの原稿を PC 側から 600 dpi でプリントする場合、左右のプリントマージンは 5.5 mm になります。

仕様

電源	AC 100V ± 10V, 50/60 Hz	
消費電力	待機時 (節電モード : ON)	約 9.0 W
	待機時 (節電モード : OFF)	約 28.5 W
	送信時	約 19.0 W
	受信時	約 430 W
	コピー時	約 430 W
	最大	約 500 W
外形寸法	約 370 (幅) x 474 (奥行き) x 250 (高さ) mm (突起部を除く)	
質量	約 9.0 kg(消耗品と別売品を除く)	
動作環境	温度　　: 10 ℃～ 35 ℃ 相対湿度 : 45% ～ 85% （ただし 35 ℃のときは湿度 70% 以下、湿度 85% のときは 30 ℃以下）	
直流抵抗値	162Ω	

お知らせ

1. 一般の電話回線での最高通信速度は 28800 bps 程度です。

2. 認証番号は、本体背面に記載しております。

オプションと消耗品

お買い求めになるときは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。

A. オプション

品番	図	説明
UE-403179		ハンドセットユニット
UE-409078		増設給紙ユニット 250 枚

B. 消耗品

品番	図	説明
UG-4105		済スタンプ
DE-3350		プロセスカートリッジ

● **用紙**

良好な記録をしていただくため、できるだけ当社の推奨品をご使用ください。
（詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。）

用語集

10Base-T/100Base-TX	イーサーネットケーブル規格の一種です。 「10/100」はバンド幅が 10/100 Mbps の意味で、このバンド幅は単一チャンネル・ベースバンドのベースとなっています。「T」は撚り（Twisted）対の意味で、この規格のケーブルは 2 対の非シールド撚り線からなります。
ADF（自動原稿送り装置）	複数枚の原稿をセットして、1 枚ずつ読取り部へ送る装置です。
BPS（Bits Per Second）	電話回線経由で送信されるデータ量の単位です。本機は常に最大伝送速度で動作開始しますが、電話回線の状況や受信側機器の能力に応じて伝送速度を自動的に落とします。
DTMF（Dual Tone Multifrequency）	電話機のボタンの各数字を表わすさまざまな組み合わせの周波数を送り出すダイヤル呼出し方式です。一般に、プッシュホン式ダイヤル呼出しを指します。
ECM（Error Correction Mode）	G3 ファクス通信を行なっているときに、通信エラーを訂正する機能です。
FAX/TEL 自動切替	1 つの電話回線でファクスと電話を自動で切替えて使用できます。
FROM 選択	あらかじめプログラム登録してある 24 の送信者名、メールアドレス、または電話番号のうちの 1 つを送信前に選択することができます。
G3 モード（Group 3）	現在最も普及している、G3 規格に準拠したアナログ電話回線用のファクシミリです。
IP アドレス	インターネット上に存在するコンピュータなどの住所にあたる数列です。
ISP（Internet Service Provider）	インターネットへの接続サービスを提供する組織のことです。
ITU-T	国際電気通信連合電気通信標準化部門。国際電信電話諮問委員会（旧 C.C.I.T.T）。
ITU-T（C.C.I.T.T.）	国際電信電話諮問委員会の略称。この機構は現在、ファクシミリ互換性を保証する 4 グループの業界標準を推進しています。
ITU-T Image No.1	送信速度と機器能力との比較を可能にする業界標準原稿のことです。
LAN（Local Area Network）	オフィス、工場、大学などといった隣接エリアに限定された、データの統合および交換のためのコンピューターネットワークシステムです。
LAN 中継パスワード	LAN 中継通信を行う際に、パスワードとして用いるメールアドレスです。LAN 中継通信の宛先を表すメールアドレスの、ユーザー名（@ の左側）の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信を行います。
LCD	本機の表示をする液晶ディスプレイのことです。
MAC アドレス	装置に割り当てられるハードウェアアドレスで、MAC（メディア・アクセス・コントロール）アドレスともいいます。 MAC アドレスは設定不可能で、コロン（:）で区切られた 6 つの 16 進数からなります。 例：00:00:c0:34:f1:50
MAPI（Messaging Application Program Interface）	メッセージ送信のための Windows 標準インタフェースです。ワープロ・ソフトや表計算ソフトなどのメニューから、編集中の文書を直接 E メールで送信するようなことが可能です。
MDN（Message Disposition Notifications）	メールが読まれたかどうかを確認する為に送信側から MDN 要求を付加して送付します。
MIME（Multipurpose Internet Mail Extension）	インターネット上で、テキストデータ以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、E メールの通信手順です。
POP（Post Office Protocol）	メールサーバーにアクセスして自分宛のメールを取り出すための通信手順です。
PSTN（Public Switched Telephone Network）	公衆電話交換ネットワークを指します。相互に接続された交換機と送信施設からなるネットワークです。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	インターネット上でメールを送受信するための主な通信プロトコルです。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)	インターネットで使用されているプロトコルの最も基本的な集合体（プロトコルスイート）であり、あるインターネット端末と別の端末との間のデータ転送を可能にします。
TIFF (Tagged Image File Format)	異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前のタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルです。本製品の TIFF ファイルは、MH 方式によりデータを圧縮しています。
TIFF イメージビューワー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムです。市販の TIFF ビューアーでは、本製品から送られた TIFF ファイルを表示できない場合があります。
アクセスコード	第 3 者の不正使用を防止するため、4 桁のアクセスコードを設定できます。
宛先シート	本機のワンタッチに登録してある宛先名をプリントし、ワンタッチボタンシートの下に入れて使います。
宛先名	各ワンタッチ／短縮ダイヤル番号の登録名です。
イーサーネット	LAN 上のコンピューターおよび装置をネットワーク化する最も一般的な手段。最大 100 Mbps まで処理が可能で、ほとんどのすべてのタイプのコンピューターが対応しています。
イメージメモリー容量	原稿の各ページを記憶するために本機が利用できるメモリーの量を意味します。ITU-T 勧告の Image No. 1 原稿を基に、読込み可能枚数を規定しています。
インターネット	相互に接続された、TCP/IP プロトコルを使用するさまざまなネットワークの巨大な集合体。個々のネットワークは接続されて全世界をつなぐ巨大なインターネットを形成します。
イントラネット	会社内部または組織内部にある非公開のネットワーク。イントラネットでは、公開されているインターネット上同じ種類のソフトウェアを使用しますが、その用途は内部的なものに限定されます。
エラーコード	通信エラー、トラブルなど発生時に表示するコードです。
オフフックダイヤル	受話器を受話器台から外して、電話番号をダイヤルする方法です。
オンフックダイヤル	受話器を受話器台に置いたまま、またはモニターボタンを押して電話番号をダイヤルする方法です。
カバーシート	送信する原稿に添付される FAX カバーシート。受信者名、発信者名、添付した原稿のページ数が記載されます。
クライアント	クライアント (端末) コンピューターの意味で、LAN 上でデータベース共用、グループ作業や通信を行うときに使用します。
グループダイヤル	1つのプログラムボタンへ複数宛先を登録できます。1回の操作で順次同報送信ができます
固定縮小プリント	すべての着信原稿を一定の縮小率（例：75%）でプリントします。
最終宛先	LAN 中継通信時の最終送信宛先です。
サーバー	クライアント（端末）コンピューターに対してデータ資源、通信接続、データ保存空間その他のサービスを提供する、ネットワークに接続されたコンピューターまたは装置をさす。メールサーバーソフトウェアーはネットワーククライアントがメールアカウントを保有してメールの送受信を行なうことを可能にしています。
サブアドレス	着信ファクスのルーティング、転送または中継を実行するための ITU-T 勧告です。
サブアドレスパスワード	サブアドレスに対応する追加機密保護のための ITU-T 勧告です。

用語集

サブネットマスク	ネットワークIDで定義されたネットワークのサブセグメントを管理するためのマスクビット列です。
自局登録	自局登録をすることで、通信のときに相手機に自局の情報を表示できます。たとえば、ロゴ、文字 ID、日時などがあります。
システム登録リスト	本機のシステム登録の設定値をリストにしてプリントできます。
自動縮小プリント	標準サイズの普通紙にプリントできるように、受信した原稿を自動的に縮小する方式。たとえば、B4 サイズの着信原稿を縮小して A4 サイズの用紙にプリントします。
自動受信	ファクスが自動的に原稿を受信します。
受信側パスワード	原稿受信前に照合される 4 桁のパスワードのことです。
手動受信	着信原稿を受信するのに使用者の操作が必要なモードです。
初期送信側端末局	LAN 中継通信時の発信局です。
数字 ID	相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。
済スタンプ	送信が完了したページ、またはメモリーへ読込まれたページに済スタンプが押されます。済スタンプのオン、オフは任意に切り替えできます。
正順プリント	受信した原稿を送信した順序でプリントする機能です。
セレクト受信	ダイヤルに登録してある電話番号の下 4 桁を照合し、一致したファクスからのみ本機が受信する機能です。
送信側パスワード	原稿送信時に照合される 4 桁のパスワードのことです。
送信予約	本機が別の機能を実行しているときに送信予約ができます。
送達通知	送信側インターネット FAX から受信側インターネット FAX へ出されるメッセージで送達通知 (MDN) 要求のことです。受信側インターネット FAX は、メッセージ（メール）を読むと送達確認メッセージを返送します。
タイマー送信	指定時刻に原稿の送信ができます。
タイマーポーリング	指定時刻にポーリング通信ができます。
ダイレクト SMTP	インターネットファクス同士がメールサーバーを経由せずにファイアーウォール（イントラネット）内で互いに直接通信を行なう機能です。
短縮ダイヤル	電話番号またはメールアドレスを短縮ダイヤルに登録できます。簡単なボタン操作を行なうだけで、その電話番号をすばやくダイヤルすることができます。
蓄積原稿	本機で読込み済でメモリーに記憶されている原稿です。
中継アドレス	LAN 中継通信時に中継局を登録している 3 桁の短縮ダイヤルの番号です。
中継局	中継局では、受信した原稿を指示された宛先へ、順次同報で転送することができます。
中継送信	発信局から原稿を LAN 中継局へ送信すると、中継局はさらにその原稿を最終受信側端末局へ送信します。
中継ネットワーク	中継局経由で通信する機器のネットワークのことです。
重複プリント	縮小できないくらい大きな原稿は、約 10 mm 重ね合わせて 2 つのページに分割して自動的に出力されます。
直接ダイヤル	電話番号またはメールアドレスをテンキーボタンまたは文字ボタンで入力して直接ダイヤルする方法です。
通信管理レポート	最新の 40 通信の結果を一覧にしてプリントできます。
低電力モード	指定時間経過後に定着器を OFF にして、待機モードにあるときよりも消費電力を抑えてエネルギーを節約します。
デフォルトルーター IP アドレス	ルーターのアドレスで、インターネット FAX との通信時に他のネットワークがどのルートをとったらよいか判断するときに使用します。

テンキーボタン	コントロールパネルにある数字ボタンです。
電話帳機能	ワンタッチまたは短縮ダイヤルに登録した宛先名を検索して、電話番号またはメールアドレスをダイヤルできます。
同報送信	プログラム登録された複数の宛先に同じ原稿を同報通信する機能。
ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピュータを一意に識別する名称です。ドメイン名は DNS サーバーによって IP アドレスから翻訳されます。これは、IP アドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
ネットワーク	2 台以上のコンピューターを相互に接続してリソースを共有すると、コンピューターネットワークになります。さらに 2 つ以上のコンピューターネットワークをつなぐと、インターネットが形成されます。
ネットワークアドレス	ワンタッチ／短縮番号に登録される 4 桁の固有アドレス番号で、中継ネットワーク上にある特定の端末局を識別するのに使います。
濃度	送信する原稿に合わせて読取り明暗感度を設定できます。
パナソニックスーパースムージング	画質を向上する為のパナソニック独自の画像処理技術です。
ハーフトーン	黒から白への最大 64 階調のグレーレベルで表現できます。
ハンドシェーキング	送信側と受信側が通信するため、実際にデータを転送する前に、双方の通信方法や条件、プロトコルなどをあらかじめやり取りしておく手順のことです。
ビューモードー通信管理	通信管理レポートを出力することなく通信管理の簡単な内容を LCD ディスプレイに表示することができます。
ビューモードー通信予約ファイル	通信予約レポートを出力することなく通信予約ファイルの簡単な内容を LCD ディスプレイに表示することができます。
ファイル	メモリーを使っての送受信を行なったとき作成されます。たとえば、タイマー送信などがあります。
ファンクションボタン	各機能を使うときに押します。
符号化方式	各種機器が使用するデータ圧縮方式。本機は、Modified Huffman (MH)、Modified Read (MR)、Modified Modified Read (MMR) 符号化方式を採用しています。
プリント縮小モード	本機にセットされた用紙に収まるように縮小してプリントする方法です。
プログラムボタン	複雑な機能の操作をプログラムボタンに登録したり、複数の宛先を登録して、簡単なボタン操作で機能を使えます。
プロトコル	装置間通信のための標準または言語。業界には多くの種類のプロトコルが存在し、IC やコンピューターを内蔵している製品はどれもある種のプロトコルを利用しています。インターネットでは、100 を越える標準が共同して TCP/IP プロトコルを校正し、インターネット通信を滑らかで信頼できるものにしています。
ヘッダー	送信側ファクスが送信する、また受信側ファクスが各ページの先頭にプリントする部分です。ヘッダーは、送信側ファクスの情報（日時など）を提供します。
ホスト	ネットワーク上の他のコンピューターを集中管理するコンピューターです。ホストはドメイン内で唯一のホスト名を持ちます。ホストは全ドメイン名（FQDN）の最初（左端）の部分となります。 例： 本機のメールアドレスが Fax@fax01.panasonic.com であるとすると、「fax01」はホストに、「panasonic.com」はドメインに相当します。
ホームページ	ブラウザー起動時に最初に表示されるページ、あるいは会社、組織などの主要なウェブページ。

ポーリング	別のファクスから原稿を取り出す機能です。
ポーリングパスワード	登録された 4 桁の暗証番号で、ポーリングが行なわれている原稿に対する機密保護を有効にするのに使います。
マルチロゴ	あらかじめ設定してある 25 個のロゴのうちの 1 つを送信前に選択することができます。
メモリー送信	原稿をメモリーに読込んでから送信します。
メモリー代行受信	用紙またはトナーがなくなったときに着信原稿をメモリーに蓄積する機能です。
メモリー転送	指定した短縮ダイヤルの宛先へ、全ての着信ファクスを転送する機能です。
メールアドレス	メールでデータを送受信するためのアドレスです。ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されています。
メールゲートウェイ IP アドレス	メールサーバーのアドレス。本製品はあらかじめ設定されたメールサーバーとだけ通信を行ないます。
メーリングリスト	あるアドレスにメールを送り、自動的にメーリングリストに登録されている複数の人に E メールのコピーを送るためのメールアドレスです。
文字 ID	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。
文字サイズ	送信する原稿の文字の大きさに合わせ、変更できます。
文字ボタン	各種登録をするときに文字または記号を入力するためのボタン。
モデム	本機から出された信号を電話回線経由で伝送できる信号に変換する装置です。
ルーター（ゲートウェイ）	複数の LAN 間の通信を可能にするネットワーク装置です。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送すべきデータの経路を管理しています。
留守番電話機インタフェース	本機に留守番電話機を接続してご使用できるように設定できます。
ロゴ	会社名または名前などを登録します。
ワンタッチボタン	電話番号またはメールアドレスをワンタッチに登録できます。1 つのボタン操作を行なうだけで、その電話番号をすばやくダイヤルすることができます。

ITU-T Image No.1

ITU-T Image No.1 に準拠している標準原稿のサンプルです（以下のサンプルでは、縮尺が実際のものと異なっています）。

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

Registered in England: No. 2038
Registered Office: 60 Vicara Lane, Ilford, Essex.

索引

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番　UF-6010
販売店名	☎（　　　）　　-	
サービス 実施会社名	☎（　　　）　　-	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
デジタルイメージングカンパニー
〒153-8687 東京都目黒区下目黒2-3-8 ☎(03)3491-9191

DZSD002262-0
T0305-0